



東洋大学

2020

TOYO UNIVERSITY

国際教育センター年報



東洋大学国際教育センター

『2020 年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

国際教育センター長

高橋一男（国際担当副学長、国際学部教授）

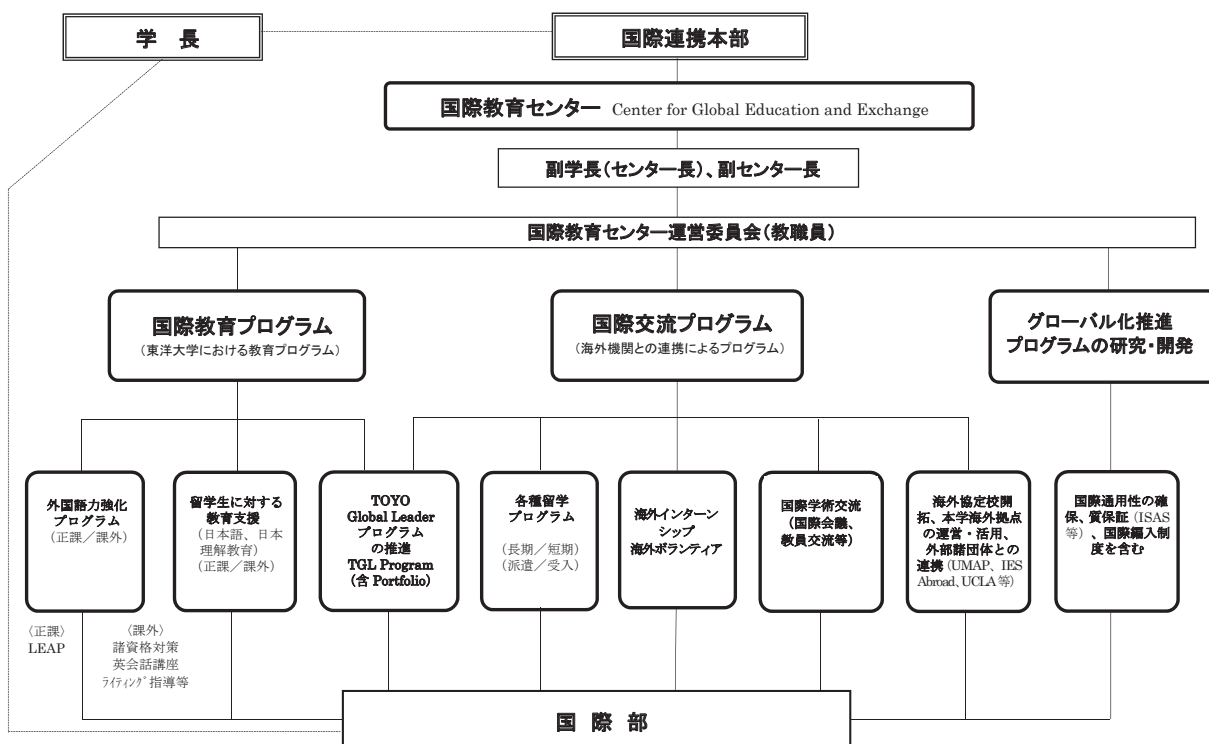
東洋大学は、2014年に「スーパーグローバル大学創成支援」(Top Global University Project)事業タイプB(グローバル化牽引型)に採択され、国際化に大きく舵を切り、全学規模でグローバル化に取り組んでいます。また2017年には「留学生(Iターン)就職促進プログラム」事業に首都圏の私立大学では唯一採択されています。それら国際化推進の役割を強力に担っているのが国際教育センターです。

国際教育センターは、「国際教育プログラム」、「国際交流プログラム」、「グローバル化推進プログラムの研究・開発」の構築と充実を目指して活動しています。

しかしながら、2020年度は新型コロナウイルス感染症が地球規模で拡大したため、渡航を伴う留学等のプログラムのほとんどを中止、延期という判断を下さなければならませんでした。同時に実渡航に代わりオンラインによる国際教育・交流が進み、ポストコロナの留学のカタチが模索されています。東洋大学では、この喫緊の課題に対して新しい国際教育・交流の構築に取り組み始めました。オンライン協働学習「COIL」、SDGsを主題とした模擬国連、ビジネス日本語ポイント講座、国際学生ミーティングなど、DX(デジタルトランスフォーメーション)を視野に入れた取組を始めています。

本報告書は、年度ごとの活動成果をまとめて「年報」として報告するものですが、2020年度の活動を詳しく報告する本冊子を関係各位において活用していただき、また、国際教育センターの上記の新しい取組に対するご助言を賜ることができたら幸甚です。

〔国際教育センター組織図〕



2021年3月31日現在

目次

●『2020年度国際教育センター年報』の発刊にあたって

トピックス

1	新型コロナウイルス感染症の拡大とその対応 ―続編―	3
2	派遣プログラムのオンライン実施に向けた取組	5
3	コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み	6

国際教育プログラム

1-1	LEAP プログラム	8
1-2	外国語力強化プログラム：課外語学講座・語学試験	9
2	英語スピーチコンテスト／日本語プレゼンテーションコンテスト	12

国際交流プログラム

1	海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用	13
2	各種留学・受入プログラムの実施状況	15
3	各種留学・派遣プログラムの実施状況	17
4-1	交換研究員の派遣・受入	20
4-2	外国人研究員の受入	21
5	Toyo Global Leader (TGL) プログラム	23
6	留学生就職促進プログラム	24
7	UMAP国際事務局の活動―5年間の取組と成果	26

グローバル化推進プログラムの研究・開発

1	ISAS2.0のフォローアップ	28
2	柔軟な国際編転入制度の取組状況	29
3	国際教育センターのFD/SD活動	30

資料編

1	学術交流協定校協定締結一覧	32
2	学部・研究所等協定締結一覧	37
3	学生受入	40
4	NEST履修者数／BJT団体受験結果／国際会館利用者数	51
5	ECZ利用者数	52
6	学生派遣	53
7	コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み	60
8	TGL Program達成状況／留学ガイダンス参加者数／国際教育センターメールマガジン登録者数	62
9	課外英語講座開講実績	63
10	各種海外留学奨学金	66
11	渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金A・B 志願者内訳	70
12	海外留学フェアおよびリクルーティング実績	72
13	国際教育センター運営委員会（審議事項）	73
14	国際教育センターに係る規程一覧	76
15	国際教育センター構成員	77
16	各種刊行物の発行	78

トピックス①

新型コロナウイルス感染症の拡大とその対応 ―続編―

国際部長 高橋清隆

2020年度の国際教育センターの活動を振り返る本年報の巻頭言を2021年5月に執筆している。手帳を見直すと、2020年度は定例会議以外の予定はほとんど無かったと言っても過言ではない。2019年度であれば、海外からの来客や海外出張が頻繁に予定に入り、大変活気のある職場であったが、いまはその面影すら探すことが困難である。新型コロナウイルス感染症による各種制限は当然学生の諸活動にも制約を及ぼし、世界中で学生の実渡航が困難となった。

新型コロナウイルス感染症の状況について昨年の同時期と比較すると、世界全体で35倍増の延べ1億6千万人以上が感染し、死亡者数も10倍増の330万人を超える被害となった。一方、日本は42倍増の延べ68万人が感染し、死亡者数は15倍増の1万人を超える規模にまで拡大してきている。当初、日本は世界と比べ感染者が少なかったが、その後、急速に拡大してきた。PCR検査の普及が進むにつれ陽性者が増加したこと、また、ワクチン接種が他の先進国と比べ遅れていることが、感染者が増加する要因となっている。更に、感染力がより強い変異ウイルスが国内でも見つかри、かつ複数のタイプが判明していることから、感染拡大の抑制を困難にさせている。

2020年4月7日に、東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の7都府県に緊急事態宣言が発出され、4月16日にはその対象が全国へと拡大された。その後、徐々に解除していきながら、5月25日に首都圏の1都3県と北海道の解除をもって、およそ1ヶ月半にわたる緊急事態宣言が終了となった。また、第2回目の緊急事態宣言が2021年1月8日から1都3県を対象に発出され、対象地域を増やしつつ、3月21日の解除まで続いた。そして第3回目となる緊急事態宣言が、2021年4月25日から東京都、京都府、大阪府及び兵庫県を対象に発出された。その後、北海道及び4県が追加され、現在、解除の目途が立っていない状況となっている。

(単位:延人数)

	2020年5月18日	2021年5月18日	増減	
世界の感染者数	4,628,903	163,312,429	158,683,526	35.3 倍
死亡者数	312,009	3,386,825	3,074,816	10.9 倍

	2020年5月18日	2021年5月18日	増減	
日本の感染者数	16,305	687,825	671,520	42.2 倍
死亡者数	749	11,591	10,842	15.5 倍

WHOのHPより作成

このような状況下において、国際教育センターの業務は縮小を余儀なくされた。

海外大学との交流の起点となる協定校の拡大に向けたアプローチは、NAFSA、EAIE、APAIE、AIEA等の海外の有力大学が参加する国際会議を通じて行っているが、それらが延期となったことから、これまで面会してきた大学を中心に、メールやWebシステムを通じた交渉となり、新規協定数の獲得は12大学に留まった。

海外からの交換留学生の受け入れに関しては、各学期に百数十名の学生が本学への留学を希望していたが、政府の水際対策が継続されていることから新規入国が叶わず、その夢を実現させてあげることができなかった。また、2020年秋から海外大学への中・長期留学を希望していた本学の学生263名(部局間含む)についても同様であった。

一方、2019年秋出発、2020年春出発により留学し、帰国勧告に従い帰国した学生及び出発前にキャンセルした学生を対象に、渡航費用、プログラム費用、宿舍費など、留学中止に伴い学生が負担した費用について数ヶ月にわたり精査した結果、225名の学生に対し負担した費用を奨学金と相殺し

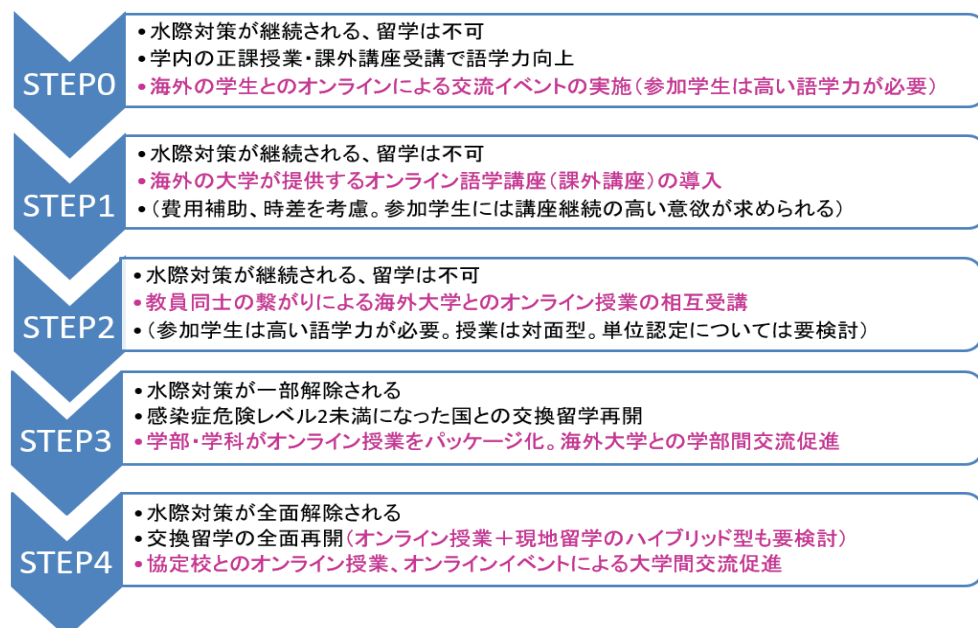
たうえで支援することができた。

2020 年 12 月末、5 年間にわたりアジア太平洋大学交流機構 (University Mobility in Asia and the Pacific: UMAP) の運営を担う国際事務局の任務を満了した。この間、UMAP が掲げる、「アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進」に寄与すべく諸活動を展開してきた。その結果、アメリカ、オーストラリア、カナダを始め、新たに 11 カ国・地域が正会員国となり、2020 年末には 22 カ国・地域へとネットワークが拡大した。それに伴い、UMAP と協定を締結した大学は、176 大学から 374 大学へと増加している。国際事務局の業務を通じ、UMAP 加盟国を中心に、「日本」のプレゼンスを向上させることが出来たと感じている。また、本学にとっても、UMAP に加盟している有力大学と大学間協定を個別に締結することができ、UMAP の枠組みを越えた交流が実現するなど、国際事務局を引き受けたメリットは大変大きかったと言える。この任期中、国際学部国際地域学科の芦沢真五教授が国際事務局事務次長として様々な国際会議に参加され、UMAP 及び本学のプロモーション活動を精力的に行ってくださった。また国際教育センター所属の小早川裕子准教授には事務局長として UMAP 国際理事会の円滑な運営に尽力していただいた。任期満了が近づくにつれて、「引き続き東洋大学に国際事務局を担って欲しい」と、いくつもの国から要望が出されたことは、本学が UMAP へ大きな貢献を果たしてきたことの証左であろう。この場を借りて心より御礼を申し上げたい。

2020 年は、文部科学省スーパーグローバル大学創成支援 (SGU) の中間評価受審の年でもあった。コロナの影響により学生交流に関する指標は目標を下回ってしまったが、各学部、研究科、事務局の御協力により、多数の指標において目標を達成することが出来た。自信をもって受審に臨んだが、総括評価の結果は「A」となり、「これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される」という、前回と同じ評価であった。併せて「学部によって国際化を実施するレベルが揃っていない」「全学生の英語力の向上」などが本学の課題として示されており、SGU の最終年度に向け、これらの課題も含め鋭意取り組んでいきたい。

コロナにより、海外への実渡航が困難な状況にあつて、留学の代替手段としてオンラインによる教育が進展し始めている。時差への対応は必要だが、経済面から留学を断念した学生にとっても有益な教育手法となる。オンラインを用いた場合、対面と比べ非言語コミュニケーションが取りにくいことから、学生の語学力がポイントとなる。また、パソコンを「ログアウト」した瞬間から日本の環境に戻ってしまうため、実渡航で得られる異文化理解の広がりや深さが限られてしまうことは否めない。しかしながら、コロナが終息した後も、実渡航とオンラインとを併用するハイブリッド型の留学は普及していくものと予想している。そのために、学生の語学力の向上を着実に図り、実渡航に向けた準備をしっかりと進めなければならない。

アフターコロナに向けたステップ (私案)



トピックス②

派遣プログラムのオンライン実施に向けた取組

新型コロナウイルスの影響により、2020年度はすべての海外派遣プログラムが中止となったため、その代替として、交換留学先の授業をオンラインにて履修することを可能とし、また短期プログラムもオンラインにて実施した。

■留学先大学授業のオンライン履修

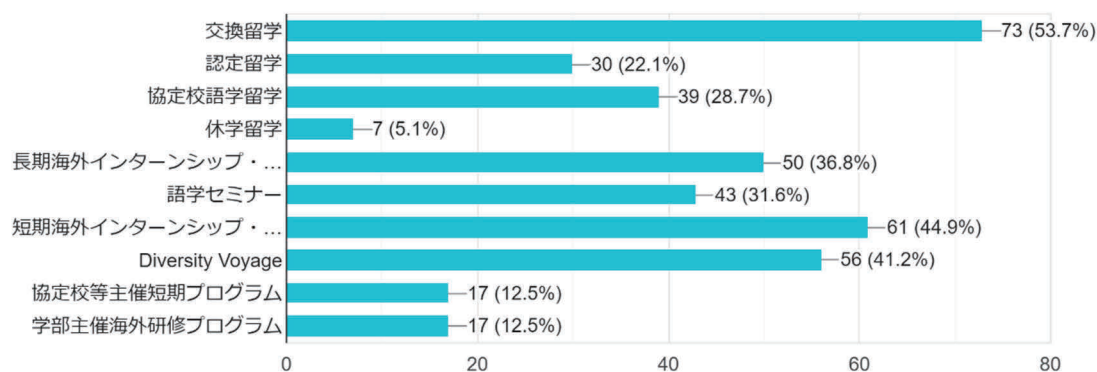
2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延に伴い、当時留学中であった学生全員に帰国勧告を行った。長期留学(交換留学・認定留学)に参加していたほとんどの学生は学期の途中で帰国することとなったため、留学先大学がオンライン授業を提供している場合は、学部の同意のもと、日本国内で授業を継続して受講し、単位を修得できるよう制度を整えた。

また、2020年度秋学期にはUMAPの学生交換スキームを利用したUMAP Exchange Onlineが実施され、国際学部が参画したほか、アメリカ・ワシントンセンターによるインターンシッププログラムもオンラインで行われ、国際学部生1名が約3カ月間のインターンシップ活動に従事した。

■短期オンラインプログラムの実施(詳細は、P18参照)

2020年度夏季休暇期間に実施を予定していた短期プログラムはすべて中止としたが、春季休暇期間には「Diversity Voyage」「語学セミナー」をオンラインで実施し、142名の学生が参加した。本学主催のオンライン短期プログラムの実施は初めての試みであったが、参加後のアンケートでは学生の国際交流への意欲や満足度の高さを伺うことができた。また、参加した多くの学生が今後海外へ実際に渡航する留学に参加したいと回答した。

<今後参加を希望するプログラム>※複数回答可



<参加学生の声>※参加者アンケートより一部抜粋

- 授業がきめ細かく行われ、まるで現地にいるような体験をすることができた。
- 語学力が伸びただけでなく、海外の友達ができたり、海外の文化を知ることができ、とても楽しかった。
- 自分の英語スキルの向上やSDGsへの理解等、様々な面で成長することができた。

■東洋大学海外留学促進奨学金のオンラインプログラムへの特別適用

「東洋大学海外留学促進奨学金」について、要件を満たす場合はオンラインプログラム等にも適用することについて、2020年7月6日の常務理事会で承認された。これにより、語学セミナー(オンライン)等の短期プログラムに参加した学生50名が同奨学金の支援を受けることができた。

トピックス③

コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み

■国際学生ミーティング

海外協定校の学生とオンラインで交流するプログラムとして「国際学生ミーティング」を2020年度より新たに企画し開催した。このプログラムは、参加学生が自国の文化・生活等で関心のあるテーマについて写真を使って発表し、その後の話し合いを通じて、お互いの文化について理解を深めるものである。大連外国語

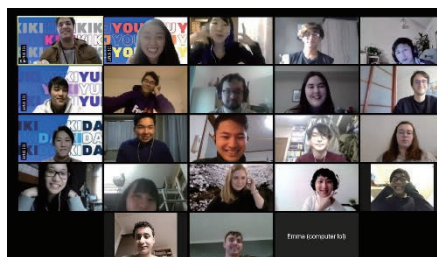


タイの文化を発表している様子

大学(中国)とのプログラムでは「SDGsが目指す持続可能な社会の実現に向けて一大学生の私たちにできること」をテーマに、SDGsの実現に向けた国際協調・協働のあり方について考えた。交流は日本語で行われ(一部英語)、また、参加者を「発表者」と「一般」の2グループに分けることにより、語学力に関係なく気軽に参加することを可能にした。2020年11月～2021年1月にかけて、協定校4大学と計6回開催し、延べ170名(東洋大生131名、協定校の学生39名)の学生が交流した。

■ECZoom

学生が英語で交流する場English Community Zone(ECZ、8号館1階)は、2020年度はオンラインによる「ECZoom」として形を変え運営した。オンラインは実際のECZとは違い外から様子を伺うことができないため、情報を得た学生でないと存在を知ることができない。また、様子が全く分からないからこそ初めて参加する学生はアクセスをするのに勇気がいるというデメリットがある反面、場所を選ばずどこからでも気軽に参加できることが大きなメリットである。秋学期はオンラインならではの企画として、海外との交流を行った。アメリカの協定校ミズーリ大学セントルイス校で日本語を学んでいる学生との交流では、本学学生10名と先方16名と

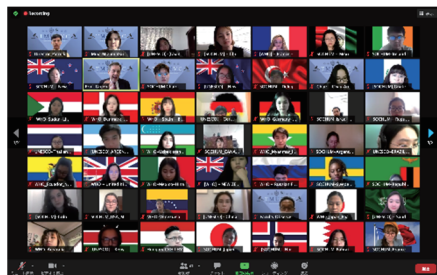


Zoom上で交流している様子

が、お互いの国や人の印象についてディスカッションを行うなど1時間半にわたって交流した。その他、世界遺産の保護に携わる韓国の学生によるプレゼンテーション、卒業生や元交換留学生等も参加できるホームカミングイベントなどを実施し、春学期は延べ84名、秋学期は延べ283名、年間延べ367名(学外者含む)がECZoomに参加した。例年、対面で行っているECZには年間8,000名程度の参加者がいるので、いかに参加者を増やすかが次年度の課題である。

■模擬国連

3月27日・28日の2日間にわたり、第2回東洋大学模擬国連(TOYO.MUN Virtual Conference 2.0)をオンラインで開催した。準備から運営まで、学生団体「東洋大学模擬国連」(国際学部グローバル・イノベーション学科の学生が中心)が行った。「“Cultivating Global Youth Leaders through introducing Model United Nations”



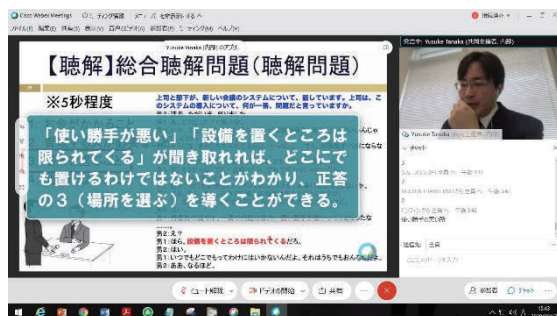
参加学生の集合写真

(模擬国連会議の導入によるグローバルな若者のリーダーの育成)」を開催テーマに、SDGsに関わりの深いトピックについて、世界12カ国・地域、19の教育機関から63名が委員長・大使として参加し、連日白熱した議論を繰り広げた(使用言語:英語)。本学からも9名が大使として、14名が運営ボランティアとして参加した。開会式では、矢口悦子学長が開会の挨拶を述べ、また、スティーブン・グリーン准教授(法学部企業法学科)による基調講演が行われた。

■ビジネス日本語ポイント講座

夏と春にオンライン形式によるビジネス日本語ポイント講座を実施した。昨年度までは日本での就職を目指す国内留学生や企業で働く日本語を母語としない方のために、各界の専門家を招き、ビジネス日本語について総合的に学べる全 20 講座を本学が無料で開講していた。今年度は、コロナ禍の影響によりオンライン形式にて夏休み期間および春休み期間に実施した。オンライン形式のため、全世界に開放することが出来、その結果夏のポイント講座には世界 40 カ国・地域から延べ 17,000 人以上、春のポイント講座には世界 73 カ国・地域から、延べ 22,000 人以上の参加者があった。

参加者の内訳を見ると、東洋大学の留学生、日本国内の大学や日本語学校で学ぶ留学生をはじめ、海外で日本語を学ぶ大学生や、日本国内外の日系企業や各国のグローバル企業に勤務する会社員、また、日本語教育に携わる教師や学校関係者など、多様な方々より参加があった。講座中はチャット機能を使ってアンケートやクイズを実施したり、講師と参加者との応答がなされたりと、双方向性のある形で実施され、受講生は楽しみながら積極的に参加していた。



講座の様子



担当教員(左:田中祐輔准教授、右:牛窪隆太准教授)

【春のポイント講座一覧】

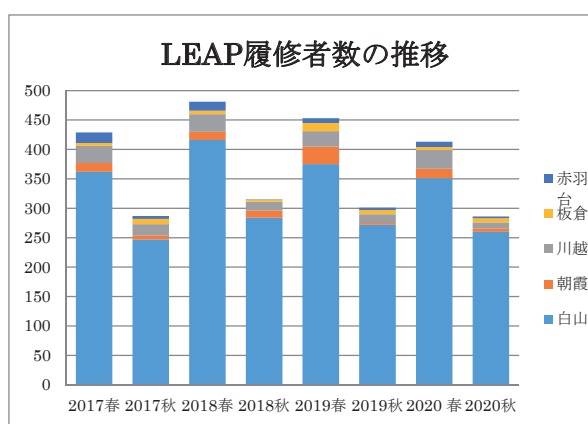
日程	回	時間	テーマ	種別	講座名	講師・所属
2月1日(月)	1	13:00~14:30	コミュニケーション	理論(Theory)	日本語の論理的コミュニケーション	山田乃理子 公益財団法人日本漢字能力検定協会・部長
	2	14:40~16:10		実践(Practice)	ビジネス日本語のコミュニケーションアプローチ	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授
2月2日(火)	3	13:00~14:30	キャリア	理論(Theory)	日本の就職活動とキャリアプランニング	菅野善之 株式会社日経HR・執行役員営業本部長
	4	14:40~16:10		実践(Practice)	BJTビジネス日本語能力テストの全容と対策	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授
2月3日(水)	5	13:00~14:30	文法	理論(Theory)	コミュニケーション能力育成のための日本語文法	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師
	6	14:40~16:10		実践(Practice)	文法を中心としたビジネス日本語実践演習	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授
2月4日(木)	7	13:00~14:30	語彙	理論(Theory)	外国人学習者の語彙学習の困難点と対策	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師
	8	14:40~16:10		実践(Practice)	ビジネス日本語語彙の習得と演習	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授
2月5日(金)	9	13:00~14:30	表現	理論(Theory)	ビジネス日本語と敬語表現	前田直子 学習院大学・教授
	10	14:40~16:10		実践(Practice)	場面別ビジネス日本語表現演習	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師
2月6日(土)	11	13:00~14:30	文化	理論(Theory)	ビジネス現場で求められるマナー	遠山祥胡子 株式会社エムシーエス・代表取締役
	12	14:40~16:10		実践(Practice)	ビジネス文化知識と習得のためのトレーニング	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授
2月7日(日)	13	13:00~14:30	ライティング	理論(Theory)	ビジネス日本語ライティング	奥田純子 コミュニケーション学院・学院長
	14	14:40~16:10		実践(Practice)	超級レベルの日本語ライティングテスト演習	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授
2月8日(月)	15	13:00~14:30	聴解	理論(Theory)	ビジネス日本語の聴解	堀井恵子 武蔵野大学・名誉教授
	16	14:40~16:10		実践(Practice)	BJT聴解実践演習	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師
2月9日(火)	17	13:00~14:30	読解	理論(Theory)	ビジネス日本語の読解	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授
	18	14:40~16:10		実践(Practice)	BJT読解実践演習	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授
2月10日(水)	19	13:00~14:30	J1・J1+	理論(Theory)	翻訳・通訳とビジネス日本語	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師
	20	14:40~16:10		実践(Practice)	BJT総合実践演習/ 今後の学習に役立つ資料とツール	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授

LEAP プログラム

LEAP プログラム(Learning English for Academic Purposes)は、主に留学を目指す学生を対象に、学術英語運用能力や学習スキルを養成する全学的な取組として開講している。LEAPプログラムはA科目(Listening/Speaking中心、週2コマ)とB科目(Reading/Writing中心、週2コマ)、さらにTOEFL® ITP500点相当を保持する学生を対象としたPre-Study Abroad科目で構成されており、白山キャンパスではTOEFL® ITPのスコアを基準にレベル分けを実施している。1クラスの受講者数を25名程度とし、ペアあるいはグループワークを多く採り入れた授業構成とすることで、留学に必要な学術英語力のみならず、コミュニケーション力や大学での学習スキルなど、留学において必要となる能力全般の養成を目指している。

■LEAP 履修者数

2020年度履修者数は、延べ数で699名(前年度比93%)となった。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、春学期および秋学期ともにオンラインで実施した。



■LEAP を履修した学生の TOEFL® ITP スコアの伸び

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策の一環として、選抜試験を実施しなかったため、例年実施している履修前後の比較はできなかった。昨年度の実力試験の平均点と比較すると、2020年度春学期の平均点は480点(昨年度春学期466点)、秋学期の平均点は489点(昨年度秋学期463点)とスコアは大きく上昇した。2020年度秋学期については、最高得点が643点で、EAP IIの2科目履修者の平均点が512点となり、高得点を取得する学生がいた一方、例年30前後であった標準偏差が38となっていることから、履修者のスコアのばらつきが大きい結果となった。なお、スコア分析においては、今年度の実力試験は、教室で実施する通常のTOEFL® ITP試験ではなく、オンラインTOEFL® ITPを実施したため、スコアに影響を及ぼしている可能性があることも考慮する必要がある。

■English Camp ならびにTOEFL® 講座受講者数

LEAP プログラムでは課外活動として、夏季休暇中(9月上旬)に語学試験対策集中講座、春季休暇中にEnglish Campを実施している。2020年度は、今までのTOEFL ITP対策講座をIELTS対策講座に変更してオンラインで実施した。3月のEnglish Campもオンラインで実施し、118名の参加があった。

(人)

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
English Camp	70	78	80	57	55	中止	118
IELTS講座 (TOEFL® ITP 講座: ~2019)	88	79	39	57	50	31	62

外国語力強化プログラム：課外語学講座・語学試験

<課外語学講座>

■英語講座〔※詳細は pp63-65参照〕

全学的な英語力の向上を目的に、学内プログラムの拡充を図った。

アカデミックライティングを指導するランゲージセンター（白山キャンパス8号館1階）は、2020年度から株式会社ECCに業務委託し、1日4名のネイティブスピーカーの講師とコーディネーターを配置し、新型コロナウイルスの影響により、春学期・秋学期ともにオンラインで実施した。

英語論文を書くための基礎知識とライティングスキルを指導するConference Writing (CW)、TOEFL® iBT や IELTS™ 試験のライティングパートの演習に特化した“PWT” (Prep for Writing Tests)、Resume作成など個々のニーズに合わせて学ぶことができる“PLUS” (Personalized Language Upgrade Series) の3プログラムを開講し、合計310名が受講した。修了後のアンケートでは、受講者の99%が講座に対して満足と回答しており、多くの学生がライティング力の伸びを感じていることが分かる。

学生が単発でライティングに関する相談ができるライティング相談も定期的な利用があり、年間で80件の利用があった。また、交換留学出願のためのプレゼンテーションに関する講座、発音や文法に特化した英会話講座などを企画し、前者には交換留学出願者約100名が、企画講座には140名の学生が参加した。

英語資格試験対策講座 (IELTS™、TOEFL® ITP、TOEIC® 対策講座) は年間を通して全てオンラインで開講し、キャンパスを問わず多様な学部、大学院の学生が受講することが可能となった。IELTS講座7クラス、TOEFL講座2クラス、TOEIC講座16クラスの合計25クラスを開講し、436名が受講した。新型コロナウイルス感染症の影響により講座終了時のテスト受験は義務化せず推奨としたが、多くの学生が自主的にテストを受験し、IELTS™のスピーキングで1.5ポイント、TOEIC® L&Rでは270点と飛躍的にスコアアップした学生もあり、講座の成果が見られた。

<キャンパス内留学>【Toyo Achieve English】英語講座では、前期は新型コロナウイルス感染症により、グループレッスンの募集は行わず、全クラスマンツーマンレッスンをオンラインで提供した。後期は例年通りグループレッスンとマンツーマンレッスンを開講した。対面での説明会やトライアルレッスンが提供できず、特に新入生に対する広報活動が十分でなかったため、例年1年生の受講者数が全体の6割程度を占めるところ、今年度は半分の3割程度に留まり、学生の総受講者数は前年比38%の509名となった。受講した学生からは、「オンライン授業でも対面と変わらないクオリティの会話レッスンを受けることができた」、「画面を通しての方が英語で話す抵抗感が少なく感じられ積極的に話せた」等、概ね良好な評価を得られた。

また、【Toyo Achieve English】英語講座では今年度も学外向け講座を開講し、年間240名が参加した。主にオンラインで授業を提供したが、主な受講層であるジュニア世代、シニア世代はパソコンでの受講が難しいことも多く、加えてアクティビティを中心とした授業から非接触型授業内容への変更により受講のキャンセルや申し込みを控える方が増え、受講者数は昨年から半減した。一方で、附属校生対象の高大連携アチーブイングリッシュは、例年通り本学への入学決定者対象に京北高校3年生129名と牛久高校234名にTOEIC講座と英会話講座を対面にて提供した。また姫路中学校2年生を対象とした2日間英語のみで活動を行うAll English Daysに英語講師を派遣し、英語プログラムを提供した。

今期新たな取組として、文京区障がい者施設より障がい者向けの英会話講座を受託した。規模は大きくないが、今後は社会貢献をより一層推進する上でも積極的に事業を展開していく予定である。次年度は状況を鑑みつつ対象者やプログラムに応じてオンラインと対面を上手く組み合わせながら、減少した受講者数を再度増やしつつ、新たなマーケットの開拓を行い全世代教育講座の充実を図る。

今年度は本学独自のビジネス英語講座である「BESTプログラム」を5期全てオンラインで開講し、一般社

会人と在学生の96名が受講した。2020年度は実践的英語プレゼンテーション講座を各期で2コース、ビジネスシーンでの会議や交渉を想定した「Meeting and Negotiation講座」の他、デジタル教育の理論と実践を学ぶ「Digital Pedagogy: Theory and Practice講座」を新規に開設し、本プログラムをさらに拡大した。

【2020年度 英語課外講座受講者数(年間)】

(人)

主催	プログラム名		受講者数			
			学生	教職員	附属校生	学外
国際教育センター	ランゲージセンタープログラム		310			
	英語資格試験対策講座	IELTS™ 講座	122			
		TOEFL® ITP 講座	19			
		TOEIC® 講座	295			
	【Toyo Achieve English】英会話講座		509	5	463	240
	BEST プログラム		92			4
合計			1347	5	463	244

■日本語講座

外国人留学生向けの日本語課外講座もオンラインで開講した。日本語力が高い学生向けのBJT(ビジネス日本語能力テスト)対策講座に加えて、初中級～上級を対象とした少人数の技能別(会話・文法・読解等)グループレッスンとマンツーマンレッスンができるSTEP UP講座および講師とのマンツーマンによる日本語ライティング指導プログラムを年間を通じて開講した。オンラインで実施したことにより、新型コロナウイルス感染症により海外滞在中の留学生も受講することができ、昨年度の約2倍の学生が講座を受講した。特にコロナ禍で日本人との日本語でのコミュニケーション機会が減少する中、少人数制クラスで日本語の発話機会を十分に持てたことが、留学生の学習モチベーションに繋がっている。

【2020年度 日本語課外講座受講者数(年間)】

(人)

プログラム名	受講者数				
	春学期	夏季	秋学期	春季	合計
BJT対策講座	149	17,737(※)	108	22,505(※)	40,499
STEP UP講座	110	149	111	99	469
日本語ライティング指導(プログラム型)	63	開講なし	45	開講なし	108
日本語ライティング指導(スポット型)	9		54		63

※延べ人数

<語学試験>

2020年度も各種英語資格試験の団体受験制度を活用し、受験料の補助を行うことで学生の受験機会を増やすこととしていたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの試験を中止もしくはオンライン版での実施

に変更した。また、各学部・研究科主催の語学試験も同様の取扱いとなった。一方で、長期留学に必要なTOEFL® ITPの語学試験については、新型コロナウイルスへの対策を講じ、対面で年2回実施した。

外国語資格試験受験料補助においては、様々な言語の資格試験に対して補助を行い、学生の多様なニーズに即した支援を行った。

【受験料補助の対象となる語学試験および級】

- | | |
|---------------------------|-----------------------------|
| －実用英語技能検定(1級・準1級) | －中国語検定試験(4級以上) |
| －TOEFL® iBT | －HSK(漢語水平考試)(筆記1級、口試初級以上) |
| －TOEIC® S&W | －ハングル能力検定試験(4級以上) |
| －IELTS™ (※) | －TOPIK(韓国語能力試験)(TOPIK I 以上) |
| －ドイツ語技能検定試験(4級・5級併願以上) | －DELEスペイン語検定(A1以上) |
| －ゲーテ・ドイツ語検定試験(A1以上) | －スペイン語技能検定(5級以上) |
| －実用フランス語技能検定試験(4級・5級併願以上) | －BJTビジネス日本語能力テスト |
| －DELFDALF(A1以上) | －日本語能力試験(JLPT) |
| －TCF(フランス語能力テスト) | |

(※) 学内団体受験を中止し、公開試験受験による受験料補助とした。

【外国語資格試験 受験料補助申請者数】

(人)

試験名	2018年度	2019年度	2020年度
実用英語技能検定	23	29	35
TOEFL® iBT		20	30
TOEIC® S&W			2
IELTS™			151
HSK(漢語水平考試)	34	61	24
中国語検定試験	22	18	19
TOPIK(韓国語能力試験)	15	16	2
ハングル能力検定試験	15	16	10
DELFDALF	1		
実用フランス語技能検定試験	25	47	13
TCF(フランス語能力テスト)			
ゲーテ・ドイツ語検定試験		5	2
ドイツ語技能検定試験	11	29	12
DELEスペイン語検定		1	
スペイン語技能検定		1	
小計(外国語試験)	146	243	300
BJTビジネス日本語能力テスト	144	218	194
日本語能力試験(JLPT)		36	
小計(日本語試験)	144	254	194
合計	290	497	494

英語スピーチコンテスト／ 日本語プレゼンテーションコンテスト

■英語スピーチコンテスト

2021年1月9日(土)に全学を対象とした6回目となる英語スピーチコンテストを開催した。

英語スピーチコンテストには30名の応募があり、学部の予選を勝ち抜いた13名が参加した。テーマに「新型コロナウイルスのパンデミックにより受けた一番重要な課題とその解決策は?」「あなたにとっての“ニューノーマル”とは?」「パンデミックによる格差とその解決策は?」「コミュニティとより強く繋がるために、何を培うことができるか?」「AI(人工知能)が、あなたの将来のキャリアにもたらす利点とリスクとは?」を設定し、その中から学生がテーマを選択して発表を行った。5分間という限られた時間で、13名の学部代表者は自分の主張を力強く発表した。

今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、初めてオンラインでの配信を行った。

また、今年度も多数の企業・団体から協賛を頂き、更に特別審査員として日本英語検定協会、株式会社ECCよりご協力頂いた。

■第3回 日本語プレゼンテーションコンテスト

2021年1月23日(土)に、日本語プレゼンテーションコンテストを開催した。本コンテストは、本学で修学する外国人留学生に対して日本語学習の機会と日頃の学習成果を発表する機会を提供する目的で、2018年度から開催され、本年度は第3回目の開催となる。例年は3名がチームになって出場する形態で実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策の一環として、今回は1名で出場する形態およびオンライン配信での実施に変更した。

今回は「COVID-19を超えて～アフターコロナと復興。未来への提言～」というテーマを設定し、16名の応募の中から書類審査を通過した8名の決勝出場者たちが、コロナ禍における自分自身の経験や社会活動の中から、個人として、そして社会としてどのようにコロナ禍を乗り越えていくことができるかということに関して、力強く、そしてクリエイティブな発表を行った。

今後も国際教育センターでは、留学生の日本語教育と就職をサポートするために、継続して本イベントを実施していきたい。

<各コンテストの様子>



英語スピーチコンテスト
(2位)
日下由香子さん
(国際文化コミュニケーション学科 3年)



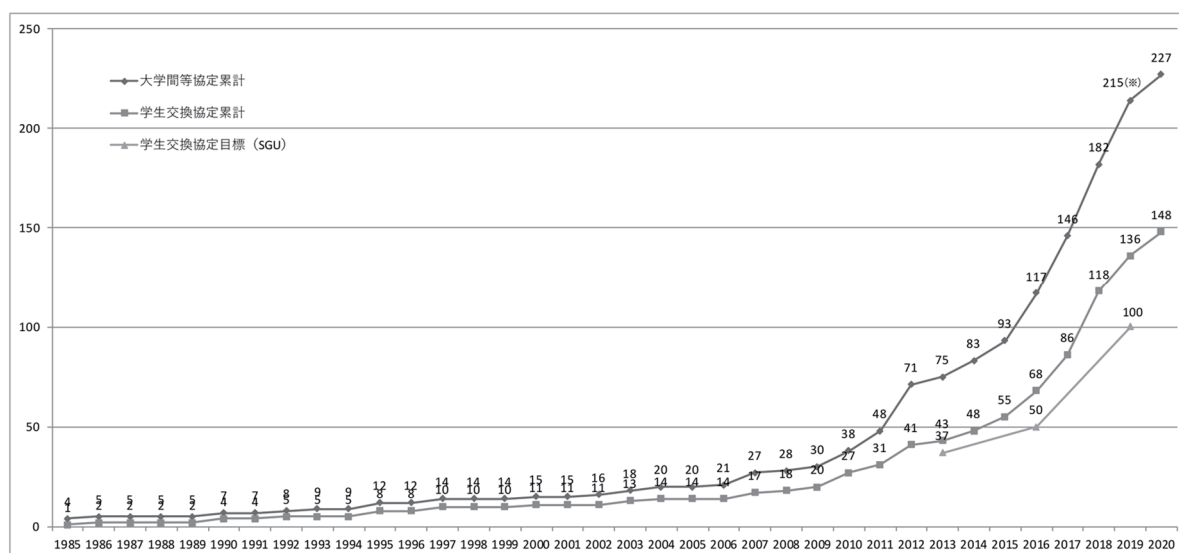
英語スピーチコンテストの様子



日本語プレゼンテーションコンテスト
(1位)
バズラチャルヤ ロバートさん
(ネパール)
(国際観光学科 2年)

海外協定校ネットワークの拡大・海外拠点の運営と活用

海外に留学して自分の文化と異なる文化の中で世界各国の学生と切磋琢磨することは、学生がグローバルに活躍できる人財に成長するための重要な要素の一つとして位置づけられる。できるだけ多くの学生がそのような経験をするためには、海外の信頼できる高等教育機関と協定を結び、安心して学生が留学できる環境を整えておかなければならない。学業、語学力ともにトップレベルの学生のみならず、より広い層の学生にも(留学に対して熱意と真摯さを持つ学生であれば)留学の機会を提供する必要がある。国際教育センターでは、2014年度の文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援(タイプB:グローバル牽引型)」に採択以降、毎年世界各地で開催される国際教育分野の大会への参加や海外大学への訪問などを通じて、協定校、特に学生交換協定の開拓・拡大を続けてきた。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、海外でのネットワーキングが延期・中止となったため、新規協定先開拓が難しい状況となったが、コロナ禍終息後に留学を希望する全ての学生がその機会を得られるように、協定校の開拓を継続していく。



※2020年度中の協定数のカウント方法の見直しにより2019年度版年報での報告数(214)から1件増

■海外ネットワーク[※詳細は pp.32-39 参照]

(2021年3月31日現在)

大学間協定	件数 (国・地域数)
学術交流協定(包括協定)	207(37)
学生交流協定	148(28)
全協定数合計	227(37)

- ・学術交流協定(包括協定)、学生交換協定を個別にカウント
- ・協定機関には大学・国際機関・コンソーシアム・都市(自治体)を含む。
- ・日本の協定機関は上表に含まない

部局間協定	件数 (国・地域数)
学部(9学部)	63(27)
大学院(10研究科)	21(19)
研究所等(6箇所)	19(14)
全協定数合計※	92(34)
うち包括協定	75(30)
うち学生交流協定	46(24)

※研究科と学部等三者間協定11件を含むため、合計は92件となる

※包括協定、学生交流協定を兼ねるもの29件を含む

■海外拠点

本学は、海外に拠点を6カ国9ヶ所に配置している。2018年度にはミャンマー拠点を設置し、2019年度には2013年から5年間設置していたインド工科大学デリー校(IITD)内に再びオフィスを設置した。インドのデリーオフィスは本学のバイオ・ナノエレクトロニクス研究センター(BNERC)との共同研究と、本学のプロモーションオフィスとしての二つの役割を果たすべく設置された、新しいタイプの拠点である。また、2020年度には北京ならびに上海にオフィスを設置した。それぞれの拠点の活動内容は以下の通りである。

<タイ拠点(バンコク)>

◆設置年 2014年1月 ◆場 所 チュラロンコン大学

現地スタッフが2名常駐し、以下の役割を担う。

- (1) 短期海外研修とSFS(Short-term Field Study、国際学部、大学院が実施する短期研修)の受入支援および危機管理
- (2) タイの協定校開拓・連携:タイに事務所などを設置する他大学とのネットワーク構築。
- (3) 本学卒業生のためのネットワーク作り、留学生のリクルーティング等、本学のプロモーション活動

<アメリカ拠点(ロサンゼルス)>

◆設置年 2016年7月 ◆場 所 カリフォルニア州

Affinity Associatesと連携し、連絡拠点(リエゾンオフィス)を開設。本学の広報活動を展開。本学の学生を教員が引率しオフィスを訪問するなどの活動も行われている。

<ベトナム拠点(ハノイ/ホーチミン/ダナン)>

◆設置年 2017年2月 ◆場 所 株式会社KYODAIのハノイ、ホーチミン、ダナン各事務所

株式会社KYODAIに本学のリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

<ミャンマー拠点(ヤンゴン)>

◆設置年 2018年1月 ◆場 所 株式会社MYA JAPAN SERVICEのヤンゴン事務所

株式会社MYA JAPAN SERVICEにリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験等における支援業務を行う。

<インド拠点(デリー)>

◆設置年 2019年4月 ◆場 所 インド工科大学デリー校(IITD)

ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、バイオナノテクノロジー、材料科学の戦略的研究分野を開発するため、また本学の広報機関として機能している。

<中国拠点(北京/上海)>

◆設置年 2021年2月 ◆場 所 株式会社GES(日中文化交流センター)の北京・上海各事務所

株式会社GES(日中文化交流センター)にリエゾンオフィス運営業務を委託。事務連絡業務や渡日前入学試験、国際編転入提携校開拓等における支援業務を行う。

各種留学・受入プログラムの実施状況

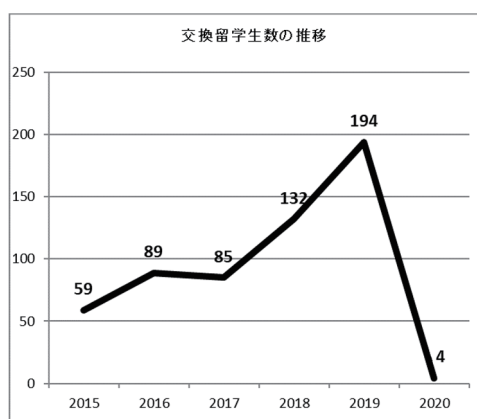
■交換留学生受入数・所属大学国について〔※詳細は pp.45-48参照〕

2020年度交換留学生の受入数は、新型コロナウイルス感染拡大の多大な影響を受けた。出願時では春学期135名、秋学期172名と過去最大数の受入予定であったが、最終的には3カ国から4名の受け入れとなった。

2020年度春学期の受け入れに関しては、来日間際に多くの国で感染が拡大した結果、全ての国からの受け入れを中止したが、個人的な都合により既に入学していた4名に関しては受け入れた。当該学生たちは原則全ての授業をオンラインで履修することになったが、学期終了後のアンケートでは全体的な感想として満足していると回答があった。ただし、交換留学生に開放されている英語開講科目数やレベルについては多少不満があり、クリエイティブな科目を提供して欲しいとの意見もあった。

2020年度秋学期の受け入れに関しては、学生の学習機会を考慮し、7月の時点で「新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本学学生の海外派遣および海外からの受入に関するガイドライン」に基づき受け入れの中止を決定した。

2020年度はほぼ受け入れができない状況となったため、2021年度に延期を希望する学生も多いが、受け入れできるか否かは感染拡大に歯止めがかかるかどうかにかかっている。渡航を伴う交換留学生の来日に希望を持ちつつ受入準備を進めると共に、オンライン科目履修の提供準備も進めていく。



(部局間協定含む)

【所属大学の国・地域名別 年度毎の受入交換留学生数】(人)

所属大学国・地域名	2015	2016	2017	2018	2019	2020
アメリカ	18	19	22	29	46	1
韓国	10	11	8	18	19	
フランス	6	6	7	13	16	1
台湾	3	2	4	13	15	
オランダ	3	14	12	13	13	2
中国	2	8	9	9	13	
イタリア			1		11	
イギリス	2	8	7	3	10	
オーストラリア	1	2	2		7	
カナダ	3	6	1	12	5	
フィンランド			3	5	5	
オーストリア			1	1	5	
ドイツ	2	3	2	3	4	
メキシコ		2	1	2	4	
スペイン				1	3	
ベルギー					3	
ノルウェー				3	2	
ベトナム				1	2	
アイルランド	7	5	3		2	
チリ		1			2	
中国(香港)					2	
スイス	1	1		2	1	
タイ			1	1	1	
マレーシア					1	
スコットランド					1	
モロッコ					1	
スウェーデン		1		2		
コロンビア				1		
ブラジル			1			
エストニア	1					
総計	59	89	85	132	194	4

■留学生対象イベントの実施

留学生の日本社会や日本文化への理解を深めるため、学外機関の協力・依頼のもと、毎年様々なイベントを実施し、参加者は年々増加傾向にある。外部の教育機関および近隣地区福祉施設等での活動も継続して行ってきたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、対面のイベントがあまり実施できなかった。そういった中でも本学の学生団体Toyo Gem Stone(TGS)の活躍によって、対面・非対面を問わずいくつかのイベントが開催されたことは留学生にとって良い機会だった。1度目の緊急事態宣言下では、寮でステイホーム生活を強いられる留学生や日本人学生を対象にアフターコロナの明るい未来を祈ったプロジェクト“World Connecting Movie Project”が実施され、多くの留学生や日本人学生が1つの動画で繋がった。また、緊急事態宣言明けの7月には3密を回避しながらの制限された環境下ではあったが都内巡りを実施し、浅草・お台場コースと柴又コースに分かれて留学生達が日本人学生らと共に交流した。また、12月にはオンラインイベント“Sake for Fun’s Sake”が開催され、日本文化の1つとして日本酒学セミナーを世界中の留学生向けに配信した。学生目線の英語で実施される本セミナーには世界中から数多くの留学生が参加するなど大きな反響があり、コロナ禍における学生交流の可能性を拓ける良い機会となった。

- ・World Connecting Movie Project動画コンテンツ:<https://youtu.be/5zrLKM8dqYU>
- ・都内フィールドトリップ動画コンテンツ:<https://youtu.be/rgHN2jQW0g0>
- ・Sake for Fun’s Sake動画コンテンツ:<https://youtu.be/OvNgIX0guFY>

■ショートプログラムの実施〔※詳細は pp.49-50 参照〕

国際教育センターでは、協定校を対象とした6本のカスタマイズ型ショートプログラムを2020年度に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により全てキャンセルとなった。一方、2019年度より始まったアメリカのHartwick Collegeとのウィンタープログラムでは海外との往来が不可能な状況からオンラインプログラムの実施を模索し、その結果学生交流ワークショップをオンラインで開催することとなった。昨今世界中で話題となっているSDGsをテーマに、SDGsカードを用い、学生がオンラインで課題解決方法を考える充実した内容のワークショップとなった。このワークショップはその後、マレーシアのThe National University of MalaysiaやインドネシアのUniversitas Muhammadiyah Yogyakartaとの合同開催、そしてアメリカのCalifornia State University, Bakersfieldと在グアテマラ米国大使館との合同開催に発展し、本学の学生にとってコロナ禍にあっても世界中の学生たちと繋がる場となった。また、インドネシアやグアテマラのような経済的に日本留学が叶わない学生が多い国ともオンラインで繋がることができたことは、本学学生にとっても世界を知る好機となった。次年度も新型コロナウイルス感染症の影響次第ではあるが、多くのプログラムを対面・非対面問わず開催することにより本学学生への国際交流機会の創出に繋げていきたい。また、オンライン型プログラムのコンテンツの精査を行い、各国からの参加者の満足度向上に努めていく。



留学生向けイベント
浅草フィールドトリップ



ショートプログラム
オンラインSDGsワークショップの様子

各種留学・派遣プログラムの実施状況

新型コロナウイルスの影響により、2020年度の派遣プログラムは中止となったが、一部短期プログラムについてはオンラインで実施した。また、コロナ禍であってもできる留学、および今後の海外派遣者数の拡大に向けて、東洋大学国際教育センターでは、主に以下の海外留学・研修プログラムを展開した。

〔※詳細はpp. 53-59ページ参照〕

■交換留学

2020年度Ⅰ期で留学が決定していた18名(学部主催含む)のうち、6名は新型コロナウイルスの影響により渡航が中止となり、残り12名も留学が途中で中止となった。また、第Ⅱ期でも84名の学生が留学予定であったが、同じく新型コロナウイルスの影響により中止となった。一方、次年度に向けた募集は例年通り実施し、留学期間は1学期間から選択できることや、ブリッジプログラム型(語学履修科目+学部正規科目)での募集枠も設けるなど、学生の多様なニーズに応えるべく募集活動を行った。その結果、2021年度派遣の学内選考では第Ⅰ期は11名、第Ⅱ期は103名の学生が交換留学生として選抜された。次年度も新型コロナウイルスの影響による渡航制限が続く可能性が高いため、オンラインプログラム等の活用も検討しながら継続的に学生に留学機会を与えられるよう支援していく。

■認定留学

2020年度は春出発4名を派遣したが、新型コロナウイルスの影響で大学から学生に対し留学中止勧告が出され、4名とも帰国した。秋出発は6名の応募があったものの、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、派遣は中止となった。出願時期にあわせた説明会の開催および国際教育センターの留学カウンセリングサービスを通じた告知等により、コロナ禍においても一定の出願者数を保っている。

また、2020年度は引き続き協定校型認定留学プログラムで学生交換協定のない協定校へ留学するプログラムを設けたが、新型コロナウイルスの影響により授業がオンラインでの実施になったこと等により、募集を中止した。2021年度はオンラインでのブリッジプログラムについても募集を検討し、派遣可能となった時にすぐに渡航ができるよう、体制を整えていく。

■協定校語学留学

協定校語学留学は2013年度に開始して以来、年々派遣者数の増加がみられていたが、新型コロナウイルスの影響により、2020年度春学期協定校語学留学は、11大学13コース64名の学生を派遣する予定であったところ、実際に渡航した学生は7大学8コース36名に留まり、これらの学生についても渡航後留学中止勧告によって途中帰国となった。2020年度秋学期協定校語学留学では、12大学14コース95名の派遣候補者がいたが、プログラムは全て中止となった。

■協定校等主催短期プログラム

例年、本学の海外協定校等が主催する短期プログラムへ学生を派遣していたが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大を鑑み、現地への派遣は行っていない。海外協定校等が主催するオンラインプログラムをホームページやメールマガジンで周知し、コロナ禍でもできる留学のひとつとして参加を呼びかけた。2020年度は、下記大学のオンラインプログラムを募集し、UMAP-COIL(関西大学)に2名、UMAP Exchange Online Program 2020に3名、カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校に3名、漢陽大学に2名、弘光科技大学に2名、大連東軟信息学院に1名、テンプル大学ジャパンキャンパスに1名、中原大学(台

湾)に2名、北京語言大学に5名、北京理工大学に3名の学生が各大学・機関の実施するオンラインプログラムに参加した。

■語学セミナー

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、夏季プログラムは中止とし、春季プログラムについてはオンラインで3コース(カレッジオブザデザート／アメリカ、ダブリンシティ大学／アイルランド、ディーキン大学／オーストラリア)実施した。参加者数は、アメリカ21名、アイルランド20名、オーストラリア16名の計57名であった。コース設定にあたっては、時差を考え、本学学生が参加しやすく、3コース異なった時間帯を設定し、また北米、ヨーロッパ、オセアニアと異なる地域でプログラムを実施、オンライン学習においても各国の文化や各地域の特色が反映されるようにした。全コースをオープンクラスで実施することにより、各学生のレベルに合った英語学修機会の提供、また他国からの留学生と一緒に学修・活動できる機会を提供した。加えて、オンライン文化交流イベントやバーチャルホームステイなど語学だけでなく、異文化体験もできるようにプログラム内容を充実させた。今後の新規コース開発にあたっては、引き続き危機管理および学習成果の観点から派遣先を選定し、学生の多様なニーズに応えられるよう企画・運営を行っていく予定である。

なお、海外留学促進奨学金オンライン特別適応により、春季語学セミナーのオンラインプログラムが対象となったため、参加者の約9割が「チャレンジ型」奨学金の申請をし、プログラム費用のほとんどをカバーする奨学金を受給した。

■海外インターンシップ・ボランティア

様々な分野や研修地域のニーズに応えるべく、夏季・春季に実施するプログラムである(夏季・春季ともにアメリカ、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、ベトナム)。海外経験が初めての学生から、レベルの高い実践的な研修に関心のある学生まで、それぞれのニーズに応えるべく、語学学校に通いながらボランティアに参加するコースや現地企業で実際に英語を使用してインターンシップに従事するコースなど、それぞれ特色のあるコースを設定している。今後も学生の多様なニーズに応えられるよう様々な分野のプログラムを実施するなど、質の高いプログラム実施に向けて取り組んでいく。2020年度は新型コロナウイルスの関係で、プログラムの実施は中止となったが、2021年度はオンラインプログラムの企画も検討していく。

■日本語パートナーズ

日本語パートナーズとは、2014年度独立行政法人国際交流基金がASEAN諸国との交流拡大を目的に開始したプログラムである。ASEAN(東南アジア諸国連合)諸国等の教育機関で日本語を教える教師等の補佐および日本文化等の紹介を行う人材を日本国内で募集、選抜、事前研修等を行い、派遣している。2017年度の派遣より「大学推薦プログラム」が開始され、本学も独立行政法人国際交流基金との協定締結を行い、参加している。2020年度は4名の学生が選考を通過したが、新型コロナウイルスの影響により派遣が中止となり、そのうち1名が2021年度への延期を希望、派遣することとなった。

■Diversity Voyage

現地学生と共にフィールドリサーチを実施する課題解決型の短期海外研修「Diversity Voyage」2020年度夏季は新型コロナウイルスの影響により中止、春季はオンラインで4コースを実施し(フィリピン、マレーシア、ラオス、インドネシア)、85名の学生が参加した。これまで実施した第14期までの各参加者の合計が、現地参加者も含めると1,779名となった。また、現地で研修成果を活かし帰国後も本研修の根本的なテーマであるSDGs(持続可能な開発目標)に沿った課題解決へ向けて自発的に取り組む学生も多い。グローバル人材育成の導入的プログラムとして今後も積極的に継続していく。

■国連ユースボランティア (UNYV)

国連ユースボランティアは、国連ボランティア計画 (UNV) が大学と連携して実施する長期海外インターンシップである。開発途上国での国際協力活動の経験を通じ、国際社会や異文化理解に関する知識、主体性や責任感を習得することを目的としている。応募にはボランティア経験が問われるだけでなく、国連オフィスで職員として広報業務やイベント企画を行うための、高い語学力とコミュニケーション能力が求められる。2020年度は4名の学生が学内選考へ応募したが、新型コロナウイルスの影響で、UNV側の選考が中止となり、派遣に至らなかった。

■The Washington Center

ワシントンセンター (The Washington Center) は米国ワシントンDCに本拠を持ち、大学生向けのインターンシップを運営する専門機関である。TWCは1975年に設立され、アイビーリーグを含む米国主要大学の学生5万人以上に首都ワシントンにおけるインターンシップの機会を提供してきた。また、留学生にもインターンシップの機会を提供しており、適切な候補者にはJ-1ビザ申請をサポートし、海外からのインターン生には複数の奨学金を準備している。参加学生が、ワシントンDC周辺の公的機関、NPO、企業などでの15週間の就労体験、夜間に実施される著名人によるアカデミックな授業を通じて国際的感覚を身に付けることにより、将来のグローバルリーダーを育てるプログラムである。2020年度は新型コロナウイルスの影響で渡航プログラムは中止となり、渡航予定であった学生1名が約3か月間のバーチャルインターンシップへの参加に変更した。

交換研究員の派遣・受入

[派遣]

交換研究員の派遣は、大学間協定の教員交換に関する条項に基づき、協定校において研究に従事することを目的として専任教員が派遣される。交換研究員は、派遣先協定校の要請に基づき、講義等の教育活動に参加する場合がある。派遣期間は原則として3ヶ月以上1年以内。交換研究員の応募資格は、原則として本学の専任教員として3年以上勤務した者となっており、帰国後は派遣期間の2倍に相当する期間を本学の専任教員として勤務する義務がある。2020年度は新型コロナウイルスの影響により、海外への派遣ができず、国内での研究となった。

■交換研究員派遣一覧

年度	派遣者氏名	所属	派遣国	協定校名	研究テーマ	研究協力者	派遣期間
2013	曾田 長人	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	ドイツ人文主義の思想・社会的背景に関する研究	Ulrich Sieg	2013年3月31日～ 2014年4月2日
	関 勝寿	経営学部 会計ファイナンス学科	フランス	ストラスブール大学	(1) 土壌中の放射性セシウム長期移動シミュレーション (2) 土壌中の不飽和水分移動シミュレーション	Philippe Ackerer	2013年3月25日～ 2014年3月24日
2014	平瀬 和基	経済学部 国際経済学科	ドイツ	マールブルク大学	経済主体の協調行動についての基礎理論と行動経済学的アプローチの研究	Evelyn Korn	2014年4月1日～ 2015年3月31日
	村上 真准	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	ウィノナ州立大学	拡張現実技術を使用した複数の人間と雑談することができる擬人化エージェントシステムの構築	Matthew Strecher	2014年9月1日～ 2015年8月31日
2015	中林 靖准	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	カーディフ大学	大規模数値シミュレーションおよび最適化システムの開発	Kensuke Yokoi	2015年4月1日～ 2016年3月31日
2016	宇都宮 京子	社会学部 社会学科	スイス	ルツェルン大学	Max Weber, Luhmann と現象学	Cornelia Bohn	2016年4月1日～ 2017年3月10日
2017	里吉 清隆	経営学部 会計ファイナンス学科	アメリカ	ミズーリ大学 セントルイス校	証券市場の計量分析 (1) 資産価格の時系列分析 (2) オプション価格の評価	Yiuman Tse	2017年3月28日～ 2018年3月29日
	ブランシャール・ニコラ	経済学部 総合政策学科	フランス	ストラスブール大学	フランス景観保存政策における広告と看板の規制制度の分析	Dominique Badariotti	2017年8月3日～ 2018年8月21日
2018	藤本 貴之	総合情報学部 総合情報学科	アメリカ	カリフォルニア大学 ベイカーズフィールド校	メディア産業の構造およびエンターテインメント産業／技術の日米比較	Mary Slaughter	2018年9月1日～ 2019年9月1日
2019	山口 裕之	経営学部 経営学科	イギリス	カーディフ大学	社内起業家の育成と確保：企業内イノベーションのプロセス分析	Rick Delbridge Jonathan Morris	2019年4月1日～ 2020年3月26日
	喜岡 恵子	総合情報学部 総合情報学科	イギリス	コベントリー大学	鉄道運転士の事故防止支援のための心理アセスメントシステムに関する日英比較研究	Andrew Parkes	2019年8月5日～ 2020年8月6日
	吉江 由美子	食環境科学部 食環境科学科	フランス	ストラスブール大学	食品中の有用成分とその機能一括分析ならびにその効率的な前処理方法の開発	Eric Marchioni	2019年7月1日～ 2020年3月24日
2020※	平島 みさ	社会学部 社会文化システム学科	イギリス	カーディフ大学	英語化の進行による英語圏文化のグローバリゼーションが伝統文化継承に及ぼす影響	Bella Dicks	2020年4月1日～ 2021年4月1日 国内での研究
	吉野 隆	理工学部 機械工学科	スロベニア	リュブリャナ大学	形の科学に関する諸研究	なし	2020年4月1日～ 2021年3月31日 国内での研究
	多田 光利	総合情報学部 総合情報学科	インドネシア	マラナタ基督教大学	サイバー教育「1つの教室」	Hapnes Toba	2020年10月24日～ 2021年3月9日 国内での研究

※2020年度はコロナ禍のため海外への渡航ができず、国内での研究となった。

[受入]

2011 年度以降受入実績なし

外国人研究員の受入

交換研究員の受入とは別に、本学において主として研究に従事する外国人研究員の受入を行っている。外国人研究員は、外国の大学、その他これに準ずる教育研究機関に所属する教員又は研究員が本学において研究を希望する者で、所属機関長の推薦を得て、本学の受入教員を通じて学長に願い出るものとする。受入期間は原則3ヶ月以上1年以内となっているが、日本学術振興会又はそれに準じる公的機関の外国人研究員を受入れる場合はこれに限らない。滞在や研究に関する諸経費は自己負担となるが、本学での身分が保証され、本学の施設設備を利用できる。過去5年間の受入実績は以下のとおり。

■外国人研究員受入一覧

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2016	Mark Kam Loon Loo	カナダ	エドモントン・コンコルディア大学	カナダ	法学部	グリーン・スティーブン	ASEAN諸国の国際競争力:カナダのビジネスに与えるリスク、機会、忠告について	2016年5月1日～7月31日
	胡 鳴	中国	浙江旅遊職業学院	中国	社会学部	王 雪萍	日中国交正常化後の日本人の対中イメージの変遷とメディア	2017年3月1日～8月31日
	苏 尤丽	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	汤 建国	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	汪 江桦	中国	新疆財經大学	中国	経済学部	城川 俊一	ビッグデータを用いた新疆経済圏経済一体化測度研究	2017年1月25日～7月24日
	張 鋭智	中国	遼寧大学	中国	法学部	後藤 武秀	黄遵憲の中日法文化交流に対する貢献に関する研究(日中比較法史)	2017年2月1日～7月31日
	金 相日	韓国	東国大学校	韓国	文学部	山田 利明	20世紀前半期在日本東京朝鮮人留学生(仏者)の学習活動調査と朝鮮通信使の道踏査研究	2017年3月1日～8月31日
	徐 仁範	韓国	東国大学校	韓国	文学部	森 公章	「朝鮮通信使の道を行く(著書)」と朝鮮虎皮・豹皮の朝貢と賜与を通じてみた東アジア国際秩序(論文)	2017年3月1日～2018年2月28日
2017	馬 燕平	中国	山西大学商務学院	中国	経済学部	続 三義	経済学科のカリキュラムと改革の研究	2017年4月1日～9月30日
	魏 鍾善	韓国	ウィノナ州立大学	アメリカ	文学部	朝比奈美知子	児童文学、読書教育、教師教育、多文化文学	2017年9月1日～12月31日
	袁 岳驪	中国	湖南科技学院経済与管理学院	中国	経済学部	郝 仁平	日中における農村地域の経済開発に関する比較研究	2017年9月1日～2018年8月31日
2018	黄 懷谷	中国	珠海城市職業技術学院	中国	社会学部	王 亜新	認知参照点モデルに基づく日本のマグスポット研究ー中国観光への波及効果に関連して	2018年9月1日～2020年8月30日

年度	研究員氏名	国籍	所属機関	所在国	受入学部	受入教員	研究テーマ	受入期間
2019	Erica Baffelli	イタリア	マンチェスター大学	イギリス	社会学部	高橋 典史	日英共同研究プロジェクト ‘Religion and Minority’ に関わる日本国内の宗教組織への訪問調査および関連する研究者たちとの情報交換の実施	2019年8月8日～8月24日・ 2019年12月23日～2020年1月12日
	Aura Di Febo	イタリア	マンチェスター大学	イギリス	社会学部	高橋 典史	日英共同研究プロジェクト ‘Religion and Minority’ に関わる日本国内の宗教組織への訪問調査および関連する研究者たちとの情報交換の実施	2019年7月21日～9月12日
	林 興	中国	福建江夏学院	中国	経済学部	郝 仁平	一帯一路視角に基づき農村振興的の機会と挑戦に関する研究	2019年12月16日～2020年6月15日
2020	当初3名の受入が決定していたが、新型コロナウイルスの影響により来日不可能となり2021年度へ延期することとなった。							

Toyo Global Leader (TGL) プログラム

TGLプログラムは、東洋大学生が国内外で活躍できるグローバル人材となるために、「異文化環境における英語運用表現能力」、「多文化共生社会における価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」の3要素を強化することを目的として創設された。本プログラムでは以下の7つの要件を設定し、各要件を満たした学生を「GOLD」「SILVER」「BRONZE」としてToyo Global Leaderに認定している。

＜認定要件＞

- ①英語能力 ②外国語による授業科目の修得 ③外国語による論文等執筆
④海外留学・インターンシップ ⑤海外アクティビティ
⑥東洋グローバルリーダー (TGL) キャンプ ⑦Toyo Global (TG) ポイント

なお、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、海外への渡航が出来ない状況での代替措置として、オンライン留学プログラムをTGL認定要件に適用を行い、TGLキャンプもオンラインにて実施した。

■TGLキャンプ(オンライン)の実施

TGLプログラム認定要件の1つである、アクティブラーニング型のグローバルイベント「TGLキャンプ」は、例年白山キャンパスを中心に対面で行われているが、2020年度は新型コロナウイルスの影響により、全プログラムをオンラインで開催した。

TGLキャンプでは、設定されたテーマについてグループワークが行われ、アイデアを発表する。2020年度はオンラインで実施されたこともあり、所属キャンパスに関係なく、学部・学科、学年を超えた参加があり、グループワークではインターネットを駆使したリサーチや発表スライドをドライブで共有しながら作成するなど、オンラインならではの強みが発揮された。

2020年度は、例年4月に学部・学科で行われている新入生ガイダンスでのTGLキャンプが軒並み中止となり、参加人数は昨年度の4,243名から大幅に減少したが、国際教育センター主催、学部学科主催合わせて17回のTGLキャンプを開催し、延べ1,172名の参加があった。

2020年度TGLキャンプ開催実績

開催日	テーマ	参加人数
7月4日(土)	TGL留学キャンプ	68
7月11日(土)	TGL留学キャンプ	39
7月11日(土)	総合情報学部1年生対象「世界の国調べ」	244
7月18日(土)	留学決定者対象「海外危機管理研修」	11
7月25日(土)	海外販売戦略	34
8月1日(土)	TGL留学キャンプ	69
10月24日(土)	海外販売戦略	37
11月7日(土)	世界がもし100人の村だったら	95
11月14日(土)、 21日(土)、 1月9日(土)	社会学科「英語による論文要旨執筆セミナー&ワークショップ」	19
11月28日(土)	世界で活躍する私になる！マインドフルネスで自分だけの強み発見！The Treasure Inside Yourself	60
12月5日(土)	コンサルタントになってニューノーマル時代の大学の国際化を考えよう	45
12月13日(日)	人間環境デザイン学科 TGL キャンプ	85
12月16日(水)、 1月6日(水)	国際文化コミュニケーション学科 討論会 2020	64
12月20日(日) 1月17日(日)	Diversity Voyage 参加者事前研修 キャンプ	81
1月15日(金)	SDGs～目標達成について考える～	94
2月16日(火)	SDGs～目標達成について考える～(English ver.)	76
3月9日(火)～10 日(水)	LEAP English Camp	51
合計		1,172

■2020年度TGLプログラム認定状況

2020年度および過去の実績値は下表の通りである。目標値は、2023年度「GOLD」認定者数460名、「SILVER」認定者数1,100名、「BRONZE」認定者数2,500名としている。

	2016年度 (実績値)	2017年度 (実績値)	2018年度 (実績値)	2019年度 (実績値)	2020年度 (実績値)	2023年度 (目標値)
TGL GOLD	0	13	26	51	120	460
TGL SILVER	32	91	485	797	789	1,100
TGL BRONZE	176	439	1,670	2,646	2,666	2,500

(人)

留学生就職促進プログラム

東洋大学は、2017年に文部科学省の「留学生就職促進プログラム」委託事業に首都圏の私立大学として唯一選定された。島根大学、金沢星稜大学とコンソーシアムを組織して「留学生I・turn就職促進プログラム」を目標に掲げ、東京と地方都市をつなぎ、留学生の「I・turn就職」を促進している。就職先の選択肢を拡大することで留学生のキャリアパスの安定化につなげることを目指し、また、首都圏以外の地方を知る機会を提供することにより、日本の文化、社会、言葉の多様性を理解してもらうことも意図している。島根大学および金沢星稜大学に加え、2019年度からは新たに新潟県長岡市とも連携を始めた。

また、2019年度には中間評価が行われ、本学の取組は、「他大学の施策にも参考になる」「今後の就職促進の取組にその方向を示唆する」など、リーディングモデルとして高い評価を得ることができた。

2020年度は新型コロナウイルスの影響もあり、ビジネス日本語講座やインターンシップをオンライン形式にて実施した。

<2020年度実施内容>

【ビジネス日本語教育】

○正課「ビジネス日本語開講」

2020年度春学期および秋学期にそれぞれ白山キャンパス基盤教育科目「ビジネス日本語Ⅰ」(2コース)、「ビジネス日本語Ⅱ」(3コース)(半期、各15コマ)を開講し、留学生向けビジネス日本語教育を実施した。ビジネス日本語の知識を教授するだけでなく、外部講師を招聘しビジネス日本語の実践およびキャリア形成について考えた。当該科目は合計78名の留学生の履修があった。

○講座

- ・春学期BJT対策講座
(期間:6月16日～7月10日、形式:オンライン、クラス:中級および上級、受講人数:149名)
- ・オンライン夏季ビジネス日本語ポイント講座
(期間:9月7日～9月17日、形式:オンライン、受講人数:延べ17,737名)
- ・秋学期BJT対策講座
(期間:12月1日～1月8日、形式:オンライン、クラス:初級、中級、上級、受講人数:108名)
- ・オンライン春季ビジネス日本語ポイント講座
(期間:2月1日～2月10日、形式:オンライン、受講人数:延べ22,505名)

○BJT団体受験

- ・大学独自予算で受験料補助を実施し、延べ194名がBJTを受験した。新型コロナウイルスの影響により、2019年度と比べ受験者数は減少したもののJ1+レベル(どのようなビジネス場面でも日本語による十分なコミュニケーションができる)取得者は4名多い12名となり、4ヵ年合計で25名となった。さらにJ1レベル取得者は26名を数えており、今後J1+を目指すようビジネス日本語学習サポートをしていく予定である。

○その他

- ・オリジナルBJT模擬問題作成(160問)

【キャリア教育】

○「国際キャリア概論」開講

留学生向けキャリア教育科目として、2020年度春学期および秋学期に白山キャンパスと川越キャンパスにおいて基盤教育科目「国際キャリア概論」(半期15コマ、2単位)を開講した。日本で働く留学生や地方自治体職員、留学生就職支援関係者など外部講師を招き、留学生のキャリア形成について考えた。またグループディスカッションや模擬面接などビジネス日本語を使う機会を設け、日本語の発言力および実践力、グループ内のコミュニケーション力を高めることができた。当該科目は68名の留学生が履修した。

○外国人留学生向け就職セミナー

日本就職を志す留学生数が年々増加している現状を踏まえ、外国人留学生対象就職セミナーを開催した。新型コロナウイルスにより他キャンパスへの出校および対面式授業を控えている状況の中、発信方法をオンラインに切り替え、全学5キャンパスの留学生を対象に計4回のセミナーを開講した。2020年12月2日「埼玉県国際交流協会就職面接会」(39名参加)、2020年11月20日「内定者に聞く外国人留学生の就職活動」(48名参加)、2020年12月19日「外国人留学生インターンシップセミナー」(56名参加)、2021年2月3日～4日「金沢星稜大学合同就活セミナー」(9名参加)には、合計152名の留学生が参加し、日本での就職活動への関心の高さが明らかになった。また当日参加できなかった学生のために日本での就職活動に関する動画を日本語と英語版で作成し、オンデマンドで配信した。

【インターンシップ】

○首都圏インターンシップ(オンライン・実地)

一般社団法人国際化推進協会(JAPI)と提携のもと、留学生のインターンシップ派遣を実施。インターンシップ前に、日本企業の文化やマナーを知るための事前研修を2回(1回あたり50分)提供し、延べ79名の学生がインターンシップに参加した。

○地方インターンシップ(オンライン)

現地に派遣できない事情を踏まえ、全期間オンラインによる地方インターンシップを開催した。学生は企業ごとにグループに分かれ、企業から提示された課題の解決策を提案した。企業担当者と8日間つながることによって、企業分析や業務、販売戦略の議論をする就業体験ができ、地方都市の外国人受け入れ制度やキャリアプランを再考する機会になった。さらに地方都市の企業に、本学留学生の高い語学力、海外展開時の即戦力になることについて理解してもらい、またオンラインによる新たな形のインターンシップを体験する機会を提供した。

なお、長岡市オンラインインターンシップで行われた最終報告会の様子は、『新潟日報』(2021年3月5日)にも取り上げられた。

- ・(夏季)島根県・石川県:8月21日～9月2日、参加人数:11名
- ・(春季)新潟県新潟市 :2月1日～2月11日、参加人数:9名
- ・(春季)新潟県長岡市 :2月15日～2月28日、参加人数:18名

【その他】

○優秀留学生表彰

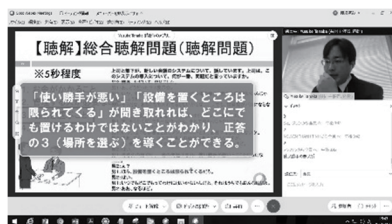
成績評価係数、ビジネス日本語能力、インターンシップ就業日数を基準に本プログラムにおける優秀留学生として選考し、優秀賞2名、奨励賞2名を表彰した。該当学生はこの表彰歴を活用して日本での就職活動に励んでもらう。

○留学生就職支援室の運営

○留学生就職促進PG専用Webサイト運営および成果公開

○留学生就職特別奨学金支給

【ビジネス日本語講座やオンライン地方インターンシップの様子】



ビジネス日本語講座①



ビジネス日本語講座②



地方インターンシップ

UMAP国際事務局の活動 —5年間の取組と成果



Website www.umap.org
E-Mail umap-is@umap.org

2016年1月よりアジア太平洋大学交流機構(University Mobility in Asia and the Pacific:UMAP)の国際事務局に東洋大学が任命され、5年間の任期を満了した。「アジア太平洋地域における高等教育機関間の学生・教職員の交流促進」の目的の下、任期の間、アメリカ、オーストラリア、カナダを始め、新たに11カ国・地域が正会員国(年会費を払いプログラム参加資格を有する)となり、2020年末の時点には22カ国・地域にネットワークが拡大し、参加大学数(Pledge of Agreementの締結大学数)は176から374大学に増加した。

2018年には独自のオンラインシステムを立ち上げ、より多くの学生が留学プログラムに参加しやすくなり、データベースの蓄積も可能となった。しかしながら、中・長期型(1・2セメスター)の交換留学プログラムを志望する学生の数が伸び悩む状況は避けられず、2019年からはオンライン学習を組込んだプログラムを開始し、留学費用・期間・場所に制限されない留学の機会を設けた。2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学生の派遣・受入ができない状況が続いたことから、オンライン留学のニーズに応えるため、中・長期型留学もオンライン且つ授業料相殺型により履修できる機会を設ける等、新たな取組を推進した。2021年よりカナダが国際事務局を担当する。

1. UMAP国際理事会の開催

	開催日	開催場所	参加人数
第1回	2016年5月4日～5日	The National University of Malaysia (マレーシア)	約30名
第2回	2016年9月22日	東洋大学白山キャンパス	52名
第3回	2017年4月24日～25日	ランカウイ島 UKM 研究所, The National University of Malaysia (マレーシア)	25名
第4回	2017年8月17日	東洋大学白山キャンパス	約60名
第5回	2018年4月25日	UKM GSB (KL), The National University of Malaysia (マレーシア)	約30名
第6回	2018年9月25日	大阪商業大学	約50名
第7回	2019年5月17日	東洋大学白山キャンパス	約30名
第8回	2019年11月14日	Fuji 2, Hotel Nikko Bangkok (タイ)	約50名
第9回	2020年4月27日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、メール会議にて実施	—
第10回	2020年11月24日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、Webex(オンライン)により開催	—

2. UMAP国際理事会内Task Force会議の開催

	開催日	開催場所
第1回	2018年2月15日	東洋大学白山キャンパス
第2回	2018年3月26日	マリーナベイサンズ Casablanca Conference Room (シンガポール)
第3回	2018年8月28日	Webex(オンライン)により開催
第4回	2020年7月28日	Webex(オンライン)により開催
第5回	2020年11月16日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、メール会議にて実施
第6回	2021年1月13日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、Webex(オンライン)により開催

3. UMAPのプロモーション活動 (参加したフェア等に○)

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
NAFSA (Association of International Educators)	○	—	○	○	—
EAIE (European Association for International Education)	○	○	○	○	—
APAIE (Asia-Pacific Association for International Education)	○	○	○	○	—
AIEA (Association of International Education Administrators)	—	○	○	○	—
AIEC (Australian International Education Conference)	—	○	○	○	—
CBIE (Canadian Bureau for International Education)	—	○	○	—	—
その他	○	○	○	○	—

4. UMAP国際事務局運営委員会の開催

	開催日	開催場所
第1回	2016年4月19日	東洋大学白山キャンパス 125 記念ホール
第2回	2016年6月21日	アルカディア市ヶ谷 7階 白山
第3回	2016年9月7日	東洋大学白山キャンパス 特別会議室
第4回	2017年2月15日	東洋大学白山キャンパス 125 記念ホール
第5回	2017年7月11日	東洋大学白山キャンパス 第2会議室
第6回	2017年10月30日	コープシティ花園「ガレソン」ホール
第7回	2018年2月2日	学士会館 302 号室
第8回	2018年7月6日	東洋大学白山キャンパス 第2会議室
第9回	2018年11月28日	東洋大学白山キャンパス 特別会議室
第10回	2019年2月28日	東洋大学白山キャンパス 特別会議室
第11回	2019年6月12日	東洋大学白山キャンパス 第1会議室
第12回	2020年2月10日	一橋大学 一橋講堂 会議室
第13回	2020年7月10日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、メール会議にて実施
第14回	2020年12月9日	新型コロナウイルスの影響を鑑み、メール会議にて実施

5. プログラム実績

学生交換プログラム

		プログラム A&B(交換留学)	
		参加大学数	参加学生数
2016 年	春	49	16
	秋	53	34
2017 年	春	63	35
	秋	45	30
2018 年	春	64	50
	秋	82	45
2019 年	春	72	41
	秋	75	4
2020 年	春	95	5
	秋	63	29

プログラム C(ショートプログラム)			
	参加大学数	プログラム数	参加学生数
2016 年	29	40	41
2017 年	28	50	63
2018 年	32	76	23
2019 年	28	51	21
2020 年	31	56	0

UMAP サマープログラム

	開催期間	開催国(地域)	参加学生数	主催
2016 年度	7月30日～8月8日	フィリピン	42	フィリピン高等教育委員会(Commission on Higher Education; CHED)、デラサール大学、アテネオ大学、レセウム大学
2017 年度	8月14日～19日(東洋大学) 8月20日～27日(新潟大学)	日本	22	東洋大学、新潟大学、UMAP 日本国内委員会
2018 年度	7月22日～8月4日	タイ	40	UMAP タイ国内事務局、教育省高等教育局、チュラロンコン大学、モンクット王工科大学トンブリー校、バンコク大学
2019 年度	8月4日～17日	台湾	36	台湾教育省、台湾 UMAP 国内事務局、輔仁大学
2020 年度	新型コロナウイルスの影響を鑑み、2022 年へ延期	—	—	

UMAP-COIL プログラム

	開催期間	開催国(地域)	参加学生数	テーマ
2019 年度	7月1日～21日:プログラム前研修 7月27日～8月4日:大阪セミナー ※留学生のみ 8月4日～8月23日:クルーズプログラム	日本、韓国、ロシア、(船で移動)	16	Sustainable Development Goals (SDGs) & Glocal (Global and Local) Topics
2020 年度	7月20日～9月19日(事前・事後研修を含む)	オンラインにて実施	58	Striving global citizenry competence in the VUCA world

ISAS2.0のフォローアップ

2018-19年度に実施した国際大学協会(IAU)によるISAS2.0にて専門家パネルから受領した『最終報告書』において、本学の国際化に関する「16の勧告」が提言された。この勧告について理解を深めるため、2020年7月16日にIAU専門家パネルの一員であった米澤彰純教授(東北大学)を招聘し、学長、副学長、学部長および関係教職員53名以上の参加のもと、「16の勧告」説明会を開催した。説明会では、米澤教授より16の全ての勧告について、各勧告の具体的な内容、勧告が出された背景について詳細な解説をしていただいた。

その後、2020年11月下旬～12月中旬にかけて「16の勧告」をどのように捉え、今後どのように取り組んでいくことができるかについてオンライン意見交換会を実施した。同意見交換会では、国際担当副学長が国際部長、国際課長とともに、各学部長、各研究科長、各部会長等からヒアリングを行った。SGU事業の自走化と学部学科独自の国際化を推進するというには多くの学部で賛同する意見が出された一方、英語以外の言語での開講については、必要性については一定の認識はされつつも、学生のニーズや語学力に課題があるという現状が共有された。国際的な取組を行う学生等を表彰する事例、学生が主体的に行う国際的なイベント、学部学科独自のTGLキャンプ、留学プログラム等、特色のある国際的な取組も共有された。TGLゴールドが目標値に及ばない課題、海外の大学との国際交流・共同研究に関するマッチングの課題、学生の語学力とモチベーション、受け入れる留学生の二極化、新型コロナウイルスによる新たな課題等も浮き彫りになった。

■ISAS2.0のフォローアップ(2020年度)

実施時期	取組内容	備考
7月16日	ISAS2.0「16の勧告」説明会(講師 東北大学 米澤彰純教授)	参加者数:53名
11月～12月	ISAS2.0「16の勧告」意見交換会 11月16日(月) 経済学部、ライフデザイン学部 11月27日(金) 法学部、生命科学部、食環境科学部 11月30日(月) 研究科(研究科長会議) 12月1日(火) 社会学部、国際学部、情報連携学部、学長室部会、人事部会 12月14日(月) 総合情報学部 12月15日(火) 文学部、理工学部	

■今後の取組

11月～12月に実施した意見交換会の課題を集約、共有しつつ、各学部、研究科および部会において「16の勧告」にどのように対応していくかという計画を集約し、NEXT SGUの基礎資料とするとともに、2回目のISAS受審に向けた準備を進めていく。

柔軟な国際編転入制度の取組状況

2020年、本学で2回目となる海外指定校型国際編転入学試験を実施した。渡日前入試による国際編入者、転入者を増やす方策として、本学は香港に的を絞り、国立大学の附属である短期大学2校を海外指定校として編入学志望者を募集した。香港には現在22の学位授与高等教育機関があり(香港政府教育局ウェブサイトによる)、そのうち国立の4年制大学が9大学しか存在せず、大学進学は狭き門となっている。そのため、香港では短期大学終了後、国内や海外の4年制大学へ編入する学生が多い。また、海外指定校を世界に拡大するため、現在ベトナム、中国での指定校を検討している。しかしながら新型コロナウイルス感染症の影響により、現地視察などができない状況である。

各学部の参画状況は、3年次編入として経済学部、経営学部、社会学部、国際観光学部の4学部6学科、また、2年次編入として経済学部、法学部、国際観光学部、生命科学部、食環境科学部の5学部7学科がそれぞれ1名～若干名で募集した。

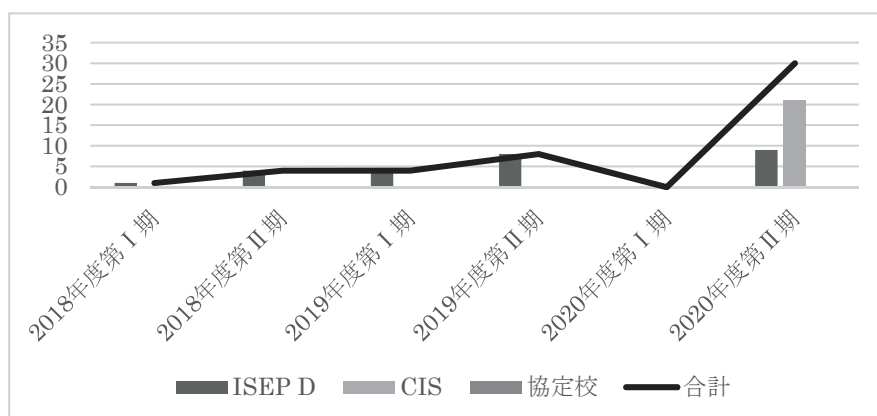
また、柔軟な国際編入のひとつの形として授業料徴収型の学生も本学への編入生とみなすことができる。本学はアメリカ合衆国に拠点を持つ3つの機関(①ISEP、②CISアブロード、③IESアブロード)と協定を締結しており、こうしたコンソーシアムや団体の加盟校から、授業料徴収型の留学生を1学期間あるいは1年間受け入れている。2014年のSGU採択以来、海外における本学の知名度が上がってきていること、また授業料が米国などに比べると比較的安価であること等の要因から、年々、授業料徴収型での本学への留学希望者が増加している。2020年度は、授業料徴収型の学生30名の出願があった。残念ながら新型コロナウイルス感染症の拡大により2019年度より受入れた学生2名を除き辞退となったが、出願者数は増加の傾向にある。

■海外指定校型国際編転入学試験 出願者数・入学者数

(単位:人)

年度	2019年度	2020年度
出願者数	1	1
入学者数	1	1

■授業料徴収型での本学への留学希望者数



※ISEP D は ISEP-Direct (ISEP の授業料徴収型プログラム) のこと。

国際教育センターのFD/SD活動

国際教育センターでは、シラバスの点検や授業評価アンケートなどの取組に加え、英語特別教育科目 (LEAP プログラム) や日本語教育プログラムなどのテーマごとに FD 研修を実施するとともに、国際課職員の業務知識および業務スキルの向上を図るための SD 研修を毎年実施している。

■日本語教育プログラム[FD]

オンラインによるFD研修会を2回実施し、正課科目担当教員、課外プログラム担当教員、学内関係者に加えて、文学部日本語教員養成プログラムを履修する学生や学内の留学生にも開放した。

第1回	
テーマ	「上級日本語学習者のための文法指導とは」
講師	高梨信乃教授(関西大学)
日時・場所	2021年2月19日(金)13:30～15:00 場所:ビデオ会議システム
参加者数	25名(内本学教員17名)
日本語のアカデミック・ライティングにおいて学習者が躓きやすい文法項目とその指導法について、実践面からの講演と質疑応答を行なった。文法項目をアカデミックジャパニーズの文脈で再学習するという講演者の観点は、本学のライティング指導においても取り入れるべき点であり、アカデミックジャパニーズのあり方についても実践的観点から理解を深めることができた。	
第2回	
テーマ	「日本語に関する調査研究の変遷と日本語教育への応用」
講師	横山詔一教授(国立国語研究所)
日時・場所	2021年3月11日(木)13:00～14:30 場所:ビデオ会議システム
参加者数	32名(内本学教員18名)
1951年に実施された「日本人の読み書き能力」に関する調査資料をめぐって機能的識字の概念を用いて再解釈した研究成果が共有された。質疑応答では、歴史の中での言語調査の位置づけの変遷と資料の読み解き方、また、日本語学習者を対象とした日本語能力試験との相関についても意見交換がなされ、母語話者・非母語話者の言語能力の把握について、特に言語テストを作成する際に有用な知見が得られた。	

■LEAP プログラム[FD]

2020年度はLEAPプログラムの内容改編に向け、IELTSの教授法に関し、LEAP教員間での情報やグッドプラクティス共有などを通じて教育内容の質の向上に努めた。更にIELTSテストを受けたことがない教員に対して、教育内容への還元を目的としたFDの一環としてIELTS受験機会を提供し、1名の教員が受験した。

■その他[FD/SD]

テーマ	「ISAS2.0「16 勧告」説明会」[FD/SD]
講師	米澤 彰純教授(東北大学国際戦略室、IAU 専門家パネルメンバー)
日時・場所	2020 年 7 月 17 日(金)16:45-18:15 場所:ビデオ会議システム
参加者数	53 名(学長、副学長、学部長、事務部長他)
国際大学協会(IAU)による国際戦略助言サービス(ISAS2.0)において、国内外の高等教育・国際教育の専門家から本学の国際的な取組について 12 の称賛すべき事項と、16 の改善すべき事項(16 勧告)が提言された。これらの助言を踏まえ、2021 年度以降の各部局の特色ある国際化の推進に繋げていくために、IAU 専門家チームメンバーの米澤彰純教授(東北大学)をお招きして、「ISAS2.0 報告書」説明会をオンラインで実施した。同説明会で、16 勧告についての詳細かつ具体的な解説に加え、勧告が出された背景や意図について解説があり、本学の教学および事務部門の関係者間において 16 勧告の内容について共通の課題認識を持つことができた。本説明会で形成された共通認識を基盤として、同年 11 月～12 月に実施した各学部、研究科および担当事務局との意見交換会において、どのように対応するかという議論を進めることができた。	
テーマ	混住型国際学生寮に関する研修会[SD]
講師	岩上 英雄氏(関西外国語大学教務部) 乾 愛莉氏(関西外国語大学国際交流部)
日時・場所	2020 年 9 月 15 日(火)13:00-15:00 場所:ECZ およびビデオ会議システム
参加者数	15 名(国際課職員)
2022 年 3 月に赤羽台にオープンする国際寮「AI-House」の開設準備および開設後の運営業務に資することを目的とし、関西外国語大学の岩上英雄氏と乾愛莉氏を講師に招き、同大が運営する国際寮「Global Commons 結」について、開設準備段階および開設直後の様子および RA(レジデント・アシスタント)の活用について講演していただいた。学生寮オープン前の準備業務や開設直前の苦労話など、「Global Commons 結」での経験談を基に实际的な助言を頂くことができ、AI-House 開設準備全般で参考となっている。特に RA の活用法を検討するうえでは、組織体系づくりや採用について参考となる部分が多く、非常に有益であった。	
テーマ	危機管理研修[FD/SD]
講師	酒井 悦嗣氏(特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)アドバイザー)
日時・場所	2020 年 12 月 17 日(木)10:40-12:10 場所:ビデオ会議システム
参加者数	45 名(大学教職員)
2020 年度新型コロナウイルス禍で、本学教職員を対象とした「危機管理研修会」を実施した。特定非営利活動法人海外留学生安全対策協議会(JCSOS)アドバイザーの酒井悦嗣氏を講師に招き、新型コロナウイルスの現状と対策・事例紹介・最近の世界の出来事や、本学への助言などについてご講演いただいた。今後海外に学生を派遣する際に、準備すべきことや助言の方法について、具体的な事例などを交えてご説明頂いた。また、海外の医療事情や医療を取り巻く文化の違いなどがあるということについても解説があり、学生の安全な派遣と想定される危機管理を行う上で、非常に有益な内容であった。	

学術交流協定校協定締結一覧

〔2021年3月31日現在〕〔国別締結日順〕

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
1	アイルランド	ダブリンシティ大学	大学間	1990年9月10日	○	○	
2		リムリック大学	大学間	2011年3月3日	○	○	
3	アメリカ	モンタナ大学	大学間	1987年3月12日	○	○	
4		オレゴン州立大学	大学間	1992年4月27日	○	○	
5		ミズーリ大学セントルイス校	大学間	1995年5月17日	○	○	
6		日本政策投資銀行	機関	2005年2月28日	○	-	
7		ISEP(アイセップ)	コンソー シアム	2005年3月8日	-	○	ISEP-Direct との合意書(2008年1月29日)、ISEP-International-to-International との合意書(2013年10月28日)あり。
8		NCPPP(米国 PPP 協会)	機関	2007年9月27日	○	-	
9		ウィノナ州立大学	大学間	2009年5月5日	○	○	
10		メリヴィル大学	大学間	2010年1月11日	○	○	
11		テネシー大学ノックスビル校	大学間	2010年11月10日	○	○	
12		リンゼイウィルソン大学	大学間	2010年11月19日	○	○	
13		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校	大学間	2011年3月16日	○	○	
14		ポートランド州立大学	大学間	2012年11月26日	○	-	
15		ルイスクラーク州立大学	大学間	2013年6月26日	○	○	
16		パデュー大学ノースウェスト校	大学間	2015年1月23日	○	-	
17		プレスビテリアン・カレッジ	大学間	2015年4月6日	○	○	
18		チャタム大学	大学間	2016年12月13日	-	○	
19		ジョンソン・アンド・ウェールズ大学	大学間	2017年5月31日	-	○	
20		カレッジ・オブ・ザ・デザート	大学間	2017年8月7日	○	○	
21		ネブラスカ大学カーニー校	大学間	2017年9月11日	○	○	
22		ノースアラバマ大学	大学間	2017年9月22日	○	○	
23		ヒューストン大学	大学間	2017年9月28日	○	-	
24		ウェストテキサス A&M 大学	大学間	2017年11月21日	-	○	
25		カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校	大学間	2017年11月29日	○	○	
26		カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校	大学間	2018年1月5日	○	○	
27		フォックス・バレー・テクニカル・カレッジ	大学間	2018年3月15日	○	○	
28		ウェスタンミシガン大学	大学間	2018年3月26日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
29		オーガスタナカレッジ	大学間	2018年5月30日	○	○	
30		コロラド大学コロラドスプリングス校	大学間	2018年6月24日	○	○	
31		ハートウィックカレッジ	大学間	2018年7月23日	○	○	
32		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジ	大学間	2018年7月25日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
33		ニューヨーク州立大学ブロッポート校	大学間	2018年8月24日	-	○	
34		カリフォルニア州立大学スタニスラウス校	大学間	2018年9月4日	○	○	
35		ペース大学	大学間	2018年9月13日	○		
36		ワシントンセンター	機関	2018年10月15日	○	-	
37		IESアブロード	コンソー シアム	2018年11月8日	○	-	
38		ハワイバシフィック大学	大学間	2019年1月8日	○	○	
39		ボストン大学	大学間	2019年2月4日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
40		フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ	大学間	2019年2月15日	○	○	
41		カリフォルニア大学サンタバーバラ校	大学間	2019年4月11日	○	-	
42		CISアブロード	コンソー シアム	2019年6月11日	○	-	
43		サンフランシスコ州立大学	大学間	2019年7月3日	○	-	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
44	アメリカ	カリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンション	大学間	2019年8月7日	○	-	
45		ノースウェストミズーリ州立大学	大学間	2020年3月3日	○	○	
46		シカゴ州立大学	大学間	2020年11月12日	○	-	
47		カリフォルニア州立大学チャンネルアイランド校	大学間	2020年12月18日	-	○	
48		カレッジオブニュージャージー	大学間	2021年2月8日	○	○	
49	イギリス	カーディフ大学	大学間	2010年11月1日	○	○	
50		ヨークセントジョン大学	大学間	2012年4月19日	○	○	
51		セントラル・ランカシャー大学	大学間	2013年7月16日	○	○	
52		コベントリー大学	大学間	2017年11月20日	○	-	
53		ノーサンブリア大学	大学間	2019年4月2日	○	○	
54		リバプール大学	大学間	2019年4月11日	○	-	
55		エジンバラ大学	大学間	2020年2月14日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
56		リージェンツ大学ロンドン	大学間	2021年2月2日	○	○	
57	イタリア	ロムアルド・デル・ピアンコ財団	機関	2014年11月27日	○	-	
58		フィレンツェ大学	大学間	2016年5月2日	○	○	
59		トリノ大学	大学間	2016年11月30日	○	○	
60		ボローニャ大学	大学間	2018年3月12日	○	○	
61		カメリーノ大学	大学間	2018年4月24日	○	-	
62		ローマ・ラ・サピエンツァ大学	大学間	2018年5月11日	○	-	
63		ベネツィア大学	大学間	2018年6月4日	○	○	
64		サレント大学	大学間	2019年12月20日	○	○	
65	インド	インド工科大学マドラス校	大学間	2011年12月22日	○	-	
66		マンガラン教育協会,(マンガラン工科大学)	大学間	2012年5月21日	○	-	
67		ケララ大学	大学間	2012年6月8日	○	-	
68		インド工科大学デリー校	大学間	2012年8月31日	○	-	
69		スリー・チトラ・トリニチュアル医療科学技術研究所	大学間	2015年9月14日	○	-	
70		ジャワハルラー・ネルー大学	大学間	2017年5月8日	○	-	
71	インドネシア	スラバヤ工科大学	大学間	1994年1月1日	○	-	
72		マラナタ基督教大学	大学間	2016年6月16日	○	-	
73		ガジャマダ大学	大学間	2016年8月24日	○	○	
74		国立デンパサル・ヒンドゥー大学	大学間	2016年11月10日	○	-	
75	ウズベキスタン	タシケント国立東洋学大学	大学間	2010年11月22日	○	-	
76		ウズベキスタン国立世界言語大学	大学間	2019年11月20日	○	-	
77	オーストラリア	シーキュー大学	大学間	1997年9月8日	○	○	旧セントラルクイーンズ大学
78		サンシャインコースト大学	大学間	2008年3月13日	○	○	
79		インターナショナル・カレッジ・オブ・マネージメント・シドニー	大学間	2015年10月14日	○	○	
80		サザンクロス大学	大学間	2016年4月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
81		ディーキン大学	大学間	2016年4月25日	※	-	※授業料学生負担の学生派遣
82		ニューカッスル大学	大学間	2017年12月22日	○	※	※授業料学生負担の学生派遣
83		カーティン大学	大学間	2018年8月20日	-	○	
84	オーストリア	アッパーオーストリア応用科学大学	大学間	2019年3月19日	○	○	
85		FHWien der WKW経営・コミュニケーション応用科学大学	大学間	2019年4月22日	-	○	
86		ザルツブルク大学	大学間	2019年8月1日	○	○	
87	オランダ	ロッテルダム応用科学大学インターナショナルビジネススクール	大学間	2012年5月14日	○	○	
88		アムステルダム応用科学大学	大学間	2014年11月22日	○	○	
89		フオンティス応用科学大学	大学間	2016年3月31日	○	○	交流対象学部追加に伴い、既存協定校であるフオンティス・アカデミーからフオンティス応用科学大学へと締結主体を変更
90		ティオ応用科学大学	大学間	2017年11月27日	○	○	
91		HZ応用科学大学	大学間	2019年7月25日	○	○	
92		サクシオン応用科学大学	大学間	2020年12月4日	○	○	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
93	カナダ	トンブソンリバーズ大学	大学間	2007年6月15日	-	○	
94		マニトバ大学	大学間	2011年3月31日	○	-	
95		クワントレンポリテクニク大学	大学間	2012年2月16日	○	○	
96		サスカチュワン大学	大学間	2013年2月13日	○	-	
97		UMAP(アジア太平洋大学交流機構)	コンソー シアム	2014年3月3日	-	○	国際事務局の所在国(2020～2024年)
98		エドモントン・コンコルディア大学	大学間	2015年1月23日	○	○	
99		レイクヘッド大学	大学間	2016年6月7日	○	○	
100		バンクーバーアイランド大学	大学間	2017年2月28日	○	-	
101		ウィニペグ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
102		レスブリッジ大学	大学間	2017年6月16日	○	-	
103	タイ	ブロック大学	大学間	2017年8月23日	○	○	
104		ダグラスカレッジ	大学間	2018年3月22日	○	○	
105		ジョージブラウンカレッジ	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
106		セント・メアリーズ大学	大学間	2019年3月25日	-	※	※授業料学生負担の学生派遣
107		オカナガンカレッジ	大学間	2020年10月20日	○	○	
108	カンボジア	王立プノンベン大学	大学間	2015年1月26日	○	-	
109	ケニア	ジョモ・ケニヤッタ農工大学	大学間	2016年11月11日	○	-	
110	スイス	ルツェルン大学	大学間	2012年1月24日	○	○	
111		国連欧州経済委員会 PPP 推進局(UNECE PPP)	機関	2011年7月4日	○	-	
112	スウェーデン	リンネ大学	大学間	2016年9月27日	○	-	
113	スペイン	デウスト大学	大学間	2016年8月31日	-	○	
114	スロベニア	リュブリャナ大学	大学間	2013年2月26日	○	-	
115	タイ	アジア工科大学院	大学間	2007年4月5日	○	-	
116		チェンマイ大学	大学間	2012年12月22日	○	○	
117		タマサート大学	大学間	2016年12月16日	○	○	
118		プラナコン・シー・アユタヤ・ラチャバット大学	大学間	2017年3月14日	○	-	
119		チュラロンコン大学	大学間	2018年10月30日	○	○	
120		アサンブション大学	大学間	2020年3月12日	○	-	
121		シーナカリンウィロート大学	大学間	2020年10月20日	○	-	
122	台湾 (台湾省 ／中国)	天主教輔仁大学	大学間	2000年6月20日	○	○	
123		中国文化大学	大学間	2012年2月8日	○	○	
124		龍華科技大学	大学間	2012年7月18日	○	-	
125		東海大学	大学間	2016年7月12日	○	○	
126		義守大学	大学間	2017年6月12日	○	○	
127		国立中興大学	大学間	2018年2月9日	○	○	
128		実践大学	大学間	2018年2月22日	○	○	
129		中原大学	大学間	2018年6月26日	○	○	
130		弘光科技大学	大学間	2019年2月14日	○	-	
131		静宜大学	大学間	2019年2月21日	○	○	
132		佛光大学	大学間	2019年4月3日	○	-	
133	韓国	韓国外国語大学	大学間	1995年8月30日	○	○	
134		東国大学	大学間	1995年8月31日	○	○	
135		大邱大学	大学間	2003年6月27日	○	○	
136		平澤市	都市	2007年8月16日	○	-	
137		建国大学	大学間	2008年11月10日	○	○	
138		金剛大学	大学間	2011年2月1日	○	○	
139		韓南大学	大学間	2012年1月11日	○	○	
140		成均館大学	大学間	2012年9月6日	○	○	
141		円光大学	大学間	2012年12月20日	○	○	

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
142	韓国	仁荷大学	大学間	2013年1月10日	○	○	
143		世宗大学	大学間	2018年6月27日	○	○	
144		釜山外国語大学	大学間	2018年10月31日	○	○	
145		漢陽大学	大学間	2018年11月8日	○	○	
146		国民大学	大学間	2019年11月20日	○	○	
147	中国	上海对外貿易大学	大学間	1985年10月19日	○	○	
148		中国人民大学	大学間	1997年9月29日	○	○	
149		大連外国語大学	大学間	2003年8月10日	○	○	
150		大連理工大学	大学間	2006年6月14日	○	-	
151		吉林大学	大学間	2012年3月13日	○	-	
152		中国海洋大学	大学間	2015年6月24日	○	○	
153		上海工程技術大学	大学間	2015年7月16日	○	-	
154		北京語言大学	大学間	2015年9月15日	○	○	
155		上海外国語大学	大学間	2016年5月10日	○	○	
156		北京理工大学	大学間	2016年10月27日	○	○	
157		香港中文大学深圳校	大学間	2018年4月19日	○	○	
158		暨南大学	大学間	2018年5月31日	○	○	
159		鄭州大学西亞斯国際学院	大学間	2018年6月15日	○	○	
160		温州大学	大学間	2019年3月8日	○	-	
161		ノッティンガム大学寧波校	大学間	2019年6月28日	○	○	
162		マカオ科技大学	大学間	2019年7月8日	○	○	
163		香港公開大学	大学間	2019年9月30日	○	○	
164		大連海事大学	大学間	2019年11月19日	○	○	
165		西安外国語大学	大学間	2019年12月19日	○	○	
166		華北理工大学	大学間	2019年12月25日	○	○	
167		上海大学	大学間	2020年3月10日	○	○	
168		山東大学	大学間	2020年3月23日	○	○	
169	中国	大連東軟信息学院	大学間	2020年3月30日	○	○	
170		華東師範大学	大学間	2020年11月10日	○	○	
171		太原科技大学	大学間	2020年11月18日	○	○	
172		山西大学	大学間	2020年12月16日	○	○	
173	ドイツ	マールブルク大学	大学間	1990年4月19日	○	○	
174		バイロイト大学	大学間	2015年2月11日	○	○	
175		ミュンヘン応用科学大学	大学間	2019年2月8日	-	○	
176	日本	国連ユースボランティア関連(関西学院大学、大阪大学、国際教養大学、上智大学、筑波大学、明治大学、明治学院大学、立教大学)	コンソーシアム	2016年6月3日	○	-	
177		大学コンソーシアム	コンソーシアム	2016年10月11日	○	-	ダルマブルサダ大学との協力強化のための大学コンソーシアム
178		富山県富山市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
179		群馬県板倉町	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
180		一般財団法人国際協力推進協会	機関	2017年6月15日	※	-	
181	ニュージーランド	ユニテック工科大学	大学間	2013年1月17日	○	-	
182	ノルウェー	トロムソ大学	大学間	2017年10月10日	○	○	
183	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー原子核研究所	機関	2012年5月7日	○	-	
184		ブダペストメトロポリタン大学	大学間	2019年2月4日	○	○	
185	バングラデシュ	シャージャラル科技大学	大学間	2015年5月28日	○	-	
186	フィリピン	カラガ州立大	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の3者間協定。
187		サンホセリコルトス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	
188		セントジョセフ工科大学	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の3者間協定。

NO	国・地域	協定等相手先名	種別	協定締結日	学術交流 (包括)	学生 交流	備考
189	フィリピン	ファーザー・サトゥルニノ・ユリオス大学	大学間	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の3者間協定。
190		ブトゥアン市	都市	2011年11月14日	○	-	フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の3者間協定。
191		フィリピン大学デリマン校	大学間	2012年6月21日	○	-	
192		フィリピン大学セブ校	大学間	2013年11月14日	○	-	
193		セブ州	都市	2016年10月22日	○	-	
194		ブトゥアン市	都市	2016年10月26日	○	-	国連 CoE 地方政策 PPP センターを核とする都市間連携推進のための協定
195		デ・ラ・サール大学ダスマリニャス校	大学間	2017年11月23日	○	-	
196		マプア大学	大学間	2019年1月22日	○	-	
197		セブ技術大学	大学間	2019年11月20日	○	-	
198	フィンランド	ハーガ = ヘリア応用科学大学	大学間	2016年8月15日	○	-	
199		メトロポリタ応用科学大学	大学間	2018年3月27日	○	-	
200		ヤムク応用科学大学	大学間	2018年10月17日	○	○	
201	ブラジル	カンピーナス大学	大学間	2017年10月27日	○	○	
202		サンパウロ大学	大学間	2018年3月13日	○	○	
203	フランス	ストラスブール大学	大学間	1985年12月9日	○	○	各協定を2016年度に一本化させていたが、実際には個別の大学であるため、2020年度より3大学に分割してカウントをしている
204		ストラスブール大学政治経済学研究所 (IEP)	大学間	2012年5月24日	○	○	
205		ストラスブール大学経営大学院 (EMS)	大学間	2012年7月17日	○	○	
206		ナント大学	大学間	2012年12月7日	-	※	※対象は BNC と学際融合
207		ソルボンヌ大学	大学間	2013年3月19日	○	※	前パリ第6大学。パリ第6大学とパリソルボンヌ第4大学が合併し、ソルボンヌ大学と名称変更 ※対象は BNC と学際融合
208		IAU (国際大学協会)	コンソーシアム	2014年11月21日	○	-	
209		リール大学	大学間	2015年11月27日	○	○	前シャルル・ド・ゴール大学 (リール第3大学)。リール第1大学、リール第2大学、リール第3大学が合併し、リール大学と名称変更
210		パリ・デイドロ大学 (パリ第7大学)	大学間	2017年2月20日	○	○	
211		レンヌ第一大学	大学間	2019年9月30日	○	○	
212		フランシュ・コンテ大学	大学間	2020年6月16日	○	○	
213	ブルガリア	聖クリメント・オフリツキ・ソフィア大学	大学間	2015年3月17日	○	○	
214		ソフィア工科大学	大学間	2019年2月1日	○	-	
215	ベトナム	ベトナム国家大学ホーチミン校	大学間	2002年4月2日	○	-	
216		FPT 大学	大学間	2016年9月12日	-	○	
217		日越大学	大学間	2018年2月16日	○	-	
218		ベトナム銀行学院	大学間	2020年12月22日	○	○	
219	ベルギー	トマスモア応用科学大学	大学間	2018年12月10日	○	○	
220		リエージュ大学	大学間	2019年7月9日	○	○	
221	マレーシア	マラヤ大学	大学間	2012年4月28日	○	-	
222		テイラーズ大学	大学間	2015年11月19日	○	○	
223		マレーシア工科大学	大学間	2016年12月16日	○	-	
224		ヘルプ大学	大学間	2017年7月28日	○	-	
225		サンウェイ大学	大学間	2017年10月6日	○	-	
226		マレーシア国民大学	大学間	2019年4月15日	○	○	
227		ノッティンガム大学マレーシア校	大学間	2020年3月2日	-	○	
228	メキシコ	モンテレイ大学	大学間	2018年7月19日	○	○	
229	リトアニア	ヴィルニウス大学	大学間	2020年2月12日	○	○	
230	ルーマニア	ティミショアラ工科大学	大学間	2012年6月22日	○	-	
231		ブカレスト経済大学	大学間	2018年4月20日	○	○	
232		ブカレスト大学	大学間	2019年4月22日	○	-	

※網掛けは2020年度新規協定締結校 (12)

学部・研究所等協定締結一覧

〔2021年3月31日現在〕〔学部別国別締結日順〕

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
1	文学部	アメリカ	ハワイ大学ヒロ校	訪問学生のための協定覚書 ハワイ大学Hilo校および東洋大学の利益におけるハワイ大学間の訪問学生に関する協定覚書	学生派遣	2020年4月9日
2		インドネシア	国立デンパサール・ヒンドゥー大学	国立デンパサール・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学文学部との学術交流に関する協定	共同研究等の学術交流	2016年11月21日
3		中国	復旦大学	中国復旦大学外国語・文学部中国語・文学学科、史学科、哲学専攻と日本国東洋大学文学部との相互学生交換	学生交換等の学術交流	2016年4月28日
4	文学部 文学研究科	スイス	チューリッヒ大学	チューリッヒ大学と東洋大学との交換協定書	学生交換等の学術交流	2018年10月16日
5	経済学部	イギリス	ウォーリック大学英語教育センター	東洋大学経済学部とウォーリック大学英語教育センター間における短期プログラムに関する協定書	教育	2002年8月19日
6		中国	対外経済貿易大学国際学院	「中国研修プログラム」に関する協定書	教育(短期研修)	2012年3月19日
7	経営学部・ 経営学研究科	タイ	泰日工業大学	泰日工業大学経営学部と東洋大学経営学部および東洋大学大学院経営学研究科との学術協力交流に関する覚書	学術交流、学生交流	2016年10月7日
8	経営学部	イギリス	オックスフォード大学ハートフォード・カレッジ	ハートフォード・カレッジ・プログラム(英国イングランド、オックスフォード、キャット・ストリート、ハートフォード・カレッジ)と東洋大学(日本)との間の海外留学プログラムに関する協定	学生交流	2018年8月22日
9	法学部	イギリス	ロンドン大学ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン校心理学・言語科学学部	東洋大学法学部とユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン校心理学科学部との間における東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施に関する協定書	短期語学研修	2013年5月8日
10		中国	厦門大学法学院	中国厦門大学法学院と法学部との交流協定	学術交流活性化(中国法・日本法教育)	2008年12月13日
11			西北政法大学 経済法学院	日本国東洋大学法学部と中国西北政法大学経済法学院の教育研究交流協定	研究交流	2018年6月1日
12			遼寧大学法学院	東洋大学法学部(日本)と遼寧大学法学院(中国)の教育研究交流協定	研究交流	2018年9月7日
13		ドイツ	異文化コミュニケーション協会	東洋大学法学部短期海外留学プログラム実施のためにルートヴィヒ・マクシミリアン大学ミュンヘンと異文化コミュニケーション協会が合同で開講するドイツ語セミナーに関する協定書	短期語学研修	2014年3月27日
14		ノルウェー	トロムソ大学	トロムソ大学人間社会科学学部と東洋大学法学部の学術協力に関する協定	教育・学術交流および国際協力進展(包括的学術交流)	2014年5月8日
15	国際地域 学部	アメリカ	ノースウエスト大学	東洋大学国際地域学部とノースウエスト大学との学生交換協定	学生交換・学生派遣	2016年12月14日
16		インドネシア	バラヤンガン・カトリック大学工学部	東洋大学国際地域学部とバラヤンガン・カトリック大学工学部間における学術交流協定書	教育・学術交流	2003年8月28日
17		オーストリア	ザルツブルグ応用科学大学	東洋大学国際地域学部とザルツブルグ応用科学大学との学生交換協定	学生交換	2016年12月5日
18			オーバーエスターライヒ州(アッパーオーストリア)応用科学大学	オーストリア・オーバーエスターライヒ州応用科学大学と東洋大学との学部間協定	学生交換	2017年4月6日
19		カナダ	センテニアルカレッジ	東洋大学国際地域学部とセンテニアルカレッジとの学生交換協定	学術交流・学生交換	2016年11月28日
20		韓国	慶熙大学校	日本国東洋大学国際地域学部と韓国慶熙大学校ホテル観光大学との間における交流に関する協定書	教育・学術交流	2003年3月18日
21		スウェーデン	リンネ大学社会科学部	東洋大学国際地域学部(日本)とリンネ大学社会科学部(スウェーデン)との学術交流および学生交換に関する協定	学生交換・学術交流	2016年9月26日
22		中国	南開大学国際商学院	南開大学国際商学院と東洋大学国際地域学部との交流に関する覚書	教育・学術交流	2002年10月6日
23		フィンランド	ハーガ＝ヘリア応用科学大学	ハーガ＝ヘリア応用科学大学と東洋大学国際地域学部の学生交換に関する協定	学生交換	2016年8月15日
24		ベトナム	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所	ベトナム都市農村計画研究所・農村開発計画研究所と東洋大学国際地域学部の包括的学術協定	教育・学術交流	2015年11月27日
25			国立ハノイ建設大学	東洋大学国際地域学部と国立ハノイ建設大学建築学部との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月15日
26			ハノイ建築大学	東洋大学国際地域学部とハノイ建築大学との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年2月23日
27		リトアニア	ヴィータウタス・マグナス大学	東洋大学とヴィータウタス・マグナス大学との協定締結に関する覚書	包括協定	2017年3月14日
28				東洋大学とヴィータウタス・マグナス大学との学術および学生交換に関する協定	学生交換	2017年3月14日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
29	国際学部	アメリカ	ワシントン大学コンティナム・カレッジ	東洋大学国際学部およびワシントン大学コンティナム・カレッジ協定	包括協定	2017年9月12日
30			ミネソタ州立大学マスケート校	ミネソタ州立大学と東洋大学 学生および教員交換プログラム協定	包括協定、学生交換、学生派遣	2018年2月19日
31		イギリス	ケント大学	日本国東洋大学国際学部と英国ケント大学との間の学生交換および短期留学プログラムに関する協定書	学生交換・派遣	2017年11月1日
32			コベントリー大学	コベントリー大学と東洋大学の間の学生交換に関する協定書	学生交換	2018年7月16日
33			ウィンチェスター大学	ウィンチェスター大学協定書	包括協定	2018年8月20日
34		インドネシア	スプラスマレット大学	スプラスマレット大学と東洋大学国際学部における覚書要旨	包括協定	2018年5月25日
35				スプラスマレット大学農学部と東洋大学国際学部における覚書要旨	学生交換	2019年1月16日
36		オーストラリア	クイーンズランド大学	Study Abroad Agreements	学生派遣	2018年4月24日
37			モナシュ大学	モナシュ大学(オーストラリア)と東洋大学国際学部の留学生受入れ協定	学生受入	2019年3月1日
38		オランダ	アムステルダム応用科学大学、ビジネス・経済学部	東洋大学国際学部とアムステルダム応用科学大学ビジネス・経済学部との学生交換協定	学生交換	2017年12月21日
39		カナダ	ビクトリア大学	東洋大学国際学部とビクトリア大学との学生派遣に関する協定	学生派遣	2017年10月4日
40			セントローレンスカレッジ	セントローレンスカレッジおよび東洋大学国際学部の間の了解覚書	包括協定	2018年8月14日
41		スリランカ	スリランカ・セナワタ都市リソースセンター	スリランカ・セナワタ都市リソースセンターと東洋大学国際学部との MOU	包括協定	2017年6月2日
42		ニュージーランド	オタゴ大学	オタゴ大学(ニュージーランド)と東洋大学(日本)の留学協定	学生交換	2019年2月13日
43		フィンランド	ラハティ国民高等学校	ラハティ国民高等学校と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2017年8月18日
44			メトロポリタ応用科学大学	メトロポリタ応用科学大学と東洋大学との包括的学術交流協定	包括協定	2018年4月25日
45		フランス	シアンスポ・トゥールーズ大学	シアンスポ・トゥールーズ大学と東洋大学国際学部間の学生交換に関する合意書	学生交換	2017年5月22日
46			セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院	セルジー＝ポントワーズ大学サンジェルマン・アン・レイ政治学院と東洋大学国際学部との協定書	包括協定、学生交換	2017年9月8日
47			リール・カトリック大学	東洋大学(日本国 東京)とリール・カトリック大学(フランス リール)の間の協定書	包括協定、学生交換	2017年9月15日
48			ストラスブール大学	グローバル・イノベーション学科の学生受入れのための追加協定	学生受入	2018年4月23日
49		ブルガリア	プロブディフ大学史学・哲学部	プロブディフ大学歴史哲学部と東洋大学国際学部間の交流協定要旨	包括協定	2018年8月2日
50		ポーランド	ヴロツワフ経済大学	ヴロツワフ経済大学との交換協定	学生交換	2018年4月1日
51			クラフク経済大学	枠組協力協定 東洋大学とクラフク経済大学の間で締結される・ワーキングプログラム第1号(付随文書)	学生交流	2019年4月18日
52				ワーキングプログラム第1号 2019年に署名された東洋大学国際学部とクラフク経済大学の枠組み協力協定書の付随文書	学生交換	2019年5月10日
53		マレーシア	マラ工科大学	友好・協力・相互理解の促進、学術・文化・科学思想および人材の交流に関する覚書	研究交流	2019年11月6日
54	国際学部・国際学研究所	ノルウェー	オスロ首都大学	オスロ首都大学 社会科学ビジネススクールおよび社会福祉・児童福祉・社会政策学科と東洋大学 国際学部および国際学研究所の間の覚書	包括協定	2019年1月7日
55	国際観光学部	台湾	文藻外語大学	文藻外語大学と東洋大学との間における包括的学術交流協定	学生交換	2017年9月20日
56		香港	香港理工大学	香港理工大学と東洋大学の学生交換協定	学生交換	2017年12月14日
57	ライフデザイン学部	インドネシア	国立デンバサル・ヒンドゥー大学	国立デンバサル・ヒンドゥー大学神学部と東洋大学ライフデザイン学部との学術交流に関する協定	学術交流	2018年12月6日
58		韓国	社団法人韓日福祉経営協議会	東洋大学ライフデザイン学部と社団法人韓日福祉経営協議会の連携に関する協定	福祉における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2006年1月24日
59			カトリック上智大学	東洋大学とカトリック上智大学との交流協定書	研究交流	2020年11月6日
60		中国	北方工業大学建築芸術学院	東洋大学ライフデザイン学部と北方工業大学建築芸術学院の連携に関する協定	相互に連携して、双方の学問領域における人的・知的資源等の交流・活用を図ること	2013年6月6日
61	ライフデザイン学部 人間環境デザイン学科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学と東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科との包括学術協定および学生交換に関する協定	包括・学生交換	2018年12月1日
62	情報連携学部	ウズベキスタン	トリノ工科大学タシケント校	東洋大学情報連携学部および情報連携学研究所とトリノ工科大学タシケント校との間の学術協力および交流に関する協定	学術交流	2018年4月9日
63	文学研究科 インド哲学 仏教学専攻	韓国・中国	金剛学校大学院社会福祉仏教学科 中国人民大学宗教学高等研究院	大学院生交流ならびに学術会議の共同開催に関する覚書	教育・学術交流	2012年6月22日

NO	主体	国・地域	協定等相手先名	協定	協定の主な目的	締結日
64	文学研究科 哲学専攻	オーストリア	ウィーン大学哲学・教育学部哲学科	学術協力交流協定	教育・学術交流	2015年5月21日
65	経営学 研究科	タイ	アサンブション大学 経営大学院	タイ王国アサンブション大学と東洋大学との学 生交換に関する覚書	学生交換	2020年3月12日
66	国際地域学研 究科国際観光 学専攻・国際 観光学部	中国	暨南大学	暨南大学と東洋大学との学生交換に関する協定	学生交換	2018年2月28日
67	生命科学 研究科	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	ローマ・ラ・サピエンツァ大学(伊)土木・産業工 学部および東京・東洋大学(日)生命科学研究 科間における学生交換合意書	学生交換	2018年12月19日
68		スリランカ	スリランカ国立基礎研究所	基本的合意書	学術交流	2019年4月1日
69		チリ	メリモユ生態系研究所メリ基礎研究 センター	メリモユの生態環境科学調査機関と東洋大学生 命科学研究科における共同協定	包括・学生交換	2017年4月1日
70	福祉社会デザ イン研究科	韓国	社団法人未来福祉文化研究会	東洋大学福祉社会デザイン研究科と社団法人 未来福祉文化研究会の連携に関する協定	教育・学術交流	2008年9月29日
71	社会福祉学研 究科/福祉社 会開発研究 センター	台湾	朝陽科技大学	東洋大学と朝陽科技大学との学術協力・交流に 関する合意書	研究交流	2020年3月26日
72	ライフデザイン 学研究科	イタリア	ミラノ工科大学	ミラノ工科大学と東洋大学における学生交流に 関する覚書	学生交流	2018年10月1日
73	ライフデザイン 学研究科人間 環境デザイン 専攻	スウェーデン	スウェーデン王立工科大学	メカトロニクス共同研究・教育交流に関する覚書	研究交流	2019年3月18日
74	理工学研究科	ベトナム	外国貿易大学VJCC インスティテュート	学術交流および協力に関する協定	学術交流	2019年9月16日
75	アジア文化 研究所	中国	遼寧大学日本研究所	日本国東洋大学アジア文化研究所と中国遼寧 大学日本研究所との研究協力に関する協定	共同研究の実施	2017年11月18日
76		トルコ	アンカラ大学アジア太平洋協働研究 センター	日本国東洋大学アジア文化研究所とトルコア ンカラ大学アジア太平洋協働センターとの研究協 力に関する協定書	研究協力	2019年1月10日
77	PPP研究 センター	アメリカ	フロリダ・アトランティック大学 Center for Urban Redevelopment and Education	協定書	研究協力	2009年3月30日
78			ジョージア工科大学 Center for Advanced Communications Policy	協定書	研究協力	2009年3月30日
79		スイス	国連欧州経済委員会 PPP 推進局 (UNECE PPP)	覚書	PPP 推進のための協力 体制構築および国連 PPP 推進活動として認 定	2011年7月4日
80		フィリピン	フィリピン大学フィリピン経済開発 センター (PCED)	東洋大学 PPP 研究センターとフィリピン経済開 発センターの技術提携・交流に関する協定 (AGREEMENT ON TECHNICAL OPERATION AND EXCHANGE)	研究協力	2011年11月15日
81	国際共生社会 研究センター	インドネシア	インドネシア・シア・クアラ大学津波災害 研究センター	東洋大学国際共生社会研究センターとインド ネシア・シア・クアラ大学津波災害研究センター間 における学術交流協定	研究	2013年1月1日
82		タイ	コミュニティ組織機構	東洋大学国際共生社会研究センターとコミュニ ティ組織開発機構における都市とコミュニティ開 発に関する共同研究協定	研究	2012年12月1日
83		中国	河南科技学院	東洋大学国際共生社会研究センターと河南科 技学院間における共同研究協定	研究	2014年4月1日
84			四川大學香港理工大學災后重建与管 理学院	東洋大学国際共生社会研究センターと四川大 学香港理工大學災后重建与管理学院間にお ける共同研究協定	研究	2014年8月1日
85		バングラディシュ	バングラディシュ工科大学土木工学部	東洋大学国際共生社会研究センターとバングラ ディシュ工科大学間における学術交流協定	研究	2011年8月24日
86	生命科学 研究科 生命環境科学 センター	イタリア	ローマ・ラ・サピエンツァ大学	東洋大学およびローマ・ラ・サピエンツァ大学間 の科学文化協定基本合意書	学術交流	2018年12月18日
87	バイオ・ナノエ レクトロニクス 研究センター ／学際・融合 科学研究科	アメリカ	ライス大学機械工学・材料科学部	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2011年11月21日
88		イギリス	オックスフォード大学二コル・グローバル 研究グループ	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムのた めの共同研究に関する覚書	GCOE のための教育研 究連携	2009年3月1日
89		インド	C.M.S. カレッジ	ナノ・イノベーション・プログラムに関する覚書	教育研究連携	2014年4月1日
90		インド	ラマヤ工科大学	協定書	教育研究連携	2018年12月6日
91		ハンガリー	ブタペスト工科経済大学	バイオ・ナノイノベーションプログラム連携協定	教育研究連携	2012年7月1日
92		ロシア	スコルコボ科学技術大学	グローバル・ナノ・イノベーション・プログラムに関 する覚書	研究交流	2019年7月5日

※網掛けは2020年度新規協定締結校(2)

学生受入

■2020年度 受入留学生数

(人)

		正規生				交換留学生		総計	
		2020 年 5 月 1 日現在		10 月採用	9 月入学	Ⅰ 期	Ⅱ 期		
		国費	私費	国費	私費				
学部	文学部	0	193	0	0	0	0	193	
	経済学部	0	139	0	0	1	0	140	
	経営学部	0	144	0	0	0	0	144	
	法学部	0	123	0	0	0	0	123	
	社会学部	0	175	0	0	1	0	176	
	国際地域学部	0	6	0	0	0	0	6	
	国際学部	0	194	0	13	1	0	208	
	国際観光学部	0	83	0	0	1	0	84	
	情報連携学部	0	85	0	5	0	0	90	
	ライフデザイン学部	0	13	0	0	0	0	13	
	理工学部	0	142	0	0	0	0	142	
	総合情報学部	0	100	0	0	0	0	100	
	生命科学部	0	44	0	0	0	0	44	
	食環境科学部	0	16	0	0	0	0	16	
	学部計		0	1,457	0	18	4	0	1,479
大学院	文学研究科	1	26	0	0	0	0	27	
	社会学研究科	0	28	0	0	0	0	28	
	法学研究科	0	8	0	0	0	0	8	
	経営学研究科	0	18	0	0	0	0	18	
	工学研究科	0	0	0	0	0	0	0	
	理工学研究科	0	21	0	0	0	0	21	
	経済学研究科	0	37	0	2	0	0	39	
	国際学研究科	5	14	0	11	0	0	30	
	国際観光学研究科	3	15	0	0	0	0	18	
	国際地域学研究科	0	1	0	0	0	0	1	
	生命科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	
	社会福祉学研究科	1	16	0	0	0	0	17	
	ライフデザイン研究科	0	12	0	0	0	0	12	
	福祉社会デザイン研究科	0	6	0	0	0	0	6	
	学際・融合科学研究科	4	3	0	0	0	0	7	
	総合情報学研究科	1	15	0	1	0	0	17	
	食環境科学研究科	0	0	0	0	0	0	0	
	情報連携学研究科	0	0	0	0	0	0	0	
	大学院計		15	220	0	14	0	0	249
	総計		15	1,677	0	32	4	0	1,728

対象期間:2020年4月～2021年3月

ー交換留学生(I期):2020年4月1日受入

ー交換留学生(II期):2020年10月1日受入

※部局間交換留学生1名含む

(人)

課程	課程	学年	国・地域別定員数（単位：人）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
			中国	台湾	韓国（朝鮮） トルコ	スイス ベトナム	タイ シンガポ	モンゴル	マレーシア ネパール	サウジアラビア	インドネシア	ウズベキスタン ミャンマー	アルゼンチン	アメリカ合衆国 フィリピン	ブラジル	モロッコ	ブルガリア	ポーランド	フィンランド	スウェーデン	オーストリア	チェコ	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス	イタリア	スペイン	オランダ	ベルギー	ルクセンブルグ	ポルトガル	ギリシャ	トルコ	ロシア	ウクライナ	白ロシア	ベラルーシ	モルドバ	ルーマニア	ハンガリー	ポーランド	ドイツ	フランス

資料編
③

資料編 ③

(人)

資料編
③

期別	制度	国	所属大学	部局間	受入年度				
					2016	2017	2018	2019	2020
I期	I S E P	アメリカ	ノーザンアリゾナ大学					1	
			ノースカロライナ大学ウィルミントン校					1	
			ノースジョージア大学					1	
			バトラー大学		1				
			ブエルトリコ大学			1			
			ミズーリ州立大学			1	1	1	
			ミドルテネシー州立大学					1	
			モンタナ州立大学					1	
			ロヨラ大学ニューオーリンズ校					1	
		オーストラリア	キャンベラ大学					1	
			チャールズ・スタート大学		1				
		オーストリア	グラーツ工科大学					1	
			グラーツ大学					1	
		韓国	亜洲大学校					1	
		スウェーデン	カールスタード大学		1				
		チリ	テクニカフェデリコサンタマリア大学					1	
			バルバライソカトリック大学					1	
		ブラジル	FAAP			1			
	メキシコ	レヒオモンタナ大学		1					
	U M A P	韓国	弘益大学校		1				
		タイ	チェンマイ大学				1		
			メーファールアン大学					1	
		台湾	国立台湾科技大学				1		
			国立高雄第一科技大学		1				
		実践大学			1	2			
		メキシコ	コリマ大学				1		
			シウダーフアレス自治大学					1	
			バハカリフォルニア自治大学			1		1	
小 計 第I期					28	23	54	86	4
II期	協 定 校	アイルランド	ダブリンシティ大学		3	3		2	
			リムリック大学		2				
		アメリカ	ウィノナ州立大学			2	3		
			ウェストテキサスA&M大学				2		
			カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校					2	
			カリフォルニア州立大学モントレーベイ校			1	2	2	
			ジョンソン・アンド・ウェールズ大学					1	
			テネシー大学ノックスビル校				1		
			ハートウィック大学					1	
			パデュー大学ノースウェスト校			1			
			ミズーリ大学セントルイス校		2	2		2	
			モンタナ大学			3	2		
			ルイスクラーク州立大学				1		
		イギリス	コベントリー大学	★				1	
			ヨークセントジョン大学		7	2	1	5	
		イタリア	トリノ大学			1			
			ベネツィア大学					7	
			ボローニャ大学					1	
		オーストラリア	サンシャインコースト大学			1			
		オーストリア	オーバーエスターライヒ州立応用科学大学	★		1	1	3	
		オランダ	アムステルダム応用科学大学		5	2	1	1	
			ティオ応用科学大学				1		
			フォンティスアカデミー			1			
			ロッテルダム大学		3	2			

期別	制度	国	所属大学	部局間	受入年度				
					2016	2017	2018	2019	2020
II	協定校	カナダ	エドモントン・コンコルディア大学		1				
			クワレントポリテクニク大学		1		3		
			トンブソンリバーズ大学		2			2	
			ブロック大学					1	
			レイクヘッド大学				1		
		韓国	仁荷大学					2	
			円光大学			2	2		
			建国大学			1	2		
			金剛大学			2			
			世宗大学					3	
		スイス	ルツェルン大学				1		
		スペイン	デウス大学				1	3	
		タイ	チュラロンコン大学	★		1			
		台湾	義守大学				2	2	
			実践大学				2	2	
			中原大学					2	
			天主教輔仁大学		2	2	2	2	
			東海大学					2	
			文藻外語大学	★				2	
		中国	暨南大学					2	
			大連外国語大学		2	2	2		
			中国人民大学		1	1	2		
			北京理工大学			4	1		
			北京語言大学		2				
			中国海洋大学			2		1	
			鄭州大学西亞斯国際学院					2	
		ドイツ	バイロイト大学		1	2	2	1	
			マールブルク大学		2			3	
		ノルウェー	オスロ首都大学	★				2	
			トロムソ大学				3		
		フィンランド	ハーガ=ヘリア応用科学大学	★		3	3	1	
			メトロポリタ応用科学大学	★			1		
		フランス	サンジェルマン・アン・レイ	★			3	3	
			ストラスブール大学		3	5	3	6	
			トゥールーズ大学	★			2	3	
			パリ・ディドロ大学(パリ第7大学)				2		
			リール大学(旧シャルル・ド・ゴール大学・リール第3大学)				2	1	
			リール・カトリック大学	★			1	2	
		ベトナム	FPT大学					2	
		マレーシア	テイラーズ大学					1	
	I S E P	アメリカ	アイオワ大学		1				
			アッパーアイオワ大学				1		
			アバラチアン州立大学				1		
			イーストカロライナ大学		1		1	1	
			イーストカロライナ大学シャーロット校					1	
			イーストテネシー州立大学			1			
			インディアナ大学・パデュー大学フォートウェイン				1		
			エッジウッド大学					1	
			カリフォルニア州立大学イーストベイ校			1		2	
			カリフォルニア州立大学サンマルコス校					2	
			ケネソー州立大学			3			
			コロラド・メサ大学		2				
			サンディエゴ州立大学			1	2		

期 別	制 度	国	所属大学	部 局 間	受入年度				
					2016	2017	2018	2019	2020
Ⅱ <									

※アムステルダム応用科学大学は大学間と部局間両方協定がある。2019年度 I 期は部局間での受入。

■国費外国人留学生数

年度	受給者数(人)			給与総額	教育費総額	合計
	学部	大学院	受託学生			
2016	0	22(11)	3	37,914,000 円	14,415,500 円 (5,645,000 円)	52,329,500 円
2017	0	25(13)	0	38,826,000 円	14,980,000 円 (5,660,000 円)	53,806,000 円
2018	0	22(12)	0	35,322,000 円	12,965,000 円 (6,025,000 円)	48,287,000 円
2019	0	23(13)	1	33,440,000 円	11,789,500 円 (5,620,000 円)	45,229,500 円
2020	0	15(10)	1	28,260,000 円	9,700,000 円 (6,030,000 円)	37,960,000 円

() は内数で、スーパーグローバル大学創成支援事業による採用者数。

■Toyo Summer／Winter Program 実績

※2020 年度は新型コロナウイルスの影響により Toyo Summer／Winter Program の実施はなし。

■ショートビジット受入実績

※新型コロナウイルスの影響により全てオンラインでの実施。

日程	機関名	国・地域	参加者	内容	受入学部等
2020 年 8 月 6 日	カーティン大学 Curtin University	オーストラリア	学部生 6 名	学生ミーティング with カーティン大学	国際教育センター
2020 年 8 月 6 日	韓国外語大学 Hankuk University of Foreign Studies	韓国	学部生 3 名 大学院生 2 名	学生ミーティング with 韓国外語大学	国際教育センター
2020 年 10 月 24 日 -10 月 31 日	デ・ラ・サール大学 De La Salle University	フィリピン	学部生 8 名	Immigration and Cross-cultural Issues 共 同授業	国際学部
2020 年 10 月 24 日 -10 月 31 日	マレーシア国民大学 National University of Malaysia (UKM)	マレーシア	学部生 32 名	Immigration and Cross-cultural Issues 共 同授業	国際学部
2020 年 11 月 25 日	チェンマイ大学 Chiang Mai University	タイ	学部生 6 名	学生ミーティング with チェンマイ大学	国際教育センター
2020 年 12 月 3 日	カーティン大学 Curtin University	オーストラリア	学部生 4 名	学生ミーティング with カーティン大学	国際教育センター
2020 年 12 月 11 日	大連外国語大学 Dalian University of Foreign Languages	中国	学部生 9 名 大学院生 1 名	学生ミーティング with 大連外国語大学	国際教育センター
2020 年 12 月 16 日	チェンマイ大学 Chiang Mai University	タイ	学部生 7 名	学生ミーティング with チェンマイ大学	国際教育センター
2021 年 1 月 6 日	チェンマイ大学 Chiang Mai University	タイ	学部生 6 名	学生ミーティング with チェンマイ大学	国際教育センター
2021 年 1 月 16 日・1 月 23 日	ハートウィックカレッジ Hartwick College	アメリカ	学部生 16 名	Hartwick Winter Workshop 2021	国際教育センター
2021 年 1 月 21 日	マラ工科大学 Universiti Teknologi Mara	マレーシア	学部生 172 名	International Joint Workshop on Buildings, Cities and Regions 2021	国際学部

日程	機関名	国・地域	参加者	内容	受入学部等
2021 年 1 月 26 日	韓国外語大学 Hankuk University of Foreign Studies	韓国	学部生 6 名	学生ミーティング with 韓国外語大学	国際教育センター
2021 年 1 月 30 日	マレーシア国民大学 National University of Malaysia (UKM)	マレーシア	学部生 14 名	UKM & UMY SDGs Online Workshop	国際教育センター
	ムハマディア大学 Universitas Muhammadiyah Yogyakarta	インドネシア	学部生 12 名		
2021 年 2 月 6 日	サン・カルロス・デ・グアテマラ大学 Universidad de San Carlos de Guatemala	グアテマラ	学部生 4 名	CSUB & Guatemala SDGs Online Workshop	国際教育センター
	バジエ・デ・グアテマラ大学 Universidad del Valle de Guatemala		学部生 1 名		
	ガリレオ大学 Universidad Galileo Guatemala		学部生 1 名		
	ラファエル・ランディバル大学 Universidad Rafael Landivar de Guatemala		学部生 1 名		
	カリフォルニア州立大学ベイカーズフィールド校 California State University, Bakersfield	アメリカ	学部生 18 名		
2021 年 2 月 17 日	ルフナ大学 University of Ruhuna	スリランカ	学部生 7 名	グローバル人材育成へ向けた国際サイエンスプログラム	生命科学研究科
2021 年 2 月 17 日	韓国原子力研究所 Korea Atomic Energy Research Institute	韓国	大学院生 1 名	グローバル人材育成へ向けた国際サイエンスプログラム	生命科学研究科

NEST履修者数／BJT団体受験結果／国際会館利用者数

■NEST履修者数

(人)

レベル	2017年度 春学期	2017年度 秋学期	2018年度 春学期	2018年度 秋学期	2019年度 春学期	2019年度 秋学期	2020年度 春学期	2020年度 秋学期
J1	7	18	13	29	30	35	5	0
J2	18	15	23	13	35	20	12	0
J3	8	9	14	11	14	13	9	0
J4	19	6	7	8	9	15	4	0
合計	52	48	57	61	88	83	30	0
交換留学生数	68	64	88	78	123	117	40	0

2018年度までは、NEST受講にあたり「Integrated Japanese」の履修が必須であったが、2019年度より履修したい科目を自由に選択できるようになった。

2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、交換留学生数が少なかった。秋学期については交換留学生の受入ができなかった。

■2020年度BJT団体受験結果(延べ人数)

(人)

学部／研究科	J1+	J1	J2	J3	総計
文学部	2	8	17		27
経済学部		2	12	1	15
経営学部			22		22
法学部		1	6		7
社会学部	2	5	20		27
国際学部	2	2	15	8	27
国際観光学部	4	3	12		19
情報連携学部			1	1	2
理工学部			6	1	7
総合情報学部		4	10	1	15
生命科学部	1		3		4
食環境科学部			2	1	3
社会学研究科			4		4
経営学研究科		1	1		2
経済学研究科			3	1	4
国際学研究科			1		1
国際観光学研究科			2	1	3
社会福祉デザイン研究科			2		2
ライフデザイン学研究科			2		2
学際・融合科学研究科	1				1
総計	12	26	141	15	194
割合	6%	13%	73%	8%	100%

■2020年度国際会館利用者数

(人)

	春学期	秋学期
交換留学生	22	0
フルスカラシップ生	16	33
RA	5	5
外国人研究員等	1	0
ショートビジット引率等	0	0
国費留学生	0	1
一般正規学生	0	10
合計	44	49

ECZ利用者数

(人)

キャンパス	課程名	学部／研究科名	学科／専攻名	春学期	秋学期	総計
白山	第1部	文学部	英米文学科	所属は確認して なかったため、不明。	22	22
			史学科		11	11
			東洋思想文化学科		1	1
			国際文化コミュニケーション学科		2	2
			計		36	36
		経済学部	国際経済学科		4	4
			計		4	4
		経営学部	マーケティング学科		3	3
			計		3	3
		法学部	法律学科		3	3
			企業法学科		1	1
			計		4	4
		社会学部	社会学科		5	5
			社会文化システム学科		3	3
			メディアコミュニケーション学科		4	4
			社会心理学科		3	3
			計		15	15
		国際学部	グローバル・イノベーション学科		12	12
			国際地域学科		39	39
			計		51	51
		国際観光学部	国際観光学科		102	102
			計		102	102
		合計			215	215
	第2部	社会学部	社会福祉学科		1	1
		合計			1	1
	大学院	経営学研究科	経営学・マーケティング専攻 博士前期課程		2	2
			計		2	2
		国際観光学研究科	国際観光学専攻 博士前期課程		1	1
			計		1	1
		文学研究科	国際文化コミュニケーション専攻博士後期課程		1	1
			計		1	1
		合計			4	4
赤羽台	第1部	情報連携学部	情報連携学科	3	3	
		合計		3	3	
不明	不明	不明	84	17	101	
		合計		84	17	101
その他※	その他	その他	0	43	43	
		合計		0	43	43
2020 年度総計				84	283	367

※特別プログラムに参加した協定校学生、卒業生、元交換留学生数

2020 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、オンラインにて以下のとおり実施した。

【春学期】

実施期間:6 月 15 日～7 月 31 日 平日

開室時間:12:15～12:55

参加者数:84 名(延べ数)

【秋学期】

実施期間:9 月 28 日～1 月 29 日 平日

開室時間:12:15～15:00

参加者数:283 名(延べ数)

学生派遣

■大学全体の派遣者数

(人)

学部／研究科名		交換留学		認定留学		協定校 語学留学		短期研修		インターンシップ・ ボランティア		その他		総計	
		2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020	2019	2020
学部	文学部第1部	17		2	1	51	7	135	29	9		15		229	37
	経済学部第1部	7	2	3		25	6	63	7	4		71		173	15
	経営学部第1部	5	2	1	1	10	3	63	9	6		44		129	15
	法学部第1部	7				6	2	44	3	3		13	3	73	8
	社会学部第1部	9	1	3		21	4	142	25	14		14		203	30
	理工学部	1				3		44		3		10		61	0
	国際地域学部	2		2		1		10		3		5		23	0
	国際学部	90	6	1	1	12	4	326	208	15	1	12		456	220
	国際観光学部	13	6	3	1	40	9	71	21	49		89	1	265	38
	生命科学部							12		1		1		14	0
	ライフデザイン学部	1		1		4	1	86	7	3		22		117	8
	総合情報学部	2		1		2		8	1	1		10		24	1
	食環境科学部							17	2			4		21	2
	情報連携学部							13	2	2		1		16	2
	文学部第2部		1					9				2		11	1
	経済学部第2部	1						4	3	1		4		10	3
	経営学部第2部	1				1		3	1	1		1		7	1
	法学部第2部					1		3		2				6	0
	社会学部第2部	1						8		3		2		14	0
	国際地域学部イブニングコース	1				1		1		2		2		7	0
	国際学部イブニングコース	3				1		32	2	7				43	2
	通信教育課程 法学部							1	1					1	1
	学部計	161	18	17	4	179	36	1,095	321	129	1	322	4	1,903	384
研究科	文学研究科	1										6		7	0
	社会学研究科											11		11	0
	法学研究科													0	0
	経営学研究科													0	0
	工学研究科													0	0
	理工学研究科							2				31		33	0
	経済学研究科							3				2		5	0
	国際学研究科							2		2		14		18	0
	国際観光学研究科							6				2		8	0
	国際地域学研究科											9		9	0
	生命科学研究科													0	0
	社会福祉学研究科											1		1	0
	ライフデザイン学研究科							1	1			3		4	1
	福祉社会デザイン研究科											4		4	0
	学際・融合科学研究科							1				4		5	0
	総合情報学研究科			1					1			25		26	1
	食環境科学研究科								1					0	1
	情報連携学研究科													0	0
	大学院計	1	0	1	0	0	0	15	3	2	0	112	0	131	3
総計		162	18	18	4	179	36	1,110	324	131	1	434	4	2,034	387

■交換留学派遣者数

(人)

			(人)					
	協定校・ コンソーシアム	国・地域	留学先大学	派遣年度				
				2016	2017	2018	2019	2020※2
Ⅰ期	協定校	オーストラリア	サンシャインコースト大学	1	1		1	
			シーキュー大学	5	7	5	1	2
			カーティン大学					1
		韓国	仁荷大学校			5	3	2
			韓国外国語大学校	2			1	
			建国大学校	2		2	1	1
			成均館大学校	1	1	2	2	2
			大邱大学校				1	
			東国大学校	1		1	2	
			韓南大学校				1	
		マレーシア	テイラーズ大学			1		1
	フィリピン	デ・ラ・サル大学					1	
	UMAP	韓国	祥明大学校		1			
台湾		義守大学		1				
		実践大学				2		
小 計 Ⅰ期			12	11	18	13	12	
Ⅱ期	協定校	アメリカ	ウィノナ州立大学	1	2	4		
			ウェストテキサスA&M大学			1	2	
			カリフォルニア州立大学スタニスラウス校					1
			カリフォルニア州立大学ドミンガスヒルズ校			1	1	
			カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校			2	1	
			カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校		8	2	1	
			ジョンソン・アンド・ウェールズ大学			2	2	
			チャタム大学				1	
			ニューヨーク州立大学ブロッホポート校				3	
			ネブラスカ大学カーニー校			1	2	
			ノースアラバマ大学			2	1	
			バデュー大学ノースウェスト校	1	1	1	2	
			プレスビテリアンカレッジ			1	1	
			ミズーリ大学セントルイス校	1			1	

協定校・ コンソーシアム		国・地域	留学先大学	派遣年度						
				2016	2017	2018	2019	2020		
Ⅱ期	協定校	アメリカ	メリヴィル大学	2	2	2				
			モンタナ大学	2						
			リンゼイウィルソン大学	4	4	9	2			
			ルイスクラーク州立大学				1			
		カナダ	クワンテンポリテクニク大学		2					
			トンプソンリバーズ大学	3	2	1	1			
			マニトバ大学	2	1					
			レイクヘッド大学			2				
		アイルランド	ダブリンシティ大学	5	4	3	4			
			リムリック大学	1						
		イギリス	カーディフ大学		1	1	1			
			ヨークセントジョン大学	4	5	7	2			
		イタリア	トリノ大学					1		
			ボローニャ大学					4		
		オランダ	アムステルダム応用科学大学	1	1					
			フォンティスアカデミー		2	1	1			
		スイス	ロッテルダム大学	4	1					
			ルツェルン大学			2	1			
		スペイン	デウス大学		2					
			バイロイト大学	2	1			1		
		ドイツ	マールブルク大学	2	2	2	5			
			ノルムツ大学			2	2			
		フィンランド	ヤムク応用科学大学					3		
			ストラスブール大学			2		2		
		フランス	ストラスブール大学EMS		1	1	1			
			リール第3大学		1					
		ブルガリア	聖クリメント・オブリツキ・ソフィア大学	2	2	1	2			
			インドネシア	ガジャマダ大学					1	
		タイ	チェンマイ大学		2			1		
			義守大学				1	1		
		台湾	実践大学					1		
			天主教輔仁大学	1						
		中国	上海外国語大学		1	1				
			大連外国語大学	1						
		Ⅱ期	ISEP	アメリカ	中国人民大学	2		2	2	
					北京語言大学	2		2	1	
					アバラチアン州立大学			1		
	イーストテネシー州立大学								1	
	インディアナ州立大学					1				
	ウィチタ州立大学						1			
	ウェスタンカリフォルニア大学					1				
	ウェスタンコロライナ大学								1	
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校				1		1			
	キャロルカレッジ					1				
	ケント州立大学						1			
	コロラドメサ大学				1					
	サウスダコタ大学				3					
サザンインディアナ大学						1				
セントラル・ミズーリ大学					1					
セントエドワーズ大学					1			1		
テキサスA&M国際大学	1									
トルーマン州立大学							1			
ネブラスカウェズリアン大学					1			3		
ネブラスカ大学オマハ校					1			4		
ノースウェストミズーリ大学	1					2				
ノースカロライナ大学シャーロット校						1				
ハンプシャー大学						1				
フォートヘイズ州立大学	2				1	1				
フォートルイス大学					1					
フロストバーク州立大学	1				1					
ヘンドリックス大学					1			1		
ミズーリ州立大学						1		1		
メルヴィル大学	1									
メンフィス大学									2	
モンタナ大学									1	
モンタナ州立大学							1			
ルイジアナ・ノースウェスタン州立大学							1			
ロアノーク大学	1				1					
エセックス大学									1	
エストニア	タルトゥ大学							1*(1)		
オーストリア	グラーツ大学							1		
スウェーデン	ウエスト大学						1			
	スラターレン大学			1	1					
	リンネ大学			1	2					
	アルメリア大学			1						
	ドルトムント工科大学						1			
	オウル大学						1			
	トゥルク大学					1				
韓国	漢陽大学				1					
UMAP	タイ		スイーパトゥム大学				1			
			マハサラカーム大学				1			
		メーファールデン大学					2			
	フィリピン	アジアバシフィック大学					1			
	マレーシア	マレーシア国民大学			1					
	韓国	漢陽大学					1			
	台湾	国立彰化師範大学					1			
国立政治大学					1					
台北大学					1					
小 計 Ⅱ期				57	63	81	87	0		
国際教育センター主催 合計				69	74	99	100	12		
学部等主催 合計				-	3	53	62	6		
総合計				69	77	152	162	18		

(※1)1名の学生が2大学へ留学。算入対象外

(※2)新型コロナウイルスの影響により、2020年3月に中止勧告が出されたため途中帰国

■認定留学派遣者数

(人)

国・地域	留学先大学	派遣年度					
		2015	2016	2017	2018	2019	2020(※1)
アメリカ	アリゾナ州立大学		1		1	1	
	インディアナ州立大学			1			
	オレゴン大学	2	1	1	1	1	
	カリフォルニア州立大学チコ校	1					
	カリフォルニア州立大学サンマルコス校			2	2		
	カリフォルニア州立大学ノースリッジ校					1	
	カレッジ・オブ・ザ・デザート				6	9	3
	サンタモニカカレッジ				2		
	ニューヨーク州立大学オールバニ校				1		
	ネバダ大学リノ校				1		
	ノースアラバマ大学	1		1	1		
	ハイラインカレッジ				1		
	ハワイ大学ヒロ校			3	1	1	
	ミシシッピ大学		1				
	モンタナ大学			1		1	
カナダ	ダグラスカレッジ			1			
イタリア	サクロ・クオーレ・カトリック大学	1					
オーストラリア	オーストラリアカソリック大学				1		
	グリフィス大学			1	1		
	サザンクロス大学		1				
	シドニー工科大学				1		
	ディーキン大学		4		3	3	1
ニュージーランド	オタゴ大学				1	1	
中国	華東師範大学中山兆路校区		1				
	中山大学		1				
	復旦大学				1		
認定留学 合計		5	10	11	25	18	4

(※1) 新型コロナウイルスの影響により、2020年3月に中止勧告が出されたため途中帰国

■協定校語学留学派遣者数

(人)

国・地域	実施大学	派遣年度									
		2016		2017		2018		2019		2020	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期 (※1)	秋学期 (※2)
アメリカ	ポートランド州立大学		13	10	10	1	7	1	1		
	ベース大学						1	8	2		
カナダ	バンクーバーアイランド大学					19	7	13	6	2	
	レスブリッジ大学						5	6	1		
	ウィニペグ大学					19	14	16	15	6	
	ブロック大学					3	10	10	13	6	
	ジョージブラウンカレッジ								9	6	
	セントメアリーズ大学								2	3	
アイルランド	ダブリンシティ大学	11	19	19	22	12	6	13	10		
イギリス	ヨークセントジョン大学		9	6	13	15	9	14	3		
オーストラリア	ディーキン大学メルボルン				14	14	13	7	11	7	
	ディーキン大学ジーロング				2		8	3	1		
	サザンクロス大学リズモア				7	1	3	2	3	1	
	サザンクロス大学ゴールドコースト					4	9	6	3	5	
国際教育センター主催 協定校語学留学 合計		11	41	35	68	88	92	99	80	36	0
		52		103		180		179		36	

(※1) 新型コロナウイルスの影響により、2020年3月に中止勧告が出されたため途中帰国

(※2) 新型コロナウイルスの影響により、秋学期は実施なし

■短期研修派遣者数

(国際教育センター主催 短期語学セミナー)

(人)

国・地域	実施大学	年度											
		2015		2016		2017		2018		2019		2020	
		夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季 (※1)	春季 (※2)
アメリカ	カリフォルニア州立大学モンテレーベイ校						19						
	ポートランド州立大学	29	26	24	28								
	カレッジ・オブ・ザ・デザート							19	14	19	19		21
カナダ	トンプソンリバーズ大学	27		20		30							
	マニトバ大学	12		10		10		20	20	20	10		
アイルランド	ダブリンシティ大学		28		24		24		24	14	24		20
イギリス	ウォーリック大学	23		14									
オーストラリア	サザンクロス大学					20	20	20					
	シーキュー大学		10										
	ディーキン大学									20	20		16
マレーシア	ヘルプ大学					13	9	10					
	サンウェイ大学									8	18		
中国	北京語言大学		8	3									
台湾	天主教輔仁大学										8		
国際教育センター主催 短期語学セミナー 合計		91	72	71	52	40	76	68	88	81	99	0	57
		163		123		116		156		180		57	

(※1) 新型コロナウイルスの影響により実施なし

(※2) 新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施

(国際教育センター主催 Diversity Voyage)

(人)

国際教育センター主催 Diversity Voyage/ (六)																					
国・コース	年度																				
	2016				2017				2018				2019				2020				
	夏季		春季		夏季		春季		夏季		春季		夏季		春季		夏季(※1)		春季(※2)		
参加者	本学	現地	本学	現地	本学	現地	本学	現地	他大	本学	現地	本学	現地	本学	現地	本学	現地	本学	現地	本学	現地
フィリピン①	19	12	18	12	20	12	17	12		20	12	17	12	20	12	20	12			20	12
フィリピン②							7	10	5					20	12						
マレーシア①	18	12	11	8	20	12	14	10		20	12	17	12	21	12	20	12			18	12
マレーシア②	12	10					7	10	7					20	12						
タイ	19	12	20	13	20	12															
ラオス	20	12	19	12	20	12	8	12	12	20	12			19	12	13	12			23	12
インドネシア	20	12	14	8	20	12				19	12	12	8	20	12					24	15
カンボジア					20	14	20	12		20	12	19	12	19	12	19	12				
ブータン										20	12			19	12						
小計	108	70	82	53	120	74	73	66	24	119	72	65	44	158	96	72	48			85	51
国際教育センター主催 Diversity Voyage 合計	178		135		194		163		191		109		254		120		0		136		
			313				357				300				374				136		

(※1) 新型コロナウイルスの影響により実施なし

(※2) 新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施

■学部等主催プログラム派遣者数

※1

(人)

主催学部	国	2016	2017	2018	2019	2020※2	計
文学部	イタリア			34			34
	インドネシア		15				15
	スイス				11		11
	スロベニア	16	6	6			28
	タイ	15					15
	フランス		15				15
	台湾	10					10
	中国				16		16

主催学部	国	2016	2017	2018	2019	2020※2	計
経済学部	アメリカ	16	15	18			49
	ドイツ	24	28	25			77
	フランス	24	28	25			77
	中国	14	11	17	18		60
経営学部	イギリス			14	18		32
	タイ		9		12		21
法学部	イギリス	7	11	12	11		41
	ドイツ	16	13	19	14		62
	ノルウェー	8	14	6	8		36
社会学部	アメリカ	14	37	18	14		83
	インドネシア	12	14	12	16		54
	タイ			27			27
	ニュージーランド		15				15
	ラオス	21	23	19	16		79
	韓国	12					12
国際学部 ※国際地域学部国際地域 学科主催含む	アメリカ	24	10	14	9		57
	イタリア			15	10		25
	オーストラリア	22	16	24	21		83
	スウェーデン				12		12
	スペイン			9			9
	スペイン、イタリア、フランス		14				14
	タイ	9	53	33	30	27	152
	デンマーク				12		12
	ドイツ				1		1
	フィリピン	42	34	34	28		138
	フィンランド				12		12
	フィンランド・スウェーデン			19			19
	フィンランド・スウェーデン・デンマーク			14			14
	ベトナム			4	11		15
	マレーシア	24	140	121	121	34	440
	ミャンマー				12	18	30
	韓国			16	13		29
	中国				7		7
	その他※3					103	103
国際観光学部 ※国際地域学部国際観光 学科含む	アメリカ		15	45	12		72
	アラブ首長国連邦			9			9
	イギリス			8			8
	オーストラリア		6				6
	スリランカ			10			10
	タイ			2			2
	ドイツ		8		6		14
	フランス			5			5
	マレーシア			9			9
	韓国		371	14			385
	台湾		8	353			361
情報連携学部	—						0
ライフデザイン学部	カナダ	15		16	11		42
	カンボジア				4		4
	ドイツ	13	12	17	14		56

主催学部	国	2016	2017	2018	2019	2020※2	計
ライフデザイン学部	フィリピン	17	12		13		42
	韓国	20		20	12		52
	中国		12				12
理工学部	アメリカ	11					11
	イタリア				10		10
	タイ	7	4	3	4		18
総合情報学部	アメリカ	15	15	10			40
	中国	6					6
生命科学部	カナダ	25	30	22			77
食環境科学部	—						0
国際地域学研究所	イタリア			3	6		9
学際・融合科学研究所	フランス				1		1
経済学研究科	イギリス				3		3
国際学研究科	イタリア				1		1
その他(※4)	アイルランド		2				2
	アメリカ		1	2	4		7
	イギリス	1	3	4	4		12
	イタリア			14	5		19
	インドネシア				5		5
	オーストラリア	1	2	11	13		27
	カナダ	5	13	10	5		33
	カンボジア				1		1
	シンガポール		1		1		2
	スペイン			1			1
	スリランカ			1			1
	タイ			1			1
	ドイツ			2			2
	ニュージーランド		1	2	1		4
	フィリピン	23	58	63	33		177
	フランス		8	4	6		18
	ブルネイ		2				2
	ベトナム			1	2		3
	マルタ共和国		1		3		4
	ミャンマー			1			1
	マレーシア		1	1			2
	韓国	2	1				3
	中国				6		6
	台湾		7	8	9		24
	南アフリカ			1	1		2
	日本、韓国、ロシア				4		4
	不明		4	10	47		61
総計		491	1,119	1,238	700	182	3,730

※1 参加者数には、主催学部以外の学生を含む場合がある。

※2 2020年度は新型コロナウイルスの影響でオンラインにて実施。

※3 新型コロナウイルスの影響により、日本国内の英語学習機関において実施されたオンライン研修に参加。

※4 学外提携機関・企業等主催プログラム

■インターンシップ・ボランティア派遣者数

(人)

期間	国・地域	プログラム名	年度										
			2016		2017		2018		2019		2020(※2)		
			夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	夏季	春季	
短期	アメリカ	USA・LA “グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～	4		2	2	8	4	4	3			
		USA・LA“アシスタントティーチャー”ボランティア								1			
		USA・アンカレッジ ツーリズムインターンシップ	1				1						
		USA・ウッドインビル 食環境教育・研究施設インターンシップ			3		3						
		USA・シアトル・ウッドインビル海外インターンシップ～貿易ビジネス/社会福祉～						2					
		USA・グレイシャー国立公園 ホテルインターンシップ	4		1								
		USA・サンディエゴ ボランティア研修	8	3	7	7	6		5	2			
		USA・シアトル ボランティア研修(インターンシップ)	8	4	4	4	1		1	2			
		USA・シアトル現地日系団体ボランティア～語学学校+広告メディア/高齢者福祉						1					
		USA・ポートランド ボランティア研修			8		7	10	5	3			
	カナダ	カナダ・ケローナ インターンシップ	6		2								
		カナダ・バンクーバー 幼児教育ボランティア	1	2	3	6	4	1	2	5			
		ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～				1	1		1				
	オーストラリア	オーストラリア・シドニー 幼児教育ボランティア		2	3	3	2	3		1			
		オーストラリア・ブリスベン(メルボルン) 自然環境保護ボランティア	2										
	ニュージーランド	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	1		1		1			1			
	フィリピン	フィリピン農村発 起業家育成インターンシップ				3	3						
	ベトナム	ベトナム“グローバルキャリア”インターンシップ～企業ビジネス研修～							1	2			
	マレーシア	ツーリズム・マネジメント・インターンシップ～海外拠点業務研修～	1		1								
	台湾	台湾・台北ホテルインターンシップ	2										
	短期 合計			38	11	35	26	37	21	19	20	0	0
				49		61		58		39		0	
長期	アメリカ	ワシントンセンター	1		2		3				1(※3)		
	ウガンダ		1										
	タイ	国連ユースボランティア(※2)					1						
	ラオス						1						
	タイ	日本語パートナーズ(※1)(※2)			1		2		1				
	インドネシア						2						
	国際教育センター主催 インターンシップ・ボランティア 合計			51		64		66		41		1	
	学部等主催 インターンシップ・ボランティア 合計			97		133		133		90			
総計			148		197		199		131				

(※1) 大学推薦プログラム派遣者

(※2) 新型コロナウイルスの影響により実施なし

(※3) 新型コロナウイルスの影響によりオンライン実施

■その他 海外派遣者数

(人)

	年度				
	2016	2017	2018	2019	2020
その他 海外派遣者数 合計	420	330	393	434	4

コロナ禍におけるオンライン国際交流の試み

■国際学生ミーティング参加者数

(人)

交流先大学	日程	時間	参加者			総計
			東洋大学		交流先大学	
			発表者	一般参加者		
チェンマイ大学	11月25日	13:00~14:30	10	17	6	33
	12月16日	13:00~14:30	9	11	7	27
	1月6日	13:00~14:30	6	10	6	22
カーティン大学	12月4日	14:00~15:30	8	20	4	32
大連外国語大学	12月11日	13:00~14:30	7	19	10	36
韓国外国語大学	1月26日	13:00~14:30	6	8	6	20
総計			46	85	39	170

■ECZoom特別プログラム参加者数

(人)

プログラム名	日程	時間	参加者数			総計
			東洋大学		その他	
			スタッフ	学生		
ミズーリ大学セントルイス校交流会	11月23日(月)	12:00-15:00	3	7	16	26
Homecoming Party	1月8日(金)	18:30-20:00	7	11	27	45
総計			10	18	43	71

■2020年度模擬国連 国別参加者数

(人)

国名	参加者数	国名	参加者数	国名	参加者数
アメリカ	1	タイ	3	台湾	2
イギリス	1	ニュージーランド	1	日本	13
イタリア	1	フィリピン	22	その他	10
インドネシア	1	ベトナム	2		
オーストラリア	1	マレーシア	5		
計					63

※この他、本学から14名の学生がボランティアとして参加した。

■2020年度ビジネス日本語ポイント講座(夏) 参加者数

日程	講座名	講師・所属	参加者数(人)
9月7日(月)	日本語の論理的コミュニケーション	山田 乃理子 公益財団法人日本漢字能力検定協会・部長	889名
	ビジネス日本語のコミュニケーションアプローチ	田中 祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	879名
9月8日(火)	留学生のためのキャリアプランニング	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	725名
	外国人留学生の就職体験談	俞 青 元留学生現在日系企業在職中	752名
9月9日(水)	コミュニケーション能力育成のための日本語	前田 直子 学習院大学・教授	1,000名
	文法の誤用例から見るビジネス日本語実践演習	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	876名
9月10日(木)	外国人学習者の語彙学習の困難点と対策	アンドレエフ アントン 東洋大学国際教育センター・講師	879名
	ビジネス日本語語彙の習得と演習	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	876名
9月11日(金)	ビジネス日本語の語用	アンドレエフ アントン 東洋大学国際教育センター・講師	1,005名
	場面別ビジネス日本語表現演習	陳 秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	872名
9月12日(土)	ビジネス現場で求められるマナー	遠山 祥胡子 株式会社エムシーエス・代表取締役	1,038名
	ビジネス文化知識と習得のためのトレーニング	田中 祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	987名
9月14日(月)	ビジネス日本語ライティング	奥田 純子 コミュニケーション学院・学院長	979名
	超級レベルの日本語ライティング練習	牛窪 隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	793名
9月15日(火)	ビジネス日本語の聴解	堀井 恵子 武蔵野大学・名誉教授	902名
	BJT 聴解実践演習	岩田 一成 聖心女子大学・准教授	768名
9月16日(水)	ビジネス日本語の読解	武田 聡子 / 長崎 清美 NPO 法人日本語教育研究所	887名
	BJT 読解実践演習	森 篤嗣 京都外国語大学・教授	749名
9月17日(木)	翻訳・通訳とビジネス日本語	水田 佳歩 東洋大学・早稲田大学・富山大学兼任講師	1,028名
	BJT 総合実践演習/今後の学習に役立つ資料とツール	田中 祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	853名

■2020年度ビジネス日本語ポイント講座(春) 参加者数

日程	講座名	講師・所属	参加者数(人)
2月1日(月)	日本語の論理的コミュニケーション	山田乃理子 公益財団法人日本漢字能力検定協会・部長	1,214名
	ビジネス日本語のコミュニケーションアプローチ	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	1,148名
2月2日(火)	日本の就職活動とキャリアプランニング	菅野善之 株式会社日経HR・執行役員営業本部長	1,115名
	BJT ビジネス日本語能力テストの全容と対策	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	937名
2月3日(水)	コミュニケーション能力育成のための日本語文法	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,307名
	文法を中心としたビジネス日本語実践演習	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,123名
2月4日(木)	外国人学習者の語彙学習の困難点と対策	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,169名
	ビジネス日本語語彙の習得と演習	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	1,110名
2月5日(金)	ビジネス日本語と敬語表現	前田直子 学習院大学・教授	1,369名
	場面別ビジネス日本語表現演習	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	1,068名
2月6日(土)	ビジネス現場で求められるマナー	遠山祥胡子 株式会社エムシーエス・代表取締役	1,221名
	ビジネス文化知識と習得のためのトレーニング	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	1,113名
2月7日(日)	ビジネス日本語ライティング	奥田純子 コミュニケーション学院・学院長	1,186名
	超級レベルの日本語ライティングテスト演習	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	986名
2月8日(月)	ビジネス日本語の聴解	堀井恵子 武蔵野大学・名誉教授	1,158名
	BJT 聴解実践演習	陳秀苗 東洋大学国際教育センター・講師	939名
2月9日(火)	ビジネス日本語の読解	牛窪隆太 東洋大学国際教育センター・准教授	1,119名
	BJT 読解実践演習	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	906名
2月10日(水)	翻訳・通訳とビジネス日本語	アンドレエフアントン 東洋大学国際教育センター・講師	1,311名
	BJT 総合実践演習/今後の学習に役立つ資料とツール	田中祐輔 東洋大学国際教育センター・准教授	1,006名

TGL Program達成状況／留学ガイダンス参加者数／ 国際教育センターメールマガジン登録者数

■TGL Program達成状況

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
TGL GOLD	0	13	26	51	120
TGL SILVER	32	91	485	797	789
TGL BRONZE	176	439	1,670	2,646	2,666

(人)

■留学ガイダンス参加者数

年度	日時	名称	会場	参加者数(延べ人数)	合計
2016	4/19	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	15	767
	4/20		川越キャンパス	72	
	4/21		板倉キャンパス	11	
	4/30	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	492	
	10/12	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	38	
	10/18		朝霞キャンパス	9	
	10/19		板倉キャンパス	1	
	10/15	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	129	
2017	4/18	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	10	775
	4/20		川越キャンパス	18	
	4/19		板倉キャンパス	6	
	4/29	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	507	
	10/5	秋学期留学ガイダンス	川越キャンパス	11	
	10/6		朝霞キャンパス	5	
	10/2		板倉キャンパス	0	
	10/16	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	218	
2018	4/24	春学期留学ガイダンス	朝霞キャンパス	40	763
	4/27,28	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	395	
	10/6	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	328	
2019	4/20,22	東洋大学留学フェア in Spring	白山キャンパス	989	1292
	10/5	東洋大学留学フェア in Autumn	白山キャンパス	303	
2020	9/23-10/14	東洋大学留学フェア in Autumn※	全キャンパス対象	オンライン説明会 811	811

※新型コロナウイルスの影響により2020年度春季の留学フェアは中止となり、秋季の留学フェアはオンラインにて実施

■国際教育センターメールマガジン登録者数*

年度	登録者数(単位:人)
2015	247
2016	919
2017	840
2018	870
2019	819
2020	893

*2014年度までの名称:交換留学レジストレーション

課外英語講座開講実績

■学内向け講座

(人)

時期	プログラム	コース名	開講キャンパス	受講人数	受講人数(学部生)										受講人数(大学院生)										その他											
					文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	国際地域	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	食環境科	通信	文	経済	経営	法	社会	国際		国際観光	社会福祉	総合情報	理工	福祉社会デザイン	生命科	食環境科	学際・融合科学			
春学期	IELTS講座	習熟度別クラス(1~4)	オンライン	72	6	8	3	5	4	35	4	1	1	3	1																					
	TOEIC講座	白山クラス(1~3)	オンライン	124	19	5	19	11	25	19	15		3	6												1										
		川越クラス	オンライン	13						1	1	1	1	7	2																					
		赤羽台TOEIC学習法習得	オンライン	11										11																						
	ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)	オンライン	106	12	10	4	5	8	30	8		9	3	10	4	1					2														
		Personalized Language Upgrade Series (PLUS)	オンライン	21	5	2			4	8	1			1																						
		Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)	オンライン	15	2	2	1	2		6			1	1																						
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	マンツーマンレッスン(初級)	オンライン	37	10	3	4	1	10	1	2			1	2	1	2																			
		マンツーマンレッスン(初中級)	オンライン	72	11	7	4	6	10	3	4		1	10	2	1	5	4					1						1	1						
		マンツーマンレッスン(中級)	オンライン	111	19	10	9	1	16	8	11		1	17	3	3	6	4																2		
		マンツーマンレッスン(上級)	オンライン	46	7	2	3	3	7	7	7		4	3	1																			2		
BEST Program (第1・2期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]A・B	オンライン	21	6					1	1	4	5			1																			2		
	Meeting & Negotiation講座 (M&N)	オンライン	22	7	1	2		2	1	6	1		1		1																					
	Digital Pedagogy: theory and Practice (デジタル教育:倫理と実践)講座	オンライン	1										1																							
夏学期	IELTS講座	夏期集中クラス(A, B)	オンライン	39	3	7	3	2	1	20	1		1	1																						
	TOEFL講座	夏期集中クラス(A, B)	オンライン	19	2	1	1		1	8	3			2	1																					
	TOEIC講座	夏期集中クラス(1~3)	オンライン	63	9	6	9	5	7	7	4	1	4	2	3	2	2					1											1			
	<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English	英会話講座	オンライン	19	6	1			2	3		1	2	3									1													
		Academic Reading	オンライン	4						2			2																							
		Academic Listening and Speaking	オンライン	16		2	1		1	6	1		2	1	1		1																			
		Everyday English	オンライン	6	2					2			1										1													
		Discussion English	オンライン	3						2			1																							
	秋学期	IELTS講座	通常クラス	オンライン	11					3	6		1	1																						
		TOEIC講座	通常クラス(1~3)	オンライン	41	4	2	5	1	8	6	5		3	2	2	2	1																		
		ランゲージセンター ライティングプログラム	Conference Writing (CW)	オンライン	132	27	12	10	7	18	24	12		3	6	5	3	1					2													
Personalized Language Upgrade Series (PLUS)			オンライン	8		1				5				1																						
Prep for Writing Tests (ライティングテスト対策)			オンライン	28	3	4	3	1	3	7	2		2	1	1																					
<キャンパス内留学> Toyo Achieve English 英語講座		グループレッスン(初級)	オンライン	4		1		1						1	1																					
		グループレッスン(初中級)	オンライン	20	1	5	1		1		1		2	6	2		1																			
		グループレッスン(中級)	オンライン	16		1	2	1	2		2		2	1	2	1																		1		
		グループレッスン(上級)	オンライン	9	1		1	1	1	1	1		2	1																						
		マンツーマンレッスン	オンライン	101	18	11	10	3	19	4	9		6	8	3	2	1	4					1											2		
BEST Program (第3・4期)		実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]A・B	オンライン	26	6	2				1	8	2	1	1	2			1																		
	Meeting & Negotiation講座 (M&N)	オンライン	14	5	1			1	3	3							1																			
	Digital Pedagogy: theory and Practice (デジタル教育:倫理と実践)講座	オンライン	2	2																																
	冬学期	TOEIC講座	TOEIC講座	オンライン	32	2	4	4	2	5	2	5		6	1																					
学部TOEIC講座		TOEIC講座(川越)	オンライン	11										7	4																					
<キャンパス内留学> 英会話講座 Toyo Achieve English		英会話講座	オンライン	18	4	1	1	4	2	1	1		2	1									1													
		Spring School at Toyo	オンライン	4									1		2																					
		Academic Course (Reading)	オンライン	4							1			1	2																					
		Academic Course (Listening & Speaking)	オンライン	14	2	1		1		4			1	2	3																					
Cultural Awareness & Communication		オンライン	9	2				2	2			2	1																							
BEST Program (5期)	TGL Silver対象特別クラス	オンライン	10	3		1	3	1						2																						
				受講人数	受講人数(学部生)										受講人数(大学院生)										その他											
					文	経済	経営	法	社会	国際	国際観光	国際地域	情報連携	ライフデザイン	理工	総合情報	食環境科	通信	文	経済	経営	法	社会	国際		国際観光	社会福祉	総合情報	理工	福祉社会デザイン	生命科	食環境科	学際・融合科学			
2020年度(通年)					1351	200	113	101	70	165	236	121	9	79	89	62	27	22	15	0	1	0	2	3	4	1	1	2	0	6	4	0	1	1	0	11
2019年度(通年)					2158	235	135	164	77	284	302	161	47	124	196	130	41	105	88	10	1	4	1	1	4	0	4	4	2	5	15	1	5	6	0	6
前年度比					63%	88%	84%	62%	90%	58%	78%	75%	39%	64%	45%	47%	66%	21%	17%	0%	100%	0%	200%	300%	100%	-	25%	50%	0%	120%	27%	0%	20%	17%	-	18%

■職員講座

時期	開講講座名		対象	キャンパス	授業時間	開講期間	受講人数	
秋	キャンパス英会話	週1回火曜日クラス	職員	白山	40分×10回	10/6~12/15	5	
							2020年度	5
							2019年度	61
							前年度比	8.2%

■附属校生向け講座〔【Toyo Achieve English】英語講座〕

時期	開講講座名		対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC・英会話講座	京北高校 3年生	90分×10回	2021/1/18～2/26	54クラス	129	
冬	高大連携アチーブ イングリッシュ	TOEIC講座	牛久高校 3年生	50分×3コマ×5回	2021/2/1～2/5	12クラス	234	
		英会話講座	牛久高校 3年生	50分×5回	2021/2/1～2/5	12クラス	39	
冬	All English Days	英会話講座	姫路中学 2年生	5時間半×2日	2021/3/10～3/11	6クラス	61	
							2020年度	463
							2019年度	721
							前年度比	64.2%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座(大学・附属校内実施プログラム)〕

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	受講人数				
					春	夏	秋	冬	合計
通年	ジュニア講座	マンツーマン	幼稚園児～高校生	40分×10回	23	25	20	18	86
		グループ	幼稚園児～高校生	40分×10回	2	6	4	7	19
	一般英会話	マンツーマン	一般受講者	40分×10回	4	6	4	7	21
		グループ	一般受講者	40分×10回	0	0	0	1	1
合計					29	37	28	33	127

時期	開講講座名	募集対象	授業時間	受講人数
				合計
夏季	Fun English for Kids	不問	3時間5日間連続	4
	Summer School at Toyo	小学生	2時間5日間連続	2
	English Communication Enhancement	中高生	2時間× 5日間連続	1
	Academic Reading	中高生	2時間×5日間連続	1
	Academic Learning and Speaking	中高生	2時間×5日間連続	1
春季	Spring School at Toyo	不問	3時間×6日間連続	1
春	一日イベント[イースター]	幼稚園児～小学生	90分	-
秋	一日イベント[ハロウィン]	幼稚園児～小学生	90分	19
冬	一日イベント[クリスマス]	幼稚園児～小学生	90分	13
合計				42

2020年度	169
2019年度	391
前年度比	43.2%

■学外講座〔【Toyo Achieve English】英語講座(講師派遣)〕

時期	開講講座名		募集対象	授業時間	開講期間	クラス	受講人数	
通年	文京福祉センター 英会話教室	英会話 講座	4月期(4～7月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	6/8～7/22	初級・中級	13
			8月期(8～11月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	8/17～11/30	初級・中級	19
			12月期(12～3月)	60歳以上 文京区民	90分×10回	12/7～1/4、3/8～ 3/29	初級・中級	19
通年	文京アカデミア講座 (前期)		トピック英会話	一般	90分×8回	10/8～11/26	初級	5
	文京アカデミア講座 (後期)		ディスカッション 英会話(朝活)	一般	90分×5回	1/14～3/11	中級 (TOEIC500以上)	11
冬	リアン文京		初級英会話	障害者対象	90分×1回	12/16	初級	4
							2020年度	71
							2019年度	103
							前年度比	68.9%

■学外講座〔BEST Program(独自英語プレゼンテーション講座)〕

	開講講座名	募集対象	授業時間	キャンパス	開講期間	授業時間	受講人数	合計(人)
春学期 (6・8月期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]A	一般社会人	90分×6回	オンライン	・6/15～7/20 ・8/31～10/12	毎週月曜 19:00-20:30	0	2
	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]B		90分×6回	オンライン	・6/16～7/21 ・9/1～10/13	毎週火曜 19:00-20:30	2	
	Meeting & Negotiation講座(M&N)		90分×6回	オンライン	・6/18～7/23 ・9/3～10/8	毎週木曜 19:00-20:30	0	
	Digital Pedagogy講座		90分×6回	オンライン	・6/20～7/25 ・9/5～10/10	毎週土曜 13:00-14:30	0	
秋学期 (10・1月期)	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]A	一般社会人	90分×6回	オンライン	・10/26～12/7 ・1/18～2/22	毎週月曜 19:00-20:30	1	2
	実践的英語プレゼンテーション講座 [入門コース]B		90分×6回	オンライン	・10/27～12/8 ・1/12～3/2	毎週火曜 19:00-20:30	1	
	Meeting & Negotiation講座(M&N)		90分×6回	オンライン	・10/29～12/3 ・1/14～3/4	毎週木曜 19:00-20:30	0	
	Digital Pedagogy講座		90分×6回	オンライン	・11/7～12/12 ・1/23～2/27	毎週土曜 13:00-14:30	0	
							2020年度	4
							2019年度	14
							前年度比	28.5%

■英語資格試験(国際教育センター主催分)

・試験種類、受験料等

資格試験名	試験形態	年間実施回数	会場	受験料	
				学生負担	一般受験時
TOEIC®L&R IP	オンライン	4回	—	4,000円	5,830円
TOEFL®ITP	オンライン	4回	—	3,260円(※1)	-
	対面	2回	学内 (白山キャンパス)	3,260円(※1)	-

※1 団体受験時の受験料

・受験者数

資格試験名	受験地	受験者数(単位:人)																										計					
		学部生													大学院生																		
		文	経済	経営	法	社会	国際地域	国際	国際観光	情報連携	総合情報	理工	ライフデザイン	生命科	食環境科	文	社会	法	経営	理工	経済	国際地域	国際	国際観光	生命科	福祉社会デザイン	学際・融合科学		総合情報	食環境科	情報連携	その他	
TOEIC®L&R IP	オンライン	220	144	151	110	165	5	245	156	22	24	78	59	39	14	1	1	1		3	2		1	1				1	1	1			1,445
TOEFL®ITP	オンライン	29	13	7	4	18		70	12	1	3	7	8	1																		173	
	学内(白山)	13	5	5		6		5	14	1	2	2	1			1																55	

各種海外留学奨学金

■JASSO海外留学支援制度奨学金

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2016	短期研修・研究型	協定派遣	長期インターンシッププログラム	2,280,000	5	3	0	1	1	27	15	0	6	6	760,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	7,420,000	43	5	4	27	7	100	16	8	62	14	1,940,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	2,800,000	40	0	0	40	0	40	0	0	40	0	2,380,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型 スタディーツアープログラム	1,120,000	16	0	0	16	0	16	0	0	16	0	1,120,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	2,400,000	30	0	30	0	0	30	0	30	0	0	1,280,000
			UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	2,000,000	25	0	25	0	0	25	0	25	0	0	720,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,920,000	32	0	0	0	32	32	0	0	0	32	480,000
			国際教育センター企画語学留学プログラム	11,120,000	73	0	73	0	0	139	0	139	0	0	8,160,000
	重点政策枠	協定受入	東洋大学交換留学プログラム	9,200,000	43	0	31	5	7	115	0	88	10	17	7,520,000
		協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,040,000	5	0	3	2	0	40	0	24	16	0	1,370,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	20	0	10	8	2	40	0	20	16	4	3,200,000
2017	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	東洋大学経済学部海外経済研修(欧州)	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	1,840,000
		協定派遣 タイプB	UC Berkeley-Toyo ; Global Business Program	1,440,000	18	0	18	0	0	18	0	18	0	0	560,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	1,380,000	23	0	0	0	23	23	0	0	0	23	180,000
			国際地域学部 Short-term Field Study	1,960,000	28	0	0	28	0	28	0	0	28	0	1,960,000
			国際地域学部 海外インターンシッププログラム	2,360,000	31	5	4	22	0	31	5	4	22	0	1,140,000
			長期インターンシッププログラム	2,100,000	4	3	0	1	0	24	15	0	6	3	800,000
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型 スタディーツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,680,000	21	0	21	0	0	21	0	21	0	0	1,680,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,100,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,990,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	7	2	1	40	0	28	8	4	2,880,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム②	420,000	1	0	0	1	0	6	0	0	6	0	辞退
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	720,000	1	0	0	0	1	12	0	0	0	12	60,000
		協定受入	USCO(UMAP学生交流オンラインシステム) サマープログラム	2,400,000	30	0	0	26	4	30	0	0	26	4	1,760,000
			USCO(UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	640,000	2	0	0	1	1	8	0	0	4	4	0
2018	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	国際教育センター海外インターンシップ・ボラ ンティア	5,640,000	70	8	45	16	1	71	8	45	16	2	4,880,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディー プログラム:エビをめぐる日本のとインドネシア の国際関係	1,400,000	20	0	0	20	0	20	0	0	20	0	560,000
			UH Manoa-Toyo ; Global Study Program- Exploring the Economic Environment in Hawaii	880,000	11	0	11	0	0	11	0	11	0	0	480,000
			国際学部 海外英語実習	3,840,000	24	0	24	0	0	48	0	48	0	0	3,080,000
		協定派遣 タイプB	東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	460,000
			国際地域学部 Student-led Field Study	3,220,000	23	0	0	23	0	46	0	0	46	0	1,340,000
			海外インターンシッププログラム	2,380,000	23	0	0	12	11	36	0	0	22	14	350,000
			長期インターンシッププログラム	200,000	2	2	0	0	0	2	2	0	0	0	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型 スタディーツアープログラム	840,000	12	0	0	12	0	12	0	0	12	0	840,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修 in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	960,000
	重点政策枠	協定派遣	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,200,000	4	0	3	1	0	40	0	30	10	0	1,340,000
		協定受入	スーパーグローバル大学創成支援(グローバル 化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	10	0	6	2	2	40	0	24	8	8	2,560,000

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2018	UMAP枠	協定派遣	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム②	770,000	2	0	0	2	0	11	0	0	11	0	700,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	140,000	2	0	0	2	0	2	0	0	2	0	辞退
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム②	2,400,000	6	0	0	5	1	30	0	0	25	5	1,600,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	480,000	6	0	6	0	0	6	0	6	0	0	480,000
2019	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	1,920,000	24	0	24	0	0	24	0	24	0	0	辞退
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	7,600,000	100	0	70	20	10	100	0	70	20	10	1,030,000
			ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発に係わるインターンシッププログラム	240,000	4	0	0	0	4	4	0	0	0	4	140,000
			国際観光学研修	2,200,000	30	0	10	20	0	30	0	10	20	0	800,000
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	31,150,000	98	1	69	28	0	281	7	206	68	0	21,940,000
			ワシントンセンターインターンシップ、国連コースボランティア研修プログラム	2,020,000	5	3	0	1	1	23	15	0	4	4	辞退
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	1,750,000	25	0	0	25	0	25	0	0	25	0	1,120,000
			東洋大学経済学部中国経済・社会研修	720,000	12	0	0	0	12	12	0	0	0	12	240,000
		協定派遣 タイプB	国際地域学部 Student-led Field Study	1,610,000	23	0	0	23	0	23	0	0	23	0	1,610,000
			海外インターンシッププログラム	1,270,000	16	0	0	7	9	20	0	0	7	13	辞退
			国際教育センター海外インターンシップ・ボランティアプログラム	4,940,000	45	5	30	10	0	63	5	38	20	0	2,110,000
			グローバル問題発見型のフィールドスタディープログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	490,000
			東洋大学生命科学部海外英語研修in Canada	1,200,000	15	0	15	0	0	15	0	15	0	0	辞退
		重点政策枠	協定派遣 スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学Study Abroadプログラム	3,150,000	8	0	7	1	0	40	0	35	5	0	1,740,000
			協定受入 スーパーグローバル大学創成支援(グローバル化牽引型) 東洋大学交換留学プログラム	3,200,000	6	1	1	1	3	40	5	11	4	20	2,880,000
	UMAP枠	協定派遣	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	4,960,000	8	0	0	5	3	76	0	0	40	36	2,940,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム④	180,000	3	0	0	0	3	3	0	0	0	3	120,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム⑤	1,600,000	3	0	0	1	2	26	0	0	9	17	330,000
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム①	1,200,000	3	0	3	0	0	15	0	15	0	0	1,200,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム③	800,000	1	0	1	0	0	10	0	10	0	0	400,000
			USCO (UMAP学生交流オンラインシステム) プログラム④	160,000	2	0	2	0	0	2	0	2	0	0	辞退
2020	短期研修・研究型	協定派遣 タイプA	ベトナム現地企業におけるアプリケーション開発にかかわるインターンシッププログラム	280,000	4	0	0	4	0	4	0	0	4	0	0
			長期海外インターンシップ	1,200,000	3	3	0	0	0	12	12	0	0	0	0
			国際学部・国際地域学部 国際地域学科 Student-led Field Study	2,800,000	40	0	0	40	0	40	0	0	40	0	辞退
			法学部ドイツ語学研修(ミュンヘン・パイロイト)	1,440,000	18	0	18	0	0	18	0	18	0	0	辞退
		協定派遣 タイプB	EU諸国における経済の実態探求並びに異文化理解プログラム	1,360,000	17	0	17	0	0	17	0	17	0	0	0
			学生主体のプロジェクト・フィールドワークにもとづく、「地域づくり」人材育成研修	4,550,000	70	0	0	35	35	70	0	0	35	35	0
			国際観光学研修	1,680,000	21	0	21	0	0	21	0	21	0	0	0
			長期留学・ボランティアへのステップアップ型語学留学プログラム	23,150,000	68	2	45	21	0	296	14	201	81	0	0
			ラオス南部コーヒー生産農村への課題解決型スタディツアープログラム	1,260,000	18	0	0	18	0	18	0	0	18	0	0
			国際教育センター海外インターンシップ・ボランティアプログラム	2,430,000	31	0	26	5	0	31	0	26	5	0	0
			グローバル問題発見型のフィールドスタディープログラム:エビをめぐる日本とインドネシアの国際関係	910,000	13	0	0	13	0	13	0	0	13	0	0
		重点政策枠	協定派遣 スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	4,540,000	8	0	6	2	0	59	0	41	18	0	辞退
			協定受入 スーパーグローバル大学創成支援事業タイプB	5,600,000	14	0	8	3	3	70	0	42	16	12	辞退

年度	枠	タイプ	プログラム名	配分額 (円)	奨学金支給割当人数					奨学金支給割当人数月数					実績額 (円)
					人数	指定	甲	乙	丙	人数	指定	甲	乙	丙	
2020	UMAP枠	協定派遣	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	2,230,000	5	0	0	3	2	34	0	0	19	15	辞退
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	960,000	3	0	0	1	2	12	0	0	4	8	辞退
		協定受入	USCO (UMAP学生交流オンラインシステム)プログラム	2,880,000	6	0	0	6	0	36	0	0	36	0	辞退

●留学生交流支援制度/海外留学支援制度(短期派遣):指定都市 100,000円,甲地域 80,000円,乙地域 70,000円,丙地域 60,000円

■官民協働海外留学支援制度トビタテ留学 JAPAN 日本代表プログラム(1期～12期)

年度	期	プログラムタイプ	奨学金支給割当人数月数					その他(留学準備金等)	実績額(円)
			人数	指定	甲	乙	丙		
2014	第1期生	実践活動	11	0	0	11	0	授業料:291,000円、渡航費:100,000円	1,931,000
		交換留学+ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		国連ユースボランティア	5	0	0	5	0	受入先負担のため支給なし	700,000
2015	第3期生	交換留学+インターンシップ	12	0	12	0	0	渡航費:200,000円	2,120,000
		交換留学+ボランティア	12	0	9	0	3	渡航費:200,000円	2,000,000
		インターンシップ	12	0	0	12	0	渡航費:100,000円	2,020,000
2016	第4期生	交換留学+インターンシップ	11	0	11	0	0	渡航費:200,000円+授業料:300,000円 +事後研修参加費:20,000円	1,780,000
		インターンシップ	10	0	0	10	0	渡航費:100,000円	1,500,000
		インターンシップ	11	0	0	11	0	渡航費:100,000円	1,640,000
	第5期生	インターンシップ	4	0	0	0	4	渡航費:100,000円+授業料:207,000円	787,000
2018	8期生	インターンシップ	9	0	0	0	9	留学準備金:250,000円	1,330,000
		インターンシップ	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
		交換留学+インターンシップ	12	0	9	0	3	留学準備金:250,000円	2,050,000
		インターンシップ	10	0	0	0	10	留学準備金:150,000円	1,350,000
	9期生	交換留学+インターンシップ	14	0	8	0	6	留学準備金:250,000円	2,250,000
		休学留学+インターンシップ	11	0	9	0	2	留学準備金:250,000円 +授業料:300,000円	2,230,000
		交換留学+インターンシップ	7	0	7	0	0	留学準備金:250,000円	1,370,000
2019	10期生	インターンシップ	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
		実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:150,000円	1,590,000
	11期生	インターンシップ	7	0	0	0	7	留学準備金:150,000円	990,000
		インターンシップ	5	0	0	0	5	留学準備金:150,000円	750,000
		交換留学+インターンシップ	13	0	11	0	2	留学準備金:250,000円	2,250,000
		語学留学+インターンシップ	12	0	0	0	12	留学準備金:250,000円	1,690,000
2020	12期生	実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:250,000円	1,690,000
		実践活動	12	0	0	0	12	留学準備金:250,000円	1,690,000

●トビタテ留学JAPAN日本代表プログラム:指定都市 200,000円,甲地域 160,000円,乙地域 140,000円,丙地域 120,000円(※辞退者を除く)

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度の奨学金は2021年度へ移行予定

■海外留学促進奨学金支給実績

2020年度分更新(年度内支給予定額含む)

年度	支給者数 支給金額	ファーストステップ型	チャレンジ型	アクティブ型	グローバルリーダー型	計
2012	支給者数	63名	33名	0名	0名	96名
	支給金額	3,970,000円	6,500,000円	0円	0円	10,470,000円
2013	支給者数	56名	57名	1名	0名	114名
	支給金額	3,860,000円	11,350,000円	350,000円	0円	15,560,000円
2014	支給者数	183名	99名	33名	6名	321名
	支給金額	12,420,000円	18,572,905円	12,150,000円	9,000,000円	52,142,905円
2015	支給者数	159名	128名	33名	3名	323名
	支給金額	10,560,000円	23,160,000円	11,450,000円	4,500,000円	49,670,000円
2016	支給者数	202名	106名	38名	3名	349名
	支給金額	12,880,000円	20,291,150円	13,313,900円	4,500,000円	50,985,050円
2017	支給者数	-	331名	85名	11名	427名
	支給金額	-	46,058,655円	29,680,000円	12,600,000円	88,338,655円
2018	支給者数	-	531名	121名	8名	658名
	支給金額	-	66,241,573円	43,640,000円	9,300,000円	119,181,573円
2019	支給者数	-	428名	127名	8名	563名
	支給金額	-	54,661,864円	44,890,000円	9,900,000円	109,451,864円
2020	支給者数	-	50名	0名	0名	50名
	支給金額	-	5,950,250円	0名	0名	5,950,250円

※支給年度ベース(申請年度ベースではない)

※2017年度より「ファーストステップ型」は廃止(「チャレンジ型」と統合)

■交換留学、認定留学及び協定校語学留学生派遣に係る奨学金支給実績

年度	支給者数 支給金額	交換留学奨学金(※1)			認定留学奨学金			協定校語学留学奨学金			計
		第Ⅰ期	第Ⅱ期 (※2)	計	春出発	秋出発 (※1)	計	春学期	秋学期	計	
2016	支給者数	12名	54名	66名	2名	8名	10名	-	15名	15名	91名
	支給金額	7,660,000円	18,062,500円	25,722,500円	680,000円	3,892,500円	4,572,500円	-	2,550,000円	2,550,000円	32,845,000円
2017	支給者数	19名	58名	77名	5名	8名	13名	16名	55名	71名	161名
	支給金額	6,740,000円	36,752,000円	43,492,000円	1,420,000円	4,850,000円	6,270,000円	2,720,000円	9,372,500円	12,092,500円	61,854,500円
2018	支給者数	18名	62名	80名	13名	12名	25名	71名	69名	140名	245名
	支給金額	10,233,000円	37,901,000円	48,134,000円	9,150,000円	6,900,000円	16,050,000円	12,167,500円	12,120,625円	24,288,125円	88,472,125円
2019	支給者数	14名	82名	96名	10名	7名	17名	89名	71名	160名	273名
	支給金額	9,600,000円	41,043,500円	50,643,500円	7,370,000円	3,073,000円	10,443,000円	16,372,500円	13,085,000円	29,457,500円	90,544,000円
2020	支給者数	17名	0名	17名	4名	0名	4名	0名	0名	0名	21名
	支給金額	2,428,000円	0円	2,428,000円	673,000円	0円	673,000円	0円	0円	0円	3,101,000円

※1 2017～2020年度は部局間協定に基づく交換留学への奨学金を含む。

※2 1年間留学の場合、受給額の半額は留学終了後(留学開始年度の翌年度)に給付。

渡日前入試 東洋トップグローバル奨学金A・B

志願者内訳

■タイプA入試実施状況

(人)

		志願者数				合格者数				入学手続者数			
		イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計	イノベ	地域	情報連携	計
4月入学	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	73	13	37	123	31	7	16	54	30	7	16	53
	2019年度入学	63	11	38	112	16	11	12	39	15	10	12	37
	2020年度入学	55	9	40	104	15	4	8	27	15	4	7	26
	2021年度入学 (9月入試実施)	16	1	8	25	8	1	4	13	8	1	3	12
	2021年度入学 (11月入試実施)	35	9	13	57	9	5	3	17	9	5	2	16
	2021年度 計	51	10	21	82	17	6	7	30	17	6	5	28
9月入学	2017年度入学												
	2018年度入学	74		43	117	15		5	20	14		5	19
	2019年度入学	88		40	128	15		8	23	15		6	21
	2020年度入学	78		34	112	16		5	21	14		5	19
	2021年度入学 (4月入試実施)	7		4	11	4		0	4	3		0	3
	2021年度 計	7		4	11	4		0	4	3		0	3
年間合計	2017年度入学	26	6	21	53	23	3	16	42	22	3	13	38
	2018年度入学	147	13	80	240	46	7	21	74	44	7	21	72
	2019年度入学	151	11	78	240	31	11	20	62	30	10	18	58
	2020年度入学	133	9	74	216	31	4	13	48	29	4	12	45
	2021年度入学	58	10	25	93	21	6	7	34	20	6	5	31

■タイプB入試実施状況

(人)

	志願者数													受験者数													合格者数																		
	文	社会		国際	理工				総合情報	生命科学	計	文	社会		国際	理工				総合情報	生命科学	計	文	社会		国際	理工				総合情報	生命科学	計												
日本文学文化	社会	国際社会※	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学	日本文学文化	社会	国際社会※	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学	日本文学文化	社会	国際社会※	社会福祉	国際地域	国際観光	機械工	生体医工	電機電子	応用化学	都市環境	建築	総合情報	生命科学				
2017年度入学	1	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
2018年度入学	3	5	4	0	7	9	0	1	0	0	0	0	0	0	29	3	4	4	0	7	7	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5
2019年度入学	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	1	76	0	14	7	9	13	27	1	0	1	0	0	1	2	1	76	0	1	1	3	1	8	0	0	1	0	0	2	0	17	
2020年度入学	0	12	6	9	11	44	1	2	0	0	2	4	2	1	94	0	12	6	9	11	44	1	2	0	0	2	4	2	1	94	0	2	1	2	2	6	0	0	0	1	2	2	0	18	
2021年度入学	0	8	16	6	15	27	1	1	1	1	1	1	1	1	291	0	8	16	6	15	27	1	1	1	0	1	1	8	2	87	0	2	6	3	4	13	0	0	0	0	1	5	1	35	

※2020年度以前は社会文化システム学科

■志願者 国別内訳

タイプA 2021年4月入学者対象入試 (人)

	イノベ	地域	情報連携	計
ベトナム	11	6	9	26
タイ	5	1	3	9
中国	9	0	0	9
ミャンマー	5	0	4	9
インドネシア	3	0	3	6
モンゴル	4	0	1	5
フィリピン	4	1	0	5
韓国	4	1	0	5
ブルガリア	1	1	0	2
ウズベキスタン	1	0	0	1
マレーシア	1	0	0	1
マダガスカル	1	0	0	1
ロシア	1	0	0	1
南アフリカ	0	0	1	1
ポルトガル	1	0	0	1
15カ国	51	10	21	82

タイプA 2021年9月入学者対象入試 (人)

	イノベ	情報連携	計
中国	4	1	5
韓国	1	0	1
インドネシア	2	0	2
ベトナム	0	1	1
バングラディッシュ	0	1	1
ブルガリア	0	1	1
6カ国	7	4	11

タイプB 2021年4月入学者対象入試 (人)

学部	社会			国際	国際 観光	理工						総合 情報	生命 科学	計
学科	社会	国際 社会	社会 福祉	国際 地域	国際 観光	機械工	生体 医工	電気 電子	応用 化学	都市 環境	建築	総合 情報	生命 科学	
韓国	6	13	4	12	21	1	1	1	1	1	0	7	2	70
中国	2	3	2	2	4	0	0	0	0	0	1	1	0	15
南アフリカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
中国(香港)	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アルメニア	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
ニュージー ランド	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
学科計	8	16	6	15	27	1	1	1	1	1	1	11	2	91
学部合計	30			15	27	6						11	2	91

海外留学フェアおよびリクルーティング実績

新型コロナウイルス感染症の影響により、すべてオンラインでの参加となった。

	日程	国・地域	内容	形態	担当者
1	7/17	中国	日本留学フェア (株式会社 GES 主催)	ライブ説明会	高橋(清)・玉田・魏
2	8/29, 8/30, 9/5, 9/6	タイ	日本留学フェア (ジェイエデュケーション主催)	ライブ説明会＋ 個別相談	渡辺・堀・バンコクオ フィススタッフ
3	8/29, 8/30, 9/12, 9/13	インドネシア	日本留学フェア (ジェイエデュケーション主催)	ライブ説明会＋ 個別相談	スジャトミコ・清水
4	8/9, 8/16, 9/20	香港	日本留学フェア (香港日本文化協会主催)	ライブ説明会＋ 個別相談	堀・清水
5	8/15, 9/19, 9/26	ミャンマー	大学説明会 (ミヤ日本語学校協力)	ライブ説明会＋ Q&A	清水・スジャトミコ
6	9/5, 9/17	ベトナム	大学説明会 (フルスカラシップ生協力)	ライブ説明会＋ Q&A	清水
7	8/24-8/28	モーリシャス	日本留学フェア (北海道大学主催)	録画配信＋Q&A (Facebook)	堀
8	9/4-10/9	マダガスカル	日本留学フェア (北海道大学主催)	録画配信＋Q&A (Facebook)	堀
9	9/14-9/18	南アフリカ	日本留学フェア (北海道大学主催)	録画配信＋Q&A (Facebook)	堀
10	9/17-9/22	エチオピア	日本留学フェア (北海道大学主催)	録画配信＋Q&A (Facebook)	堀
11	9/26, 9/27	全世界	大学説明会 (Facebook Live にて独自開催)	ライブ説明会＋ Q&A	清水・堀
12	11/12, 11/19	南米	日本留学フェア (筑波大学主催)	ライブ説明会＋ Q&A	堀
13	11 月下旬・ 12 月上旬	全世界	日本留学フェア (JASSO 主催)	情報掲載のみ	-
14	11/16, 11/18	ウズベキスタン	日本留学フェア (名古屋大学主催)	ライブ説明会	清水
15	12/8	南西アジア	日本留学フェア (東京大学主催)	ライブ説明会	堀
16	12/11	中国	日本留学フェア (株式会社 GES 主催)	ライブ説明会	高橋(清)・玉田・魏
17	2/6, 10	全世界	大学説明会 (Facebook Live にて独自開催)	ライブ説明会＋ Q&A	清水・堀
18	2/11	ミャンマー	日本留学フェア (岡山大学主催)	ライブ相談会	スジャトミコ・堀
19	2/17	ラオス・カンボジア	日本留学フェア (岡山大学主催)	ライブ相談会	スジャトミコ・清水
20	3/9-3/12	南米	日本留学フェア (筑波大学主催)	ライブ説明会＋ Q&A	渡辺・スジャトミコ・ 清水・堀

国際教育センター運営委員会（審議事項）

【第1回】メール会議

2020年4月1日(水)～4月3日(金)9:00

1. 令和2年(2020年)度 JEES留学生奨学金(就職促進)の応募締切、応募方法の変更について
2. 2020年度 学習奨励費(就職促進)の募集開始について

【第2回】2020年4月20日(月)～21日(火)

1. 2020年度夏季 国際教育センター主催 短期海外派遣プログラムの実施について(案)
2. 2021年度国際教育センター専任教員採用人事(契約制日本語講師)について
3. 海外大学との協定締結について
4. 2021年度交換研究員の募集と2019年度派遣者の早期帰国について

【第3回】2020年5月18日(月)16:30～17:40

1. 国際教育センター教員人事について
2. 海外大学との協定締結について
3. 2021年度第I期 東洋大学交換留学募集要項について
4. 2020年度秋出発認定留学生の派遣候補者について
5. 2020年度第II期交換留学生の受入および受入学部について
6. 外国人研究員(受入)について
7. 2020年度前期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について
8. 日本学生支援機構(JASSO)2020年度海外留学支援制度国際教育センター採択プログラムの奨学金受給者選抜基準について
9. 令和2年度学習奨励費およびJEES奨学金(就職促進)受給者の選考結果について

【第4回】2020年6月22日(月)16:30～17:40

1. 国際教育センター教員人事について

2. 海外大学との協定締結について
3. 2021年度第I期交換留学および留学プログラム(有料)募集要項について
4. 海外留学促進奨学金の特別適用について

【第5回】2020年7月20日(月)16:30～17:20

1. 2021年度教員採用に係る書類審査結果について
2. 2021年度第II期 交換留学(派遣)募集要項について
3. 2021年度春学期協定校語学留学の募集について
4. 2020年度夏季・秋学期「東洋大学海外留学促進奨学金」特別適用プログラムの選定(追加)について
5. 新型コロナウイルスに関する受入交換留学生の返金対応等について
6. 2021年度交換研究員(派遣)の選考について
7. 海外大学との協定締結および更新について

【第6回】メール会議

2020年7月27日(月)～28日(火)12:00

1. 2021年度国際教育センター専任教員採用(後任補充)について
2. 外国人研究員(受入)について

【第7回】臨時会議

2020年8月3日(月)14:00～14:30

1. 2021年度教員採用第2次審査・選考について

【第8回】2020年9月21日(月)16:30～17:40

1. 国際教育センター教員人事について
2. コロナ禍による国際教育センタープログラム(2020年度春季休暇期間以降)の実施方針について
3. 2020年度秋出発長期派遣留学の中止、辞退、留学期間変更について(9月審議・報告分)
4. 2021年度第I期交換留学の派遣候補者について

5. 2020年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について
6. 2020年度交換研究員の派遣期間について
7. 外国人研究員(受入)について
8. 2020年度ストラスブール大学招聘教員の受入について
9. 海外大学との協定締結および更新について
10. 2020年度英語スピーチコンテスト&日本語プレゼンテーションコンテストの実施について

【第9回】2020年10月19日(月)16:30~17:40

1. 2021年度国際教育センター予算要求(案)について
2. 2021年度教員採用に係る書類審査結果について
3. 海外留学プログラムへのオンライン参加に伴う単位認定等について
4. 2021年度春学期協定校語学留学の派遣候補者について
5. 2020年度春季短期留学プログラムの実施計画について
6. 交換・認定留学の辞退、留学期間変更について(10月審議・報告分)
7. 2020年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について(10月報告分)
8. 2020年度国際教育センター広報取組報告および今後の方針について

【第10回】2020年11月14日(土)11:50~12:20

1. 2021年度国際教育センター教員採用・専任教員(日本語/日本研究)における第2次審査・選考について

【第11回】2020年11月23日(月)16:30~17:50

1. 海外大学との協定締結について
2. 2021年度春出発認定留学生の派遣候補者について
3. 2021年度The Washington Center プログラムの募集・学内選考について
4. 2020年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について(11月報告分)

5. 東洋大学 留学支援団体の追加について
6. 2021年度第Ⅰ期交換留学生の受入および受入学部について
7. 2021年度第Ⅱ期交換留学および留学プログラム(有料)募集要項について

【第12回】2020年12月14日(月)16:30~17:50

1. (12月分)2020年度第Ⅱ期交換・秋出発認定留学の辞退・留学期間変更・中止について
2. 2020年度後期東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定について(12月分)
3. 新型コロナウイルスの感染拡大防止ガイドラインの一部改正(受入)について
4. 2020年度English Camp実施概要について

【第13回】メール会議

2021年1月9日(土)~12日(火)12:00

1. 2021年度国費外国人留学生(スーパーグローバル大学創成支援事業枠)の推薦について

【第14回】2021年1月18日(月)16:30~17:30

1. 国際教育センター教員採用人事について
2. 2020年度英語スピーチコンテスト実施報告
3. 海外大学との協定締結および更新について
4. 海外大学等との「国際共同教育」に関する学内状況調査について

【第15回】メール会議

2021年2月12日(金)~15日(月)17:00

1. 2020年度交換研究員の派遣中止について

【第16回】2020年2月22日(月)16:30~17:30

1. 国際教育センター教員採用人事について
2. 国際教育センター関連規程改正について
3. 交換・認定留学の辞退・留学期間変更・中止について(2月分)
4. 新型コロナウイルスの影響による留学中止に伴う支援報告および奨学金の取扱について
5. 2021年度交換研究員の派遣先変更について

【第17回】2020年3月15日(月)16:30~17:30

1. 「東洋大学国際教育センター教員資格審査委

員会規程」の改正について

2. 「東洋大学海外留学促進奨学金規程」の改正について
3. 2021年度 秋出発認定留学募集について
4. 2021年度(前期) 東洋大学海外留学促進奨学金「チャレンジ型」「アクティブ型」対象プログラムの選定および募集要項について
5. 留学生宿舎への一般学生の入居募集について
6. 2022年度 交換研究員派遣候補者の募集について
7. 外国人研究員の受入について
8. 海外大学との協定締結について

以上

国際教育センターに係る規程一覧

規程	施行日	最終改正日
東洋大学国際教育センター規程	2015(平成27)年10月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学学生の留学に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学大学院学生の留学に関する規程	1996(平成8)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学交換留学生受入に関する規程	1990(平成2)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際交流基金規則	1987(昭和62)年10月28日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際交流基金細則	1995(平成7)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学国際会館管理運営規程	2007(平成19)年12月25日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国際会館利用細則	2007(平成19)年12月25日	2019(令和元)年8月1日
東洋大学国際交流基金経費支出基準	1995(平成7)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校交換研究員派遣要領	1999(平成11)年4月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学外国人研究員受入れに関する内規	2000(平成12)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学受入交換留学生教育指導要領(旧:東洋大学交換留学生・学部研究科受入要領)	1998(平成10)年9月26日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学授業料徴収型留学生受入経費等取扱規程	2019(令和元)年5月1日	2019(令和元)年5月1日
協定校との共同研究実施要領	1995(平成7)年10月1日	2017(平成29)年4月1日
協定校との文献の交換要領	1991(平成3)年10月1日	2015(平成27)年10月1日
留学支援のための英語特別教育科目専門委員会規程(旧:留学支援のための英語特別教育科目運営委員会要項)	2006(平成18)年4月1日	2019年(令和元)年7月1日
交換留学生のための初修日本語・日本文化科目専門委員会規定(旧:協定校並びに国際的な学生交換コンソーシアム加盟大学等からの留学生に対する日本語・日本文化教育科目専門委員会規程)	2006(平成18)年4月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学ISEP交換留学生受入れに伴う宿舍提供及び食費支給基準(旧:ISEP交換留学生受入要領)	2006(平成18)年7月1日	2015(平成27)年10月1日
東洋大学ISEP交換留学生派遣に伴う費用取扱規程	2005(平成17)年4月1日	2019(平成31)年4月1日
東洋大学海外留学促進奨学金規程	2014(平成26)年4月1日	2018(平成30)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する規程	2015(平成27)年4月1日	2017(平成29)年4月1日
東洋大学国費外国人留学生の授業料等に関する事務取扱要領	2015(平成27)年4月1日	2019年(令和元)年7月1日
東洋大学国際教育センター教員資格審査委員会規程	2015(平成27)年11月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学国際連携推進委員会細則	2015(平成27)年1月1日	2021(令和3年)年4月1日
東洋大学国際会館及び学外契約留学生宿舍レジデント・アシスタント制度に関する要領	2018(平成30)年4月1日	2019(令和元)年8月1日
東洋大学留学生宿舍(学外契約物件)宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学国際会館宿舍費取扱要領	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年9月1日
東洋大学及び東洋大学大学院学生の休学留学に関する取扱要項	2018(平成30)年4月1日	2018(平成30)年4月1日

2021年5月1日時点

国際教育センター構成員

		年度	2015年度 (10月1日以降)	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
		センター名称	国際教育センター						
国際教育センター 構成員	第1号	センター長	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	高橋 一男	
	第2号	副センター長	王 亜新	王 亜新	董 晶輝	董 晶輝	グリーン・スティープン	グリーン・スティープン	
			-	-	-	-	-	小早川 裕子	
	第3号	教務部長	神田 雄一	神田 雄一	高橋 豊美	高橋 豊美	高橋 豊美	東海林 克彦	
	第4号	文学部	田中 一隆	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈 美知子	朝比奈美知子
		経済学部	ニューフィールズ・ ティモシ	古田 直肇	ニューフィールズ・ ティモシ	ニューフィールズ・ ティモシ	ニューフィールズ・ ティモシ	ニューフィールズ・ ティモシ	田口 賀也
		経営学部	マッケンジー・ アーリソン	マッケンジー・ アーリソン	李 振	李 振	李 振	李 振	角田 奈歩
		法学部	室松 慶子	室松 慶子	室松 慶子	大野 公賀(4月) 山下 りえ子(5～3月)	山下 りえ子	田中 雅敏	
		社会学部	長 広美	須田 木綿子	箕曲 在弘	長津 一史	佐藤 亜樹	長津 一史	
		国際地域学部 ・国際学部 ・国際観光学部	グライアム・ロブソン	市田せつ子	志摩 憲寿	芦沢 真五	中村 香子	芦沢 真五	
					市田 せつ子	市田 せつ子	グライアム・ロブソン	グライアム・ロブソン	
		理工学部	小河 繁彦	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	吉田 宏予	
		総合情報学部	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之	藤本 貴之(4～8月) 中林 靖(9～3月)	中林 靖(4～8月) 藤本 貴之(9～3月)	藤本 貴之	
		生命科学部	竹井 弘之	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	小柴 和子	
		食環境科学部	福森 文康	福森 文康	福森 文康	福森 文康	福森 文康	吉江 由美子	
		ライフデザイン 学部	阿久津 純恵	阿久津 純恵	柏樹 良	柏樹 良	大木 裕子	大木 裕子	
		情報連携学 部	-	-	井村 亮	棕 計人	棕 計人	棕 計人	
	第5号	白山キャンパス 研究科委員	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝	董 晶輝	鳥飼 裕一	安 相景	
		川越キャンパス 研究科委員	森本 久雄	多田 光利	多田 光利	吉野 隆(4月) 本橋 健次(5～3月)	本橋 健次	花尻 達郎	
		朝霞キャンパス 研究科委員	大迫 正文	大迫 正文	川内 美彦	高橋 直美	平野 智之	大迫 正文	
		板倉キャンパス 研究科委員	一石 昭彦	廣津 直樹	廣津 直樹	佐々木 伸大	佐々木 伸大	長坂 征治	
		赤羽台キャンパス 研究科委員	-	-	井村 亮	棕 計人	棕 計人	棕 計人	
	第6号	国際部長	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	高橋 清隆	
	第7号	国際教育 センター	-	関山 健	関山 健	関山 健	小早川 裕子	田中 祐輔	
			-	-	田中 祐輔	田中 祐輔	田中 祐輔	牛窪 隆太	
			-	-	小早川 裕子	小早川 裕子	牛窪 隆太	水松 巳奈	
事務局		国際部国際推進課			国際部国際課				

各種刊行物の発行

■各種刊行物の発刊

名称	言語	対象	刊行時期	内容
TOYO UNIVERSITY (大学概要・英語版)	英語	海外の高等教育機関	6月	大学概要、研究科、学部学科、留学生宿舎等の紹介
国際交流プログラムパンフレット 2021	日本語	本学在学生 一般	3月	本学留学・国際交流プログラム全般の紹介
TOYO UNIVERSITY 2021 FULL-SCHOLARSHIP FOR UNDERGRADUATE PROGRAMS (TAUCHT IN ENGLISH)	英語	海外の高等教育機関、高校生等	8月	東洋トップグローバル奨学金の内容および対象学部学科カリキュラムの紹介(2021年度入学用)
TOYO GLOBAL DIAMONDS NEWS LETTER Vol.12,13	日本語 英語	大学・附属校の教職員	2020年7月 2021年3月	スーパーグローバル大学創成支援事業における「TOYO- GLOBAL DIAMONDS」構想の取組およびSGUの活動成果の進捗

■刊行物以外の広報物等

名称	言語	対象	掲載時期等	内容
東洋経済ACADEMIC SGU(スーパーグローバル大学)特集Vol.2 文部科学省採択「スーパーグローバル大学」の挑戦の軌跡と今後の展望	日本語	一般	2020年12月31日	学長インタビュー、新型コロナウイルスへの対応、SGU取組内容、学生インタビュー
文部科学省所管SGU基幹サイト	日本語 英語	一般	随時	SGU取組内容
Facebook	英語	一般	随時	本学Webサイト掲載Newsへの誘導、渡日前入試等の告知



【2020 年度】国際教育センター年報

2021年6月30日発行

発行 東洋大学国際教育センター

(Center for Global Education and Exchange)

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

TEL 03-3945-8593 FAX 03-3942-2489

E-mail ml-intl@toyo.jp

URL <https://www.toyo.ac.jp/international-exchange/>